

河内長野市人口ビジョン・総合戦略策定のための  
アンケート調査結果報告書

平成 27 年7月

河内長野市

# 目 次

---

I. 調査の概要 .....	1
1 調査の目的 .....	1
2 調査概要 .....	1
3 報告書の見方 .....	1
II. 調査結果 .....	2
1 あなた自身のことについて .....	2
2 結婚・出産・子育てについて .....	9
3 定住・移住について .....	29
4 まちづくりについて .....	57
5 進路や就職について .....	62

# I. 調査の概要

---

## 1 調査の目的

河内長野市における人口の現状と将来の展望を提示する「地方人口ビジョン」及び、地域の実情に応じた今後5か年の施策の方向を提示する「総合戦略」を策定するにあたり、その基礎となる市民の結婚・出産・子育ての希望、地方移住に関する希望などを把握するために実施しました。

## 2 調査概要

- 調査地域：河内長野市全域
- 調査対象者：河内長野市に在住する16歳から39歳の市民 1,500人
- 抽出方法：住民基本台帳より無作為抽出
- 調査期間：平成27年5月～6月
- 調査方法：郵便調査法（調査票を郵便にて配布・回収）

配布数	回収数	回収率	有効回収数	有効回収率
1,500	452	30.1%	449	29.9%

## 3 報告書の見方

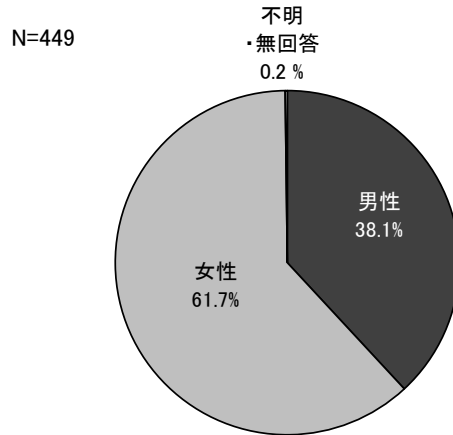
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。

# II. 調査結果

## 1 あなた自身のことについて

### 問1 あなたの性別は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

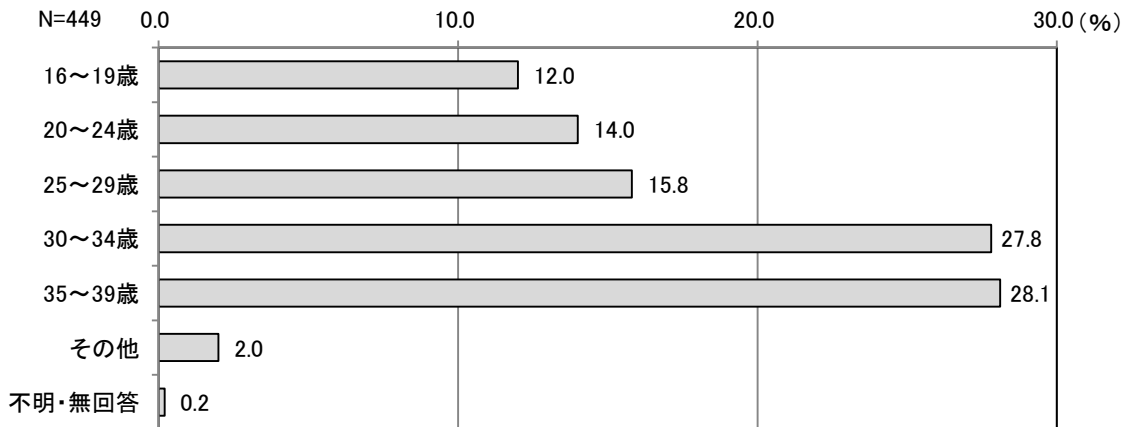
性別については、「男性」が38.1%、「女性」が61.7%となっています。



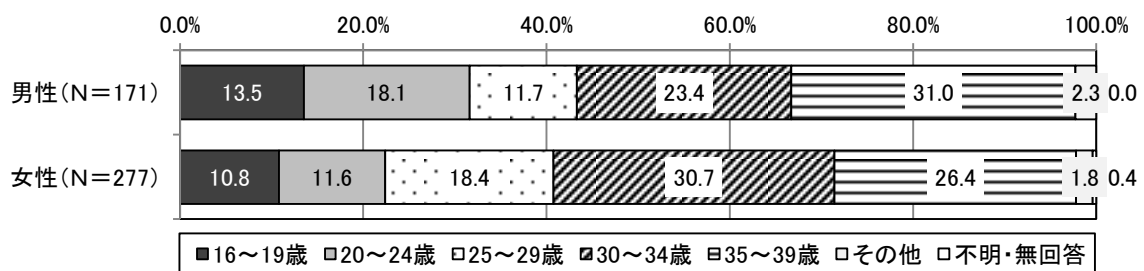
### 問2 あなたの年齢を教えてください。(平成 27 年5月1日現在)(数字を記入)

年齢については、「35～39歳」が28.1%と最も多く、次いで「30～34歳」が27.8%、「25～29歳」が15.8%となっています。

性別で見ると、男性では「35～39歳」が最も多く、女性では「30～34歳」が最も多くなっています。



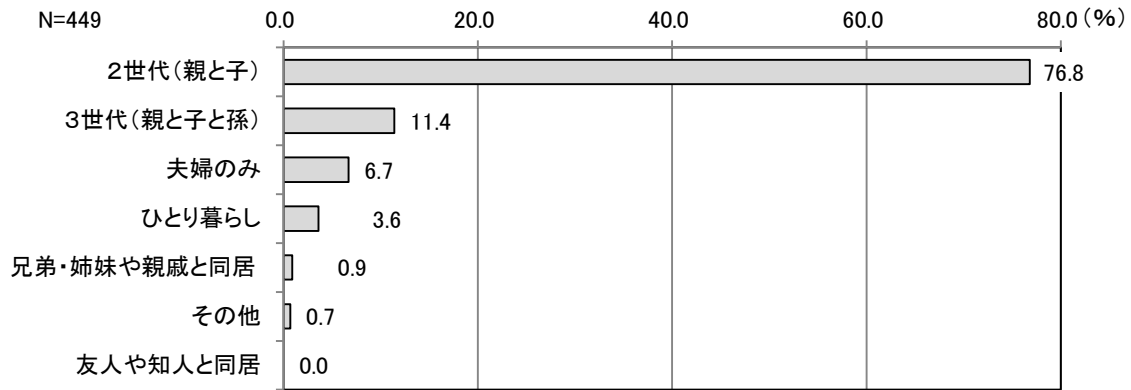
#### ◆性別クロス



### 問3 現在一緒に住んでいる世帯構成は、次のどれにあてはまりますか。(1つに〇)

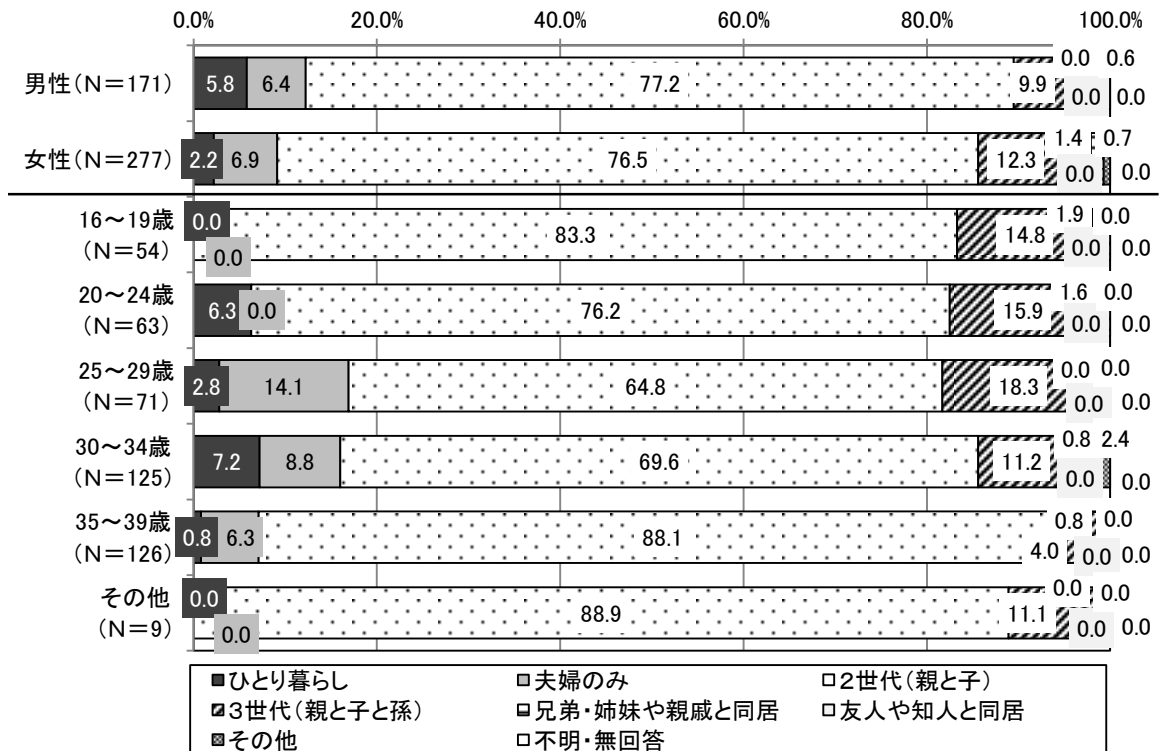
世帯構成については、「2世代（親と子）」が76.8%と最も多く、次いで「3世代（親と子と孫）」が11.4%、「夫婦のみ」が6.7%となっています。

性別では女性の方が「3世代」が多く、年齢別では『25～34歳』で「夫婦のみ」が多くなっています。



問3 その他回答  
4世代

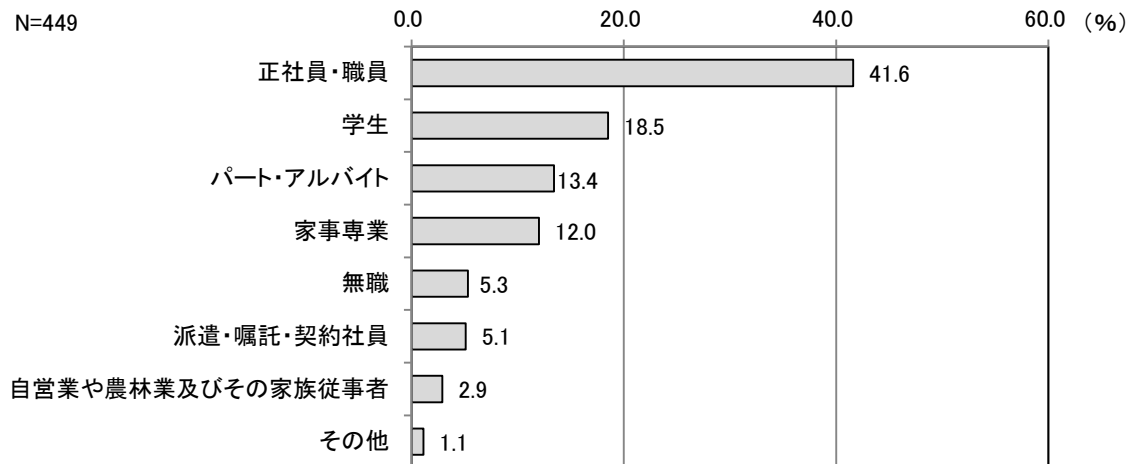
#### ◆性別、年齢別クロス



#### 問4 あなたの現在のお勤めの状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つに○)

お勤めの状況については、「正社員・職員」が41.6%と最も多く、次いで「学生」が18.5%、「パート・アルバイト」が13.4%となっています。

男女ともに「正社員・職員」が最も多く、『25歳以上』でも同様に「正社員・職員」が多くなっています。



問4 その他回答	
塗装業	
小学校の講師	
就労継続B型	
自営業	

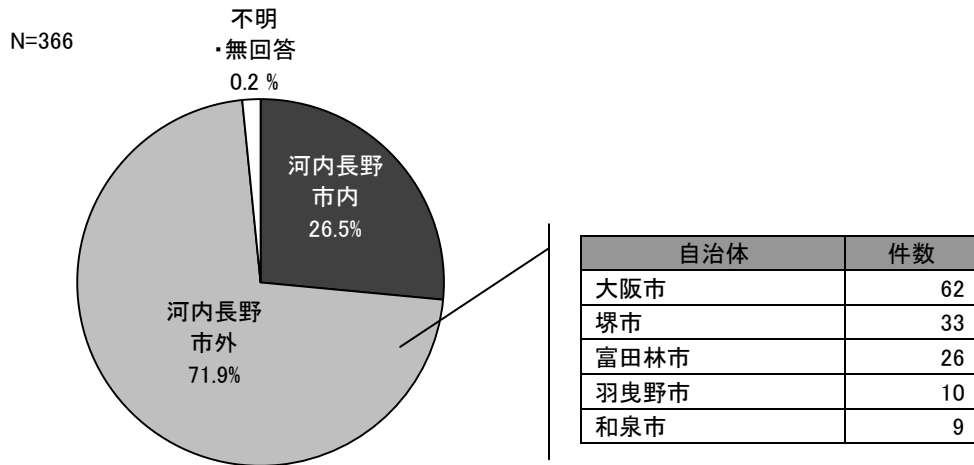
#### ◆性別、年齢別クロス

		正社員・職員	派遣・嘱託・契約社員	パート・アルバイト	自営業や農林業及びその家族従事者	家事専業	学生	無職	その他	不明・無回答
性別	男性(N=171)	106 62.0	4 2.3	6 3.5	7 4.1	1 0.6	38 22.2	7 4.1	2 1.2	0 0.0
	女性(N=277)	81 29.2	19 6.9	54 19.5	6 2.2	53 19.1	44 15.9	17 6.1	3 1.1	0 0.0
年齢別	16~19歳(N=54)	0 0.0	0 0.0	1 1.9	0 0.0	0 0.0	51 94.4	2 3.7	0 0.0	0 0.0
	20~24歳(N=63)	25 39.7	1 1.6	4 6.3	0 0.0	1 1.6	28 44.4	4 6.3	0 0.0	0 0.0
	25~29歳(N=71)	35 49.3	8 11.3	9 12.7	2 2.8	7 9.9	2 2.8	7 9.9	1 1.4	0 0.0
	30~34歳(N=125)	63 50.4	7 5.6	16 12.8	5 4.0	21 16.8	2 1.6	8 6.4	3 2.4	0 0.0
	35~39歳(N=126)	60 47.6	7 5.6	28 22.2	4 3.2	23 18.3	0 0.0	3 2.4	1 0.8	0 0.0
	その他(N=9)	3 33.3	0 0.0	2 22.2	2 22.2	2 22.2	2 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

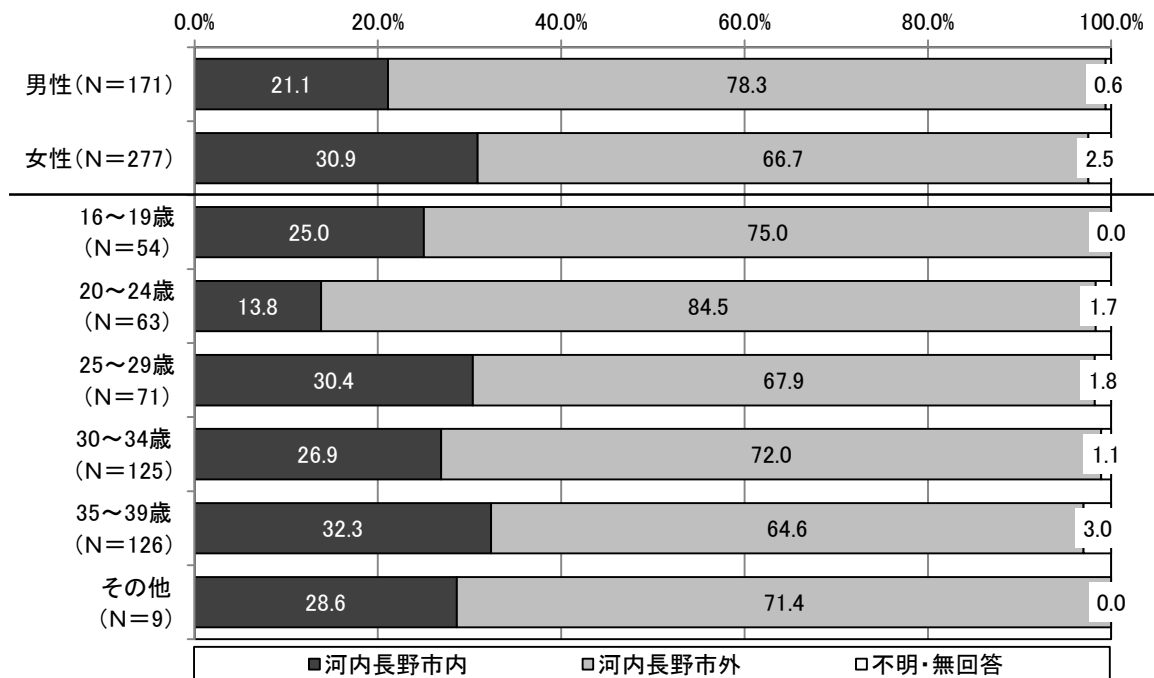
上段:件数、下段%

**問5 問4で、「1. 正社員・職員」～「4. 自営業や農林業及びその家族従事者」または「6. 学生」を選んだ人のみお答えください。あなたの通勤・通学先はどこですか。(1つに0)**

通勤・通学先については、「河内長野市外」が71.9%、「河内長野市内」が26.5%となっており、「大阪市」「堺市」「富田林市」などが多くなっています。性別で見ると「女性」の方が「河内長野市内」が多くなっています。



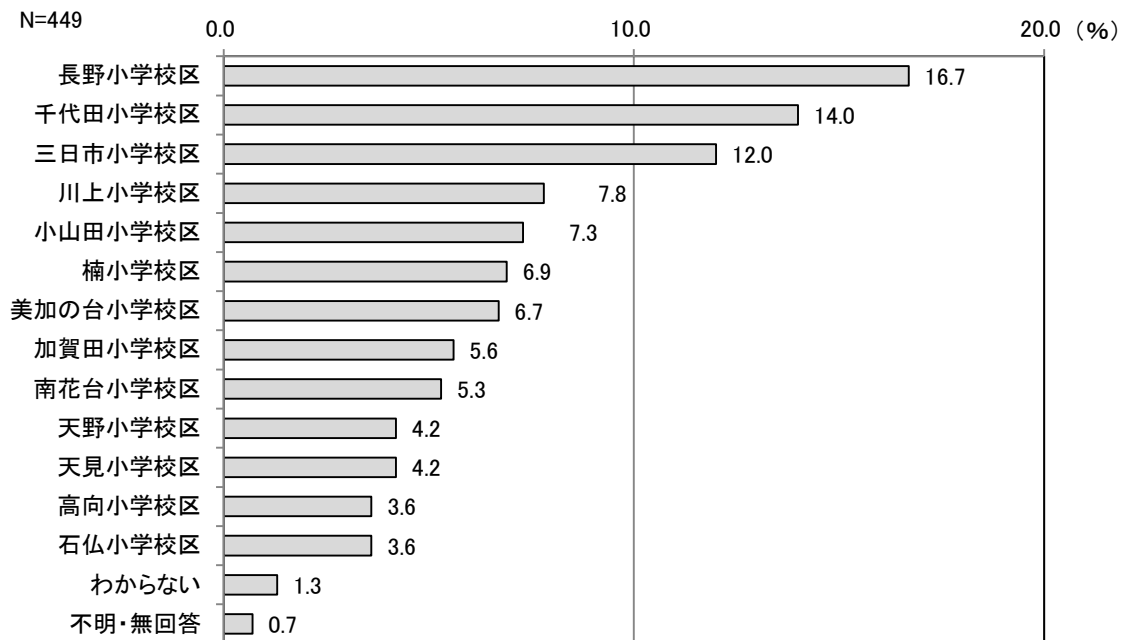
◆性別、年齢別クロス



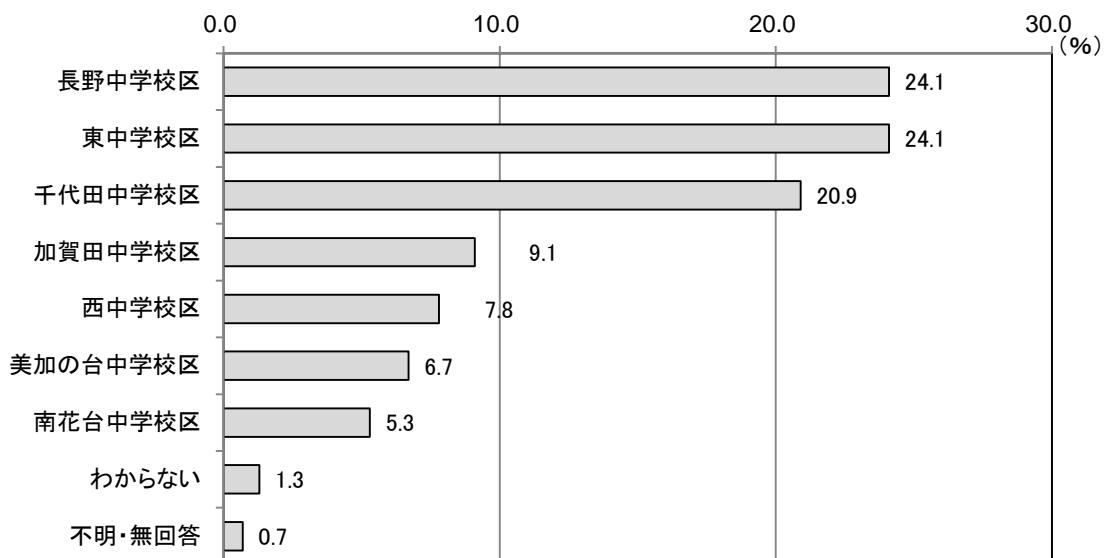
## 問6 あなたのお住まいの地区はどこですか。(1つに〇)

居住地区については、「長野小学校区」が16.7%と最も多く、次いで「千代田小学校区」が14.0%、「三日市小学校区」が12.0%となっています。

年齢別でみると、「16～19歳」「20～24歳」「35～39歳」は「千代田小学校区」、「25～29歳」「30～34歳」は「長野小学校区」が多くなっています。



### ◆[参考]中学校区





◆性別、年齢別クロス

		長野 小学校区	小山田 小学校区	天野 小学校区	高向 小学校区	三日市 小学校区	天見 小学校区	川上 小学校区	千代田 小学校区
性別	男性(N=171)	23 13.5	9 5.3	9 5.3	9 5.3	16 9.4	5 2.9	14 8.2	29 17.0
	女性(N=277)	52 18.8	24 8.7	10 3.6	7 2.5	38 13.7	14 5.1	21 7.6	34 12.3
年齢別	16～19歳(N=54)	6 11.1	7 13.0	1 1.9	1 1.9	5 9.3	0 0.0	4 7.4	11 20.4
	20～24歳(N=63)	10 15.9	1 1.6	2 3.2	4 6.3	8 12.7	2 3.2	5 7.9	11 17.5
	25～29歳(N=71)	18 25.4	4 5.6	4 5.6	0 0.0	10 14.1	3 4.2	2 2.8	7 9.9
	30～34歳(N=125)	22 17.6	6 4.8	9 7.2	5 4.0	12 9.6	11 8.8	16 12.8	12 9.6
	35～39歳(N=126)	17 13.5	13 10.3	3 2.4	6 4.8	17 13.5	2 1.6	8 6.3	22 17.5
	その他(N=9)	2 22.2	2 22.2	0 0.0	0 0.0	2 22.2	1 11.1	0 0.0	0 0.0

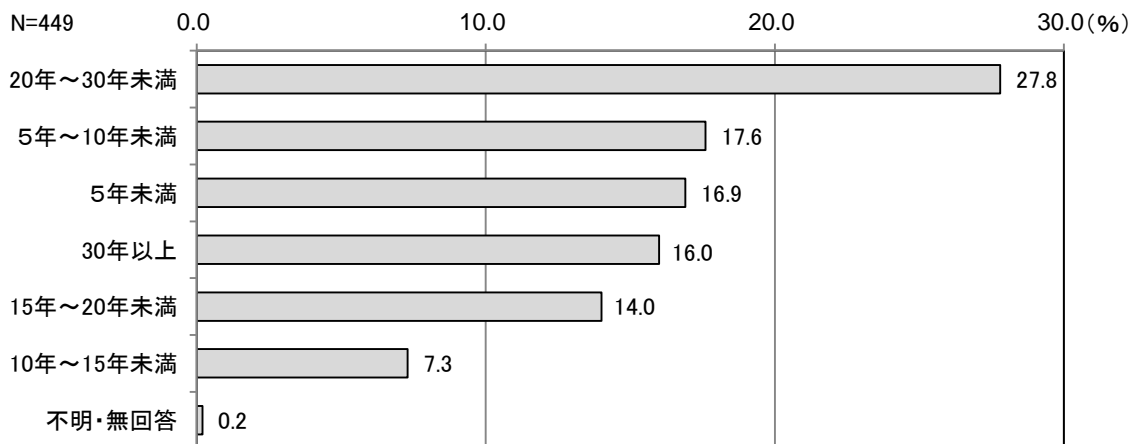
		楠 小学校区	加賀田 小学校区	石仏 小学校区	美加の台 小学校区	南花台 小学校区	わからない	不明・無回 答
性別	男性(N=171)	17 9.9	14 8.2	9 5.3	8 4.7	6 3.5	1 0.6	2 1.2
	女性(N=277)	14 5.1	11 4.0	7 2.5	22 7.9	17 6.1	5 1.8	1 0.4
年齢別	16～19歳(N=54)	7 13.0	6 11.1	0 0.0	2 3.7	4 7.4	0 0.0	0 0.0
	20～24歳(N=63)	5 7.9	5 7.9	5 7.9	2 3.2	2 3.2	1 1.6	0 0.0
	25～29歳(N=71)	6 8.5	4 5.6	2 2.8	4 5.6	4 5.6	2 2.8	1 1.4
	30～34歳(N=125)	4 3.2	2 1.6	4 3.2	10 8.0	7 5.6	3 2.4	2 1.6
	35～39歳(N=126)	9 7.1	8 6.3	5 4.0	10 7.9	6 4.8	0 0.0	0 0.0
	その他(N=9)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段%

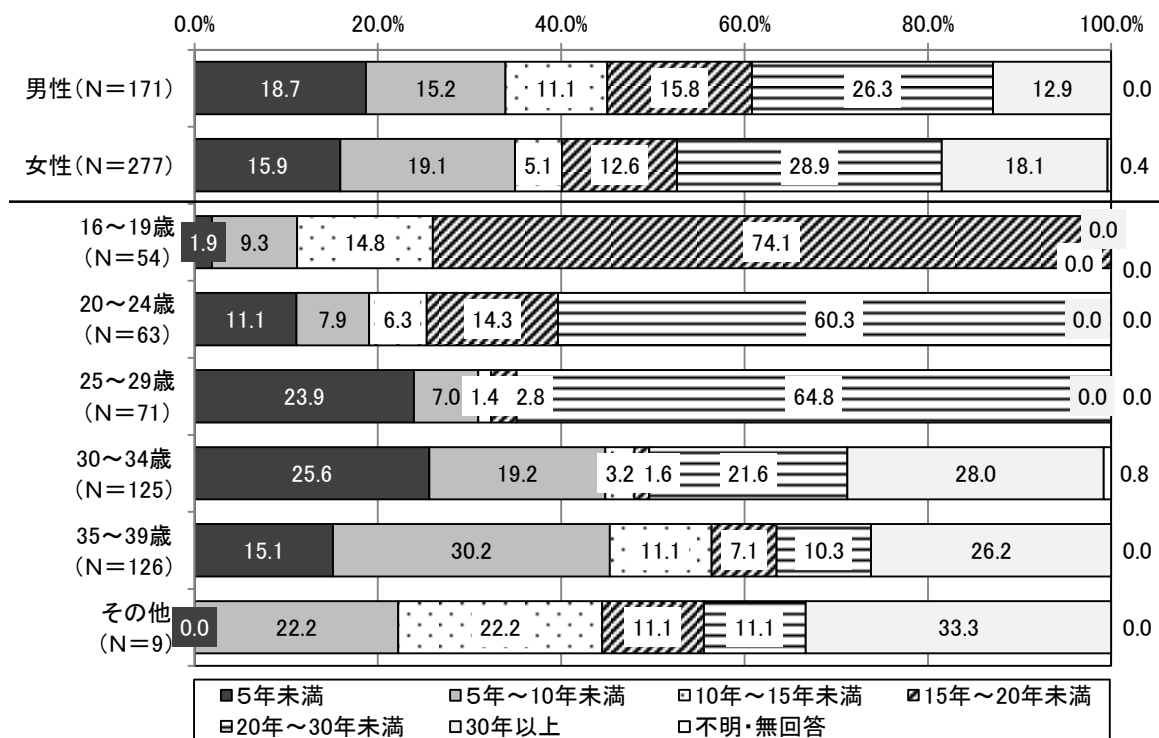
**問7 あなたは、河内長野市にお住まいになって何年になりますか。以前に住んでいて、再び転居してきた場合は、再転居してからの年数をお答えください。(1つに〇)**

居住年数については、「20年～30年未満」が27.8%と最も多く、次いで「5年～10年未満」が17.6%、「5年未満」が16.9%となっています。

年齢別では『25～34歳』で「5年未満」が多くなっています。



◆性別、年齢別クロス

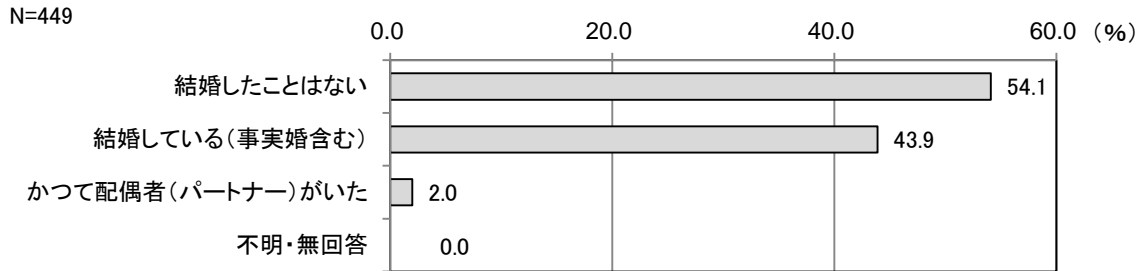


## 2 結婚・出産・子育てについて

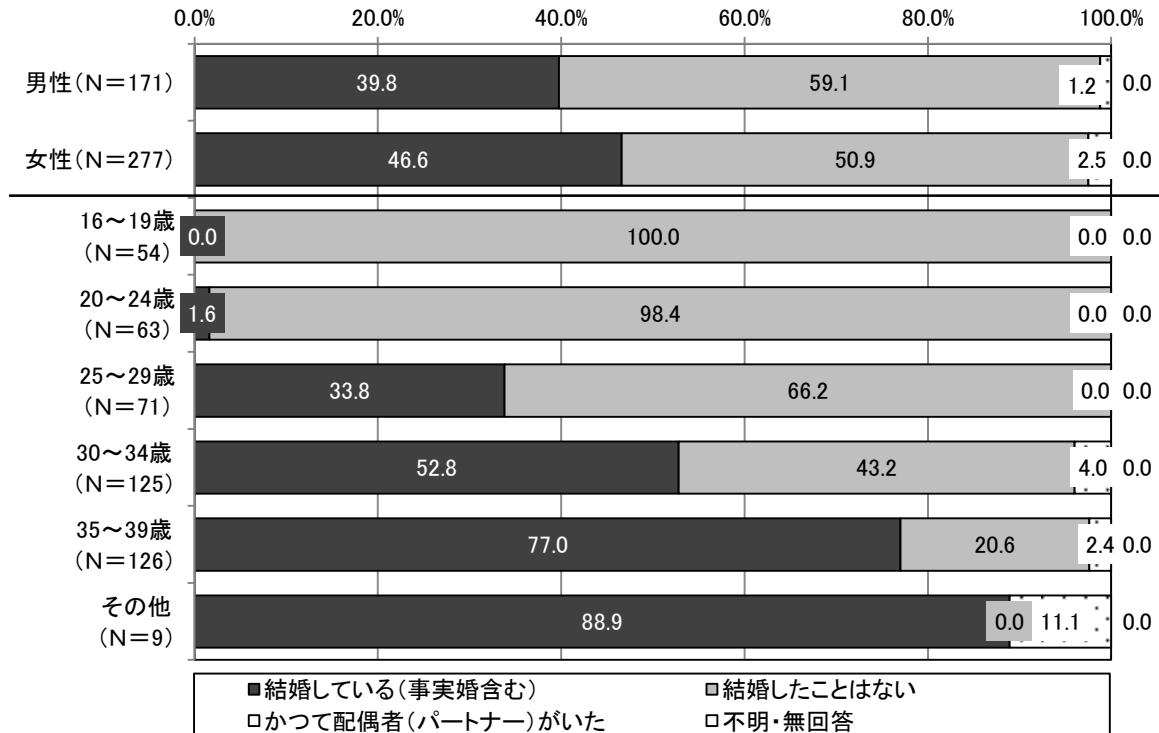
### 問8 あなたは結婚していますか。(1つに〇)

結婚の有無については、「結婚したことはない」が54.1%と最も多く、次いで「結婚している(事実婚含む)」が43.9%となっています。

性別では「女性」の方が「結婚している」が多くなっています。年齢別では「25～29歳」では3割程度となっている一方、「35～39歳」では8割弱が「結婚している」となっています。



#### ◆性別、年齢別クロス

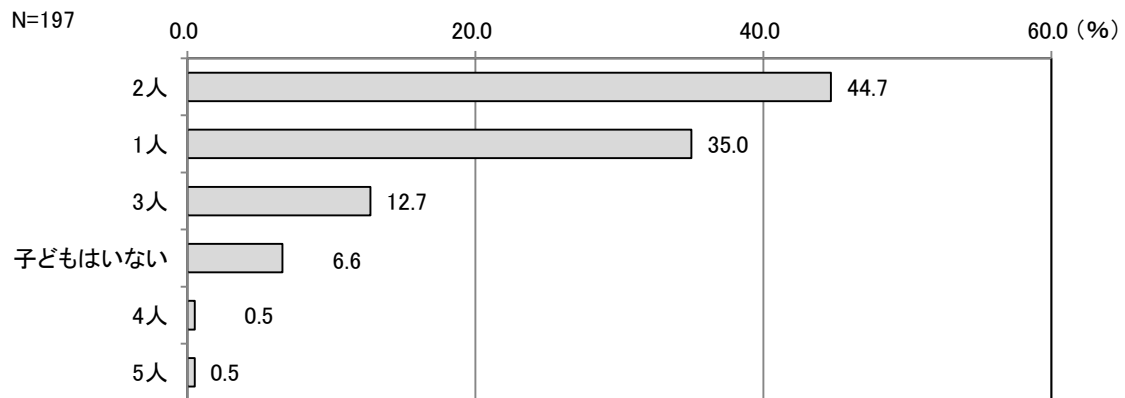


**問9 あなた方ご夫婦には、お子さんが何人いらっしゃいますか。現在妊娠中のお子さんは含めずお答えください。(1つに○、数字を記入)**

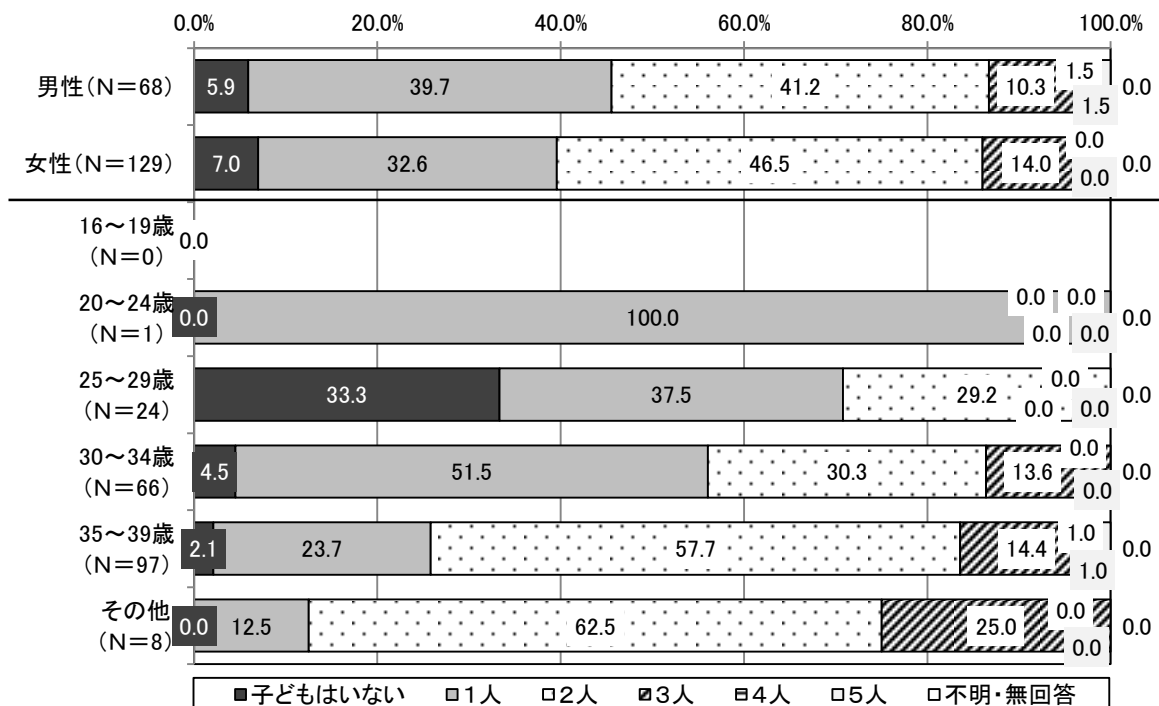
【結婚している方のみ(問8「1. 結婚している(事実婚含む)」)】

現在の子どもの人数については、「2人」が44.7%と最も多く、次いで「1人」が35.0%となっています。

年齢別では、結婚している「25～29歳」で「子どもはいない」が3割以上となっています。



◆性別、年齢別クロス



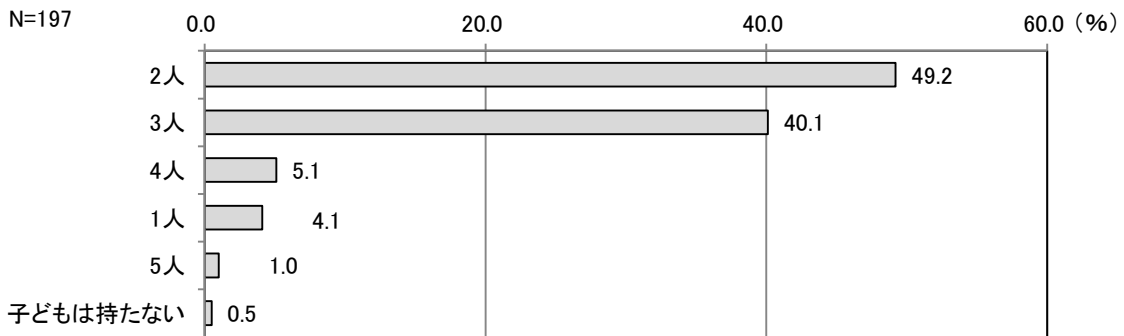
問 10(1)あなた方ご夫婦にとって、理想的と思う子どもの数は何人ですか。

(1つに〇、数字を記入)

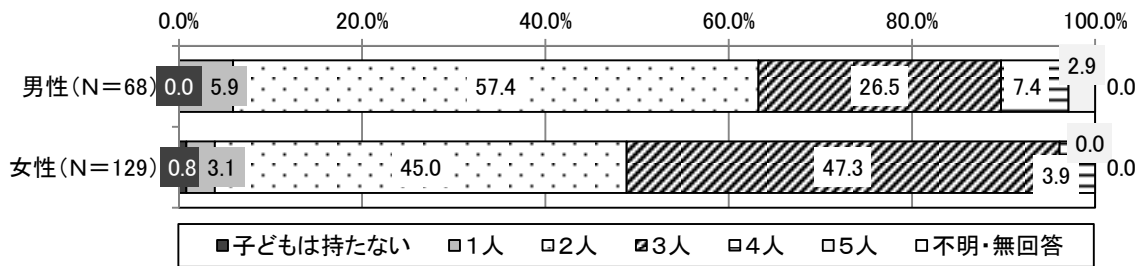
【結婚している方のみ(問8「1. 結婚している(事実婚含む)」)】

理想的と思う子どもの人数については、「2人」が 49.2%と最も多く、次いで「3人」が 40.1%となっています。

性別では「女性」の方が「3人」を希望する割合が高くなっています。



◆性別クロス



**問 10(2)「1. 子どもは持たない」を選んだ方におうかがいします。**

**子どもを持つことを望んでいない理由を教えてください。(3つまで○)**

**【結婚している方のみ(問8「1. 結婚している(事実婚含む)」)】**

子どもを持つことを望んでいない理由については、「経済的な制約が増える」「親になることが不安・子育てに自信が持てそうにない」がともに1件となっています。

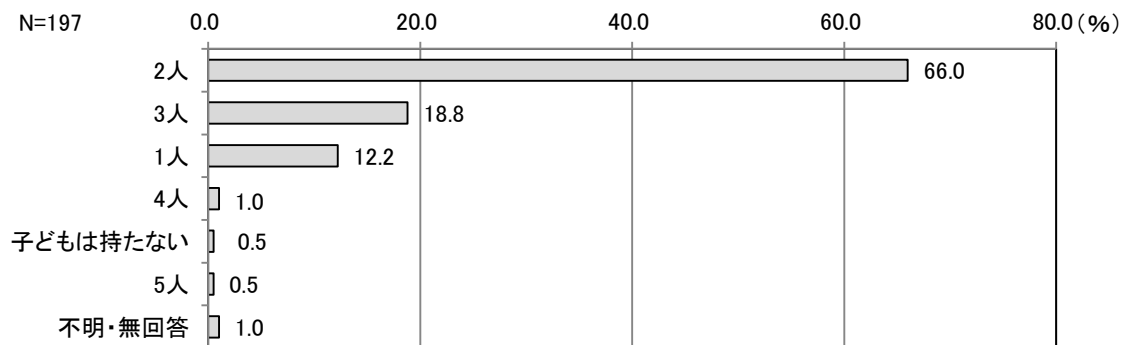
N=1

問10(2)回答	件数
経済的な制約が増える	1
親になることが不安・子育てに自信が持てそうにない	1

**問 11 あなた方ご夫婦は、現実的に持てるお子さんの数は何人ですか。(1つに○、数字を記入)**

**【結婚している方のみ(問8「1. 結婚している(事実婚含む)」)】**

現実的に持てる子どもの人数については、「2人」が66.0%と最も多く、次いで「3人」が18.8%となっています。

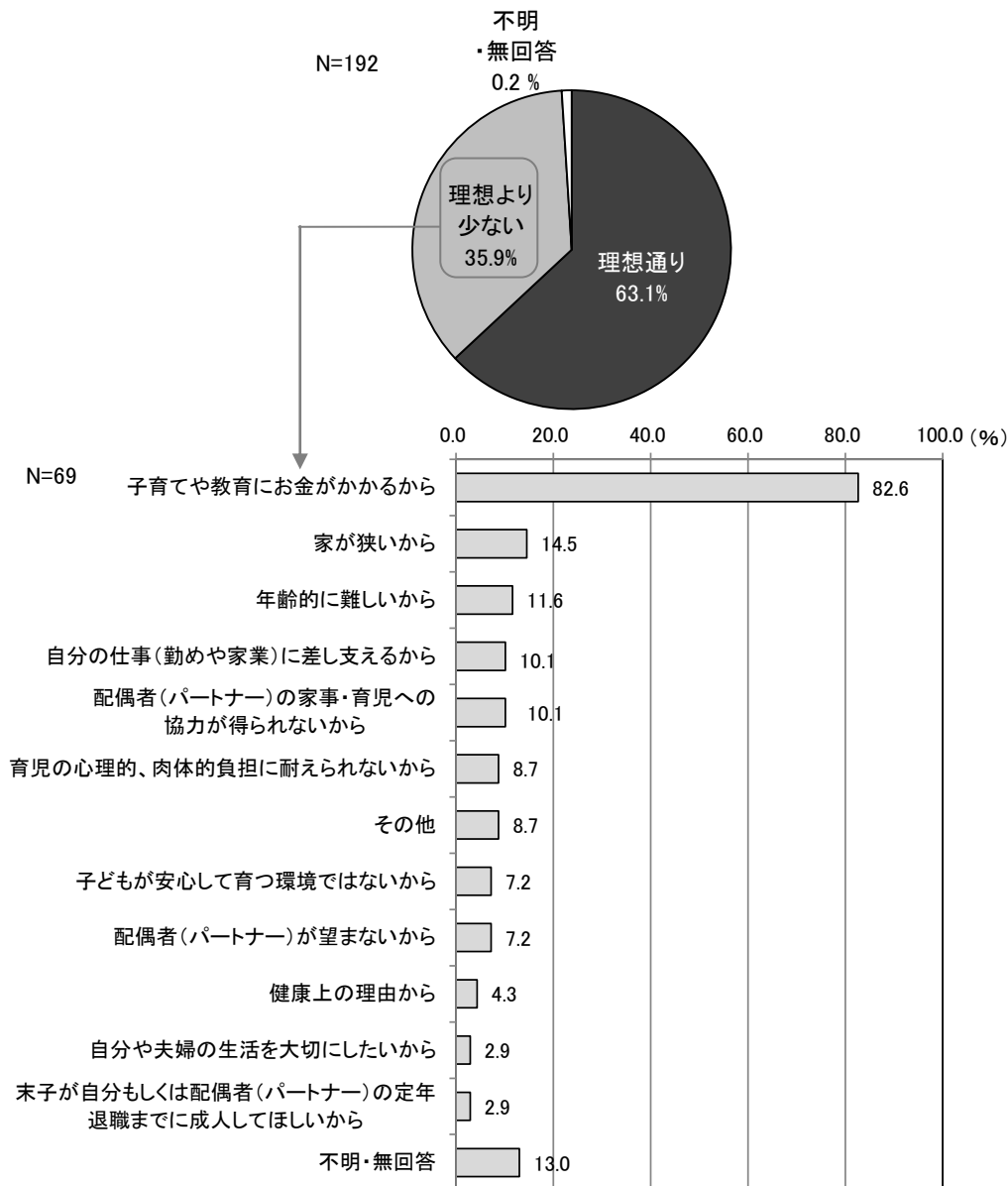


**問 12 現実的に持てるお子さんの数〔問 11 の答〕が、理想とする子どもの数〔問 10(1)の答〕より少ない方におうかがいします。**

**少ない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)**

【結婚している方のみ(問8「1. 結婚している(事実婚含む)」)】

子どもの数については、「理想通り」が63.1%、「理想より少ない」が35.9%となっています。  
理想より少ない理由については、「子育てや教育にお金がかかるから」が82.6%と最も多く、次いで「家が狭いから」が14.5%、「年齢的に難しいから」が11.6%となっています。



問 12 その他回答
不妊治療に費用がかかる
思案中
パートナー(妻)が仕事をしていて、子育てと仕事のバランスを保つため
子育てに対する施策が少ない。金銭面でも援助してほしい
兄弟をつくってあげたいが、経済的に厳しい
親元が遠く、いざという時に協力が得られない

性別では男女ともに「子育てや教育にお金がかかるから」が最も多くなっています。

子どもの有無別にみても、子どもの有無にかかわらず「子育てや教育にお金がかかるから」が最も多くなっており、次いで「1人」は「年齢的に難しいから」、「2人」「3人」は「家が狭いから」、「3人」については「子どもが安心して育つ環境ではないから」が多くなっています。

◆性別、問9子どもの有無別クロス

		子育てや教育にお金がかかるから	家が狭いから	自分の仕事(勤めや家業)に差し支えるから	子どもが安心して育つ環境ではないから	自分や夫婦の生活を大切にしたいから	年齢的に難しいから	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから
性別	男性(N=20)	13 65.0	3 15.0	0 0.0	1 5.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0
	女性(N=49)	44 89.8	7 14.3	7 14.3	4 8.2	1 2.0	6 12.2	5 10.2
問9子どもの有無	子どもはいない(N=3)	3 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1人(N=20)	16 80.0	2 10.0	1 5.0	2 10.0	1 5.0	3 15.0	2 10.0
	2人(N=36)	30 83.3	7 19.4	6 16.7	2 5.6	1 2.8	5 13.9	4 11.1
	3人(N=10)	8 80.0	1 10.0	0 0.0	1 10.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4人(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5人(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		健康上の理由から	配偶者(パートナー)の家事・育児への協力が得られないから	配偶者(パートナー)が望まないから	末子が自分もしくは配偶者(パートナー)の定年退職までに成人してほしいから	その他	不明・無回答
性別	男性(N=20)	1 5.0	1 5.0	2 10.0	0 0.0	1 5.0	5 25.0
	女性(N=49)	2 4.1	6 12.2	3 6.1	2 4.1	5 10.2	4 8.2
問9子どもの有無	子どもはいない(N=3)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	1人(N=20)	2 10.0	2 10.0	3 15.0	- -	3 15.0	2 10.0
	2人(N=36)	1 2.8	5 13.9	2 5.6	2 5.6	3 8.3	5 13.9
	3人(N=10)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 20.0
	4人(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5人(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数、下段%

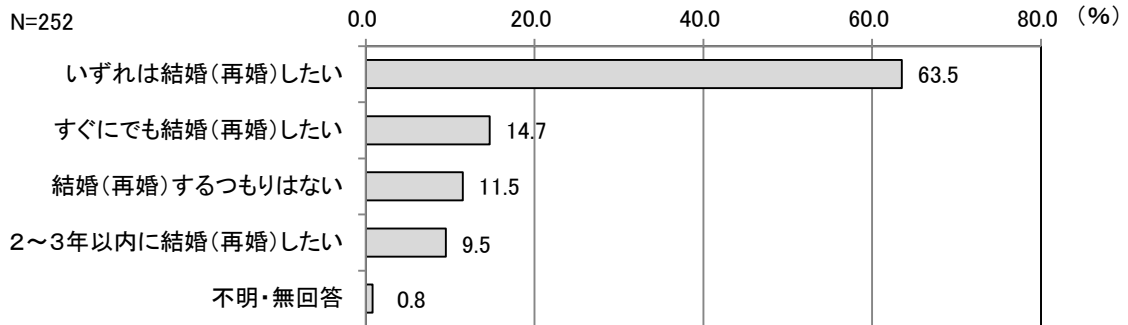


### 問 13(1)あなたは、将来結婚(再婚)したいですか。(1つに〇)

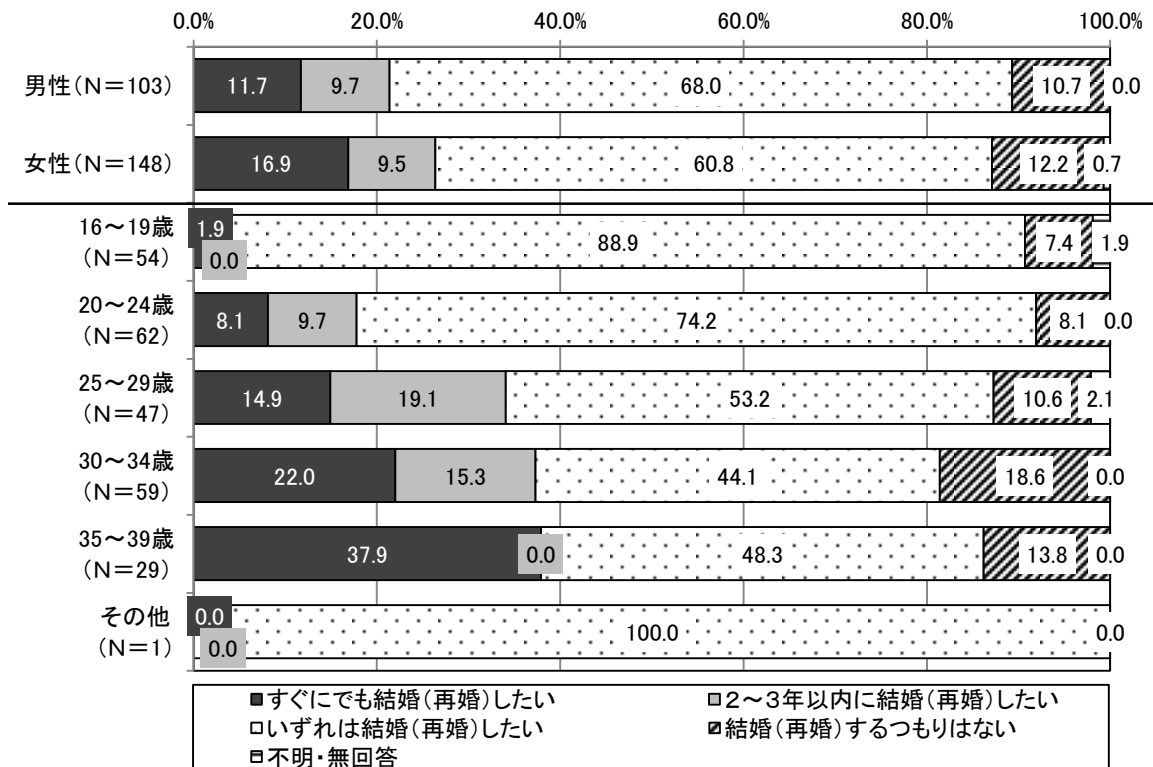
【結婚していない方のみ(問8「2. 結婚したことはない」「3. かつて配偶者(パートナー)がいた)】

将来の結婚(再婚)願望については、「いずれは結婚(再婚)したい」が63.5%と最も多く、次いで「すぐにでも結婚(再婚)したい」が14.7%、「結婚(再婚)するつもりはない」が11.5%となっています。

性別では「女性」が、年齢別では年齢が上がるにつれて「すぐにでも結婚(再婚)したい」割合が高くなっています。



#### ◆性別、年代別クロス



問 13(2)問 13(1)で「1. すぐにでも結婚(再婚)したい」～「3. いずれは結婚(再婚)したい」を選んだ方におうかがいします。

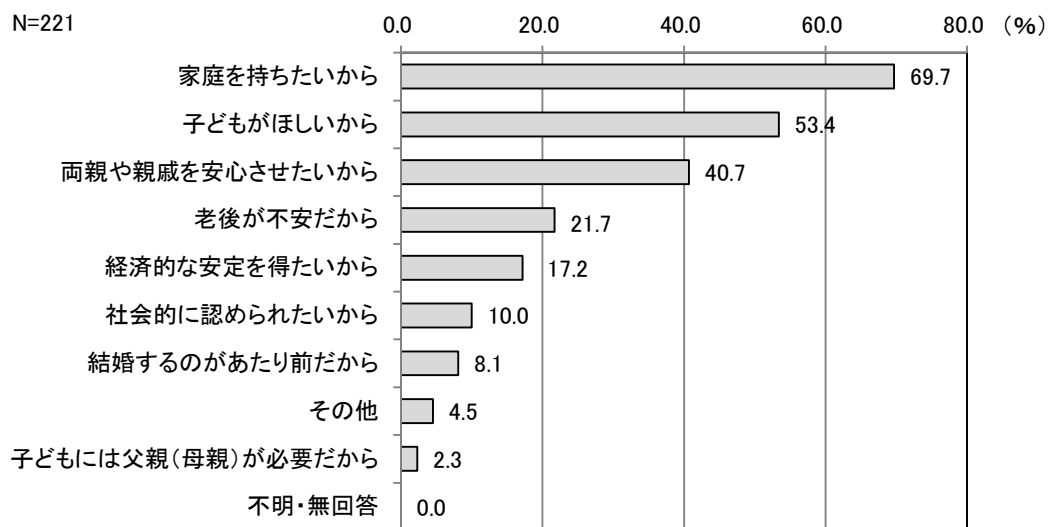
あなたが結婚(再婚)したい理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

【結婚していない方のみ(問8「2. 結婚したことはない」「3. かつて配偶者(パートナー)がいた」)】

結婚(再婚)したい理由については、「家庭を持ちたいから」が69.7%と最も多く、次いで「子どもがほしいから」が53.4%、「両親や親戚を安心させたいから」が40.7%となっています。

性別では「女性」で「経済的な安定を得たいから」「老後が不安だから」の割合が高くなっています。

年齢別では全ての年齢で「家庭を持ちたいから」が最も多くなっており、中でも10歳代・20歳代は7割を超えています。



問 13(2)その他回答	
何となく	落ち着く場所がほしい
したことがないから	結婚したい相手がいるから
協力し合えるパートナーが現れたら結婚したい	精神的パートナーがほしい
国のため	

◆性別、年代別クロス

		家庭を持ちたいから	子どもがほしいから	両親や親戚を安心させたいから	経済的な安定を得たいから	社会的に認められたいから	老後が不安だから	結婚するのがあたり前だから	子どもには父親(母親)が必要だから	その他	不明・無回答
性別	男性(N=92)	64	42	34	7	14	16	11	3	4	0
		69.6	45.7	37.0	7.6	15.2	17.4	12.0	3.3	4.3	0.0
性別	女性(N=129)	90	76	56	31	8	32	7	2	6	0
		69.8	58.9	43.4	24.0	6.2	24.8	5.4	1.6	4.7	0.0
年齢別	16～19歳(N=49)	37	25	16	10	5	11	7	3	3	0
		75.5	51.0	32.7	20.4	10.2	22.4	14.3	6.1	6.1	0.0
	20～24歳(N=57)	42	31	17	13	8	8	5	1	1	0
		73.7	54.4	29.8	22.8	14.0	14.0	8.8	1.8	1.8	0.0
	25～29歳(N=41)	29	27	23	6	3	11	3	0	2	0
		70.7	65.9	56.1	14.6	7.3	26.8	7.3	0.0	4.9	0.0
	30～34歳(N=48)	31	23	24	5	4	10	3	1	3	0
	64.6	47.9	50.0	10.4	8.3	20.8	6.3	2.1	6.3	0.0	
35～39歳(N=25)	14	12	10	4	2	8	0	0	1	0	
	56.0	48.0	40.0	16.0	8.0	32.0	0.0	0.0	4.0	0.0	
その他(N=1)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

上段: 件数、下段%

**問 13(3)問 13(1)で「4. 結婚(再婚)するつもりはない」を選んだ方におうかがいします。**

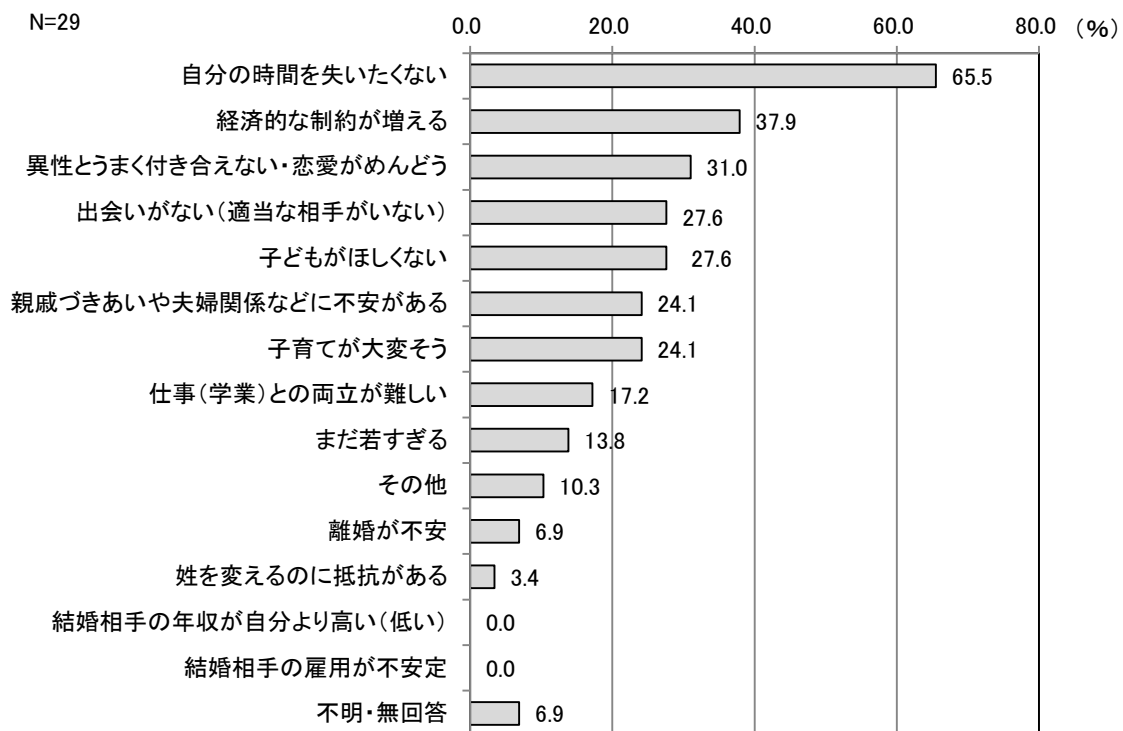
**あなたが結婚(再婚)したくない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)**

**【結婚していない方のみ(問8「2. 結婚したことはない」「3. かつて配偶者(パートナー)がいた」)】**

結婚(再婚)したくない理由については、「自分の時間を失いたくない」が65.5%と最も多く、次いで「経済的な制約が増える」が37.9%、「異性とうまく付き合えない・恋愛がめんどろ」が31.0%となっています。

性別では男女ともに「自分の時間を失いたくない」が最も多くなっています。また、「経済的な制約が増える」については男性(27.3%)よりも女性(44.4%)が多くなっています。

年齢別では全ての年齢で「自分の時間を失いたくない」が最も多くなっています。



問 13(3)その他回答
同性愛者のため、男同士なら結婚したい
人が嫌い

◆性別、年代別クロス ※サンプル数が少ないため、1位のみ色つけ

		経済的な制約が増える	結婚相手の年収が自分より高い(低い)	結婚相手の雇用が不安定	出会いがない(適当な相手がいない)	異性とうまく付き合えない・恋愛がめんどろ	自分の時間を失いたくない	仕事(学業)との両立が難しい	まだ若すぎる
性別	男性(N=11)	3 27.3	0 0.0	0 0.0	2 18.2	3 27.3	7 63.6	1 9.1	3 27.3
	女性(N=18)	8 44.4	0 0.0	0 0.0	6 33.3	6 33.3	12 66.7	4 22.2	1 5.6
年齢別	16~19歳(N=4)	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	2 50.0	3 75.0	0 0.0	2 50.0
	20~24歳(N=5)	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0	2 40.0	2 40.0
	25~29歳(N=5)	4 80.0	0 0.0	0 0.0	3 60.0	5 100.0	5 100.0	2 40.0	0 0.0
	30~34歳(N=11)	4 36.4	0 0.0	0 0.0	2 18.2	0 0.0	5 45.5	1 9.1	0 0.0
	35~39歳(N=4)	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	3 75.0	0 0.0	0 0.0
	その他(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

		親戚づきあいや夫婦関係などに不安がある	姓を変えるのに抵抗がある	離婚が不安	子どもがほしくない	子育てが大変そう	その他	不明・無回答
性別	男性(N=11)	2 18.2	0 0.0	0 0.0	3 27.3	1 9.1	2 18.2	1 9.1
	女性(N=18)	5 27.8	1 5.6	2 11.1	5 27.8	6 33.3	1 5.6	1 5.6
年齢別	16~19歳(N=4)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0
	20~24歳(N=5)	1 20.0	0 0.0	0 0.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0	1 20.0
	25~29歳(N=5)	2 40.0	0 0.0	2 40.0	3 60.0	4 80.0	0 0.0	0 0.0
	30~34歳(N=11)	2 18.2	0 0.0	0 0.0	2 18.2	2 18.2	1 9.1	1 9.1
	35~39歳(N=4)	2 50.0	1 25.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	その他(N=0)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数、下段%

**問 14 あなたは、これからお子さんを何人くらいほしいと思いますか。(1つに〇、数字を記入)**

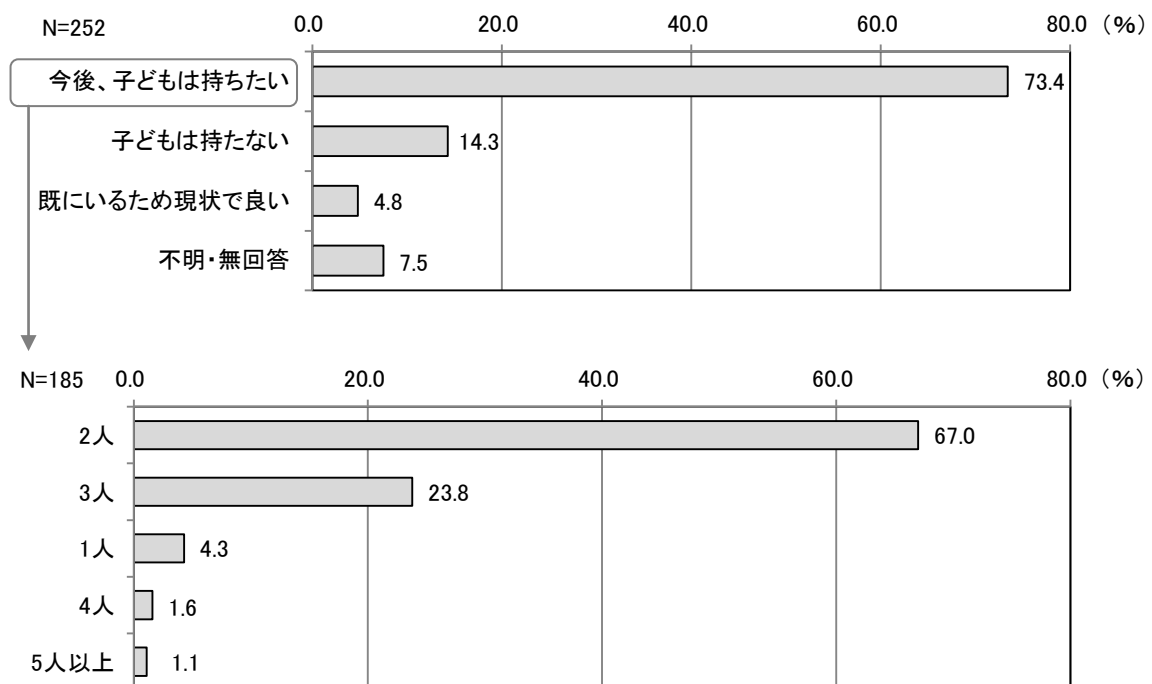
【結婚していない方のみ(問8「2. 結婚したことはない」「3. かつて配偶者(パートナー)がいた)】

これから子どもを持ちたいかについては、「今後、子どもは持ちたい」が73.4%と最も多く、次いで「子どもは持たない」が14.3%となっています。

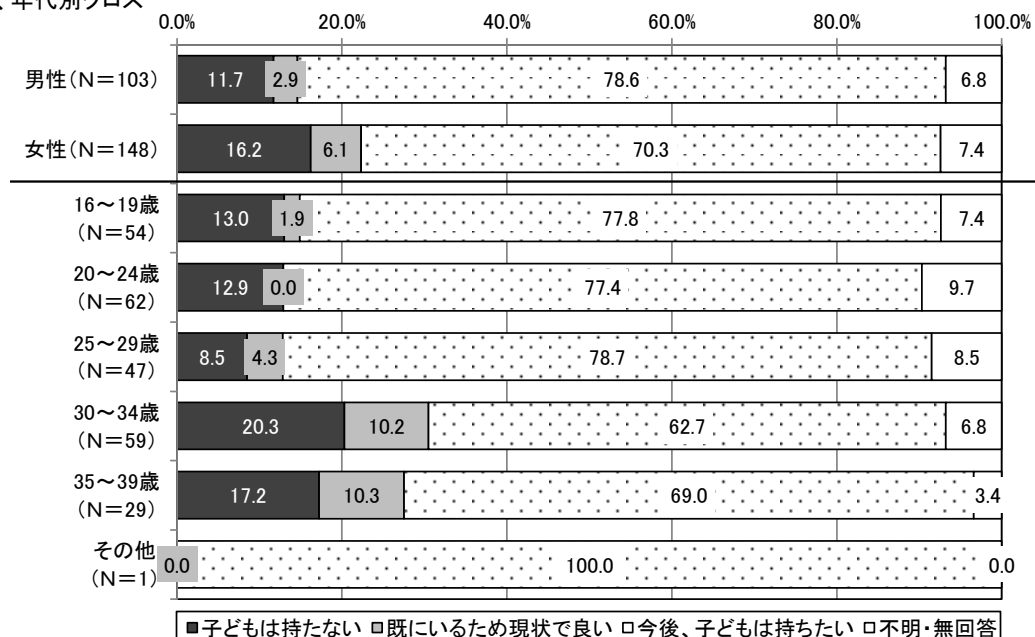
これから子どもを持ちたい人数については、「2人」が67.0%と最も多く、次いで「3人」が23.8%となっています。

年齢別で見ると、『30歳代』では、「子どもは持たない」割合が高くなっています。

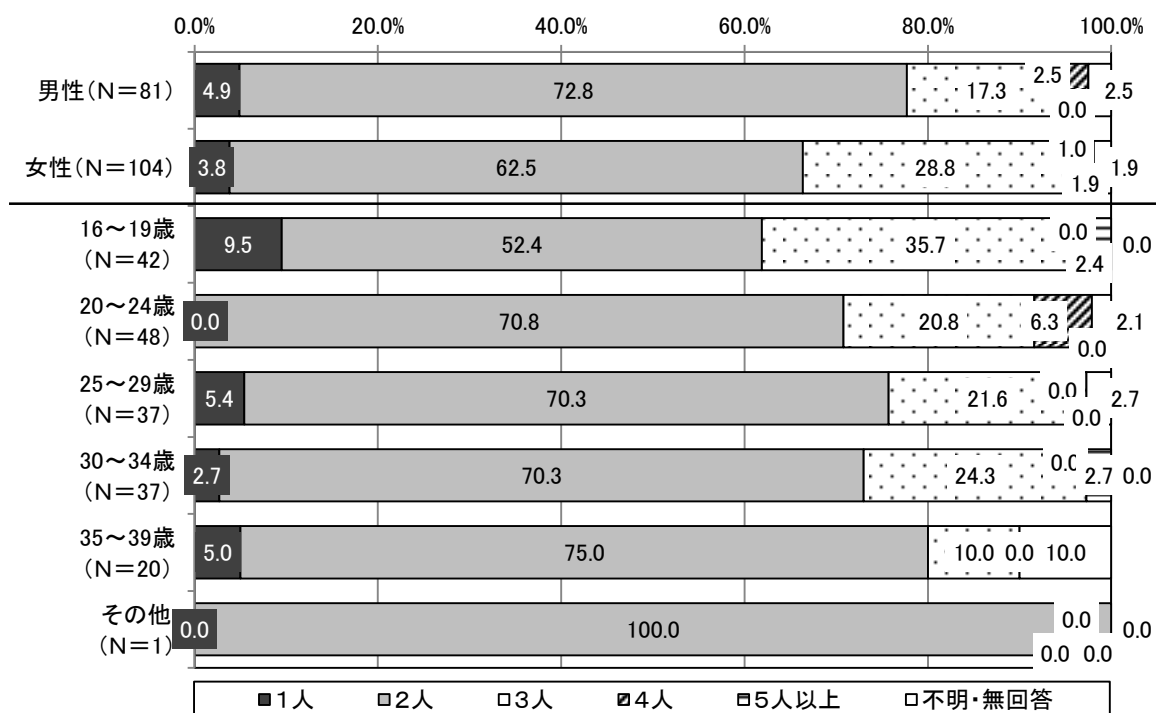
子どもを持ちたい人が希望する子どもの人数については、「女性」「16～19歳」で「3人」が多くなっています。



◆性別、年代別クロス



◆「子どもを持ちたい」人数の性別、年代別クロス



## 問 15 あなたが結婚・出産の希望をかなえるために、どのような取組みが必要だと思いますか。 (3つまで)

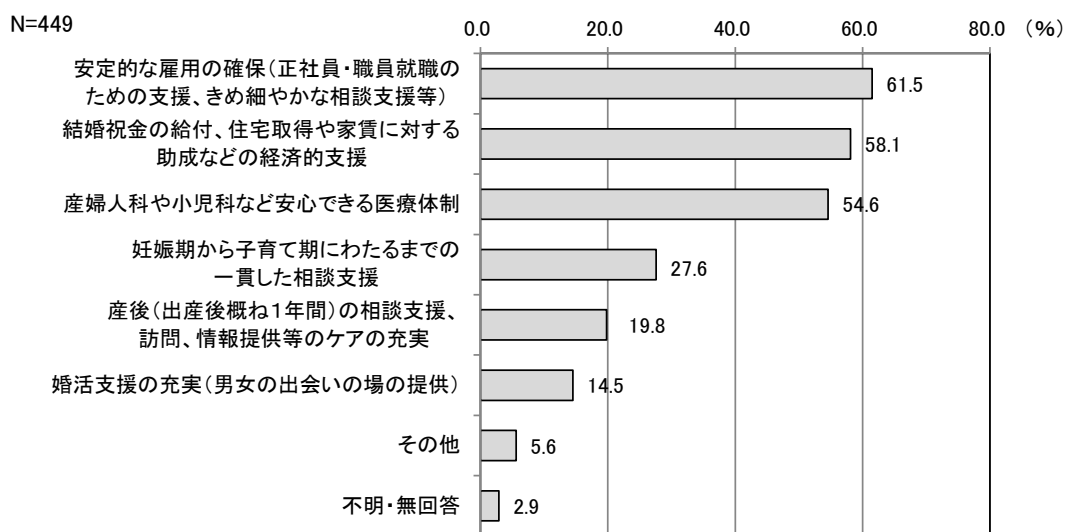
結婚・出産の希望をかなえるために必要な取組みについては、「安定的な雇用の確保（正社員・職員就職のための支援、きめ細やかな相談支援等）」が 61.5%と最も多く、次いで「結婚祝金の給付、住宅取得や家賃に対する助成などの経済的支援」が 58.1%、「産婦人科や小児科など安心できる医療体制」が 54.6%となっています。

性別では男女ともに「安定的な雇用の確保（正社員・職員就職のための支援、きめ細やかな相談支援等）」が男性で 58.5%、女性で 63.5%と最も多くなっています。

年齢別では 16～19 歳、35～39 歳で「安定的な雇用の確保（正社員・職員就職のための支援、きめ細やかな相談支援等）」、その他の年齢で「結婚祝金の給付、住宅取得や家賃に対する助成などの経済的支援」が最も多くなっています。

結婚の有無別では「結婚している」で「結婚祝金の給付、住宅取得や家賃に対する助成などの経済的支援」、「結婚したことはない」で「安定的な雇用の確保（正社員・職員就職のための支援、きめ細やかな相談支援等）」が最も多くなっています。

子どもの有無別では「子どもはいない」「3人」で「結婚祝金の給付、住宅取得や家賃に対する助成などの経済的支援」、「1人」で「結婚祝金の給付、住宅取得や家賃に対する助成などの経済的支援」、「2人」で「安定的な雇用の確保（正社員・職員就職のための支援、きめ細やかな相談支援等）」が最も多くなっています。



問 15 その他回答	
駅前の保育所の充実	子ども数によって増える現金給付
妊娠にいたるまでの支援や、情報提供等	障がい者の日常生活へのサポート
残業の削減	公立保育園の充実
夏休み・冬休み等の長期休暇中、低学年を預かってくれる場所	雇用を続けるための育児支援
金銭面での援助(病院や学校、幼保育園)	不妊治療の助成金
保育機関の充実	保育機関の充実
婚活するための時間の確保	出産後、仕事復帰したくても保育所に入れない
電車の本数を増やす	家事・育児サポート
全てにおいての経済的支援、保育所の充実	
再就職先が決まる前に、希望する保育園に入園できること	

◆性別、年齢別クロス

		安定的な雇用の確保(正社員・職員就職のための支援、きめ細やかな相談支援等)	婚活支援の充実(男女の出会いの場の提供)	結婚祝金の給付、住宅取得や家賃に対する助成などの経済的支援	妊娠期から子育て期にわたるまでの一貫した相談支援	産後(出産後概ね1年間)の相談支援、訪問、情報提供等のケアの充実	産婦人科や小児科など安心できる医療体制	その他	不明・無回答
性別	男性(N=171)	100 58.5	30 17.5	94 55.0	36 21.1	32 18.7	84 49.1	12 7.0	5 2.9
	女性(N=277)	176 63.5	35 12.6	167 60.3	88 31.8	57 20.6	161 58.1	13 4.7	7 2.5
年齢別	16～19歳(N=54)	46 85.2	5 9.3	22 40.7	17 31.5	10 18.5	28 51.9	3 5.6	2 3.7
	20～24歳(N=63)	39 61.9	9 14.3	41 65.1	28 44.4	15 23.8	32 50.8	1 1.6	1 1.6
	25～29歳(N=71)	44 62.0	11 15.5	50 70.4	22 31.0	14 19.7	39 54.9	2 2.8	1 1.4
	30～34歳(N=125)	62 49.6	21 16.8	77 61.6	30 24.0	26 20.8	67 53.6	4 3.2	6 4.8
	35～39歳(N=126)	78 61.9	18 14.3	66 52.4	25 19.8	24 19.0	75 59.5	15 11.9	3 2.4
	その他(N=9)	7 77.8	1 11.1	5 55.6	2 22.2	0 0.0	3 33.3	0 0.0	0 0.0

◆問8、問9クロス

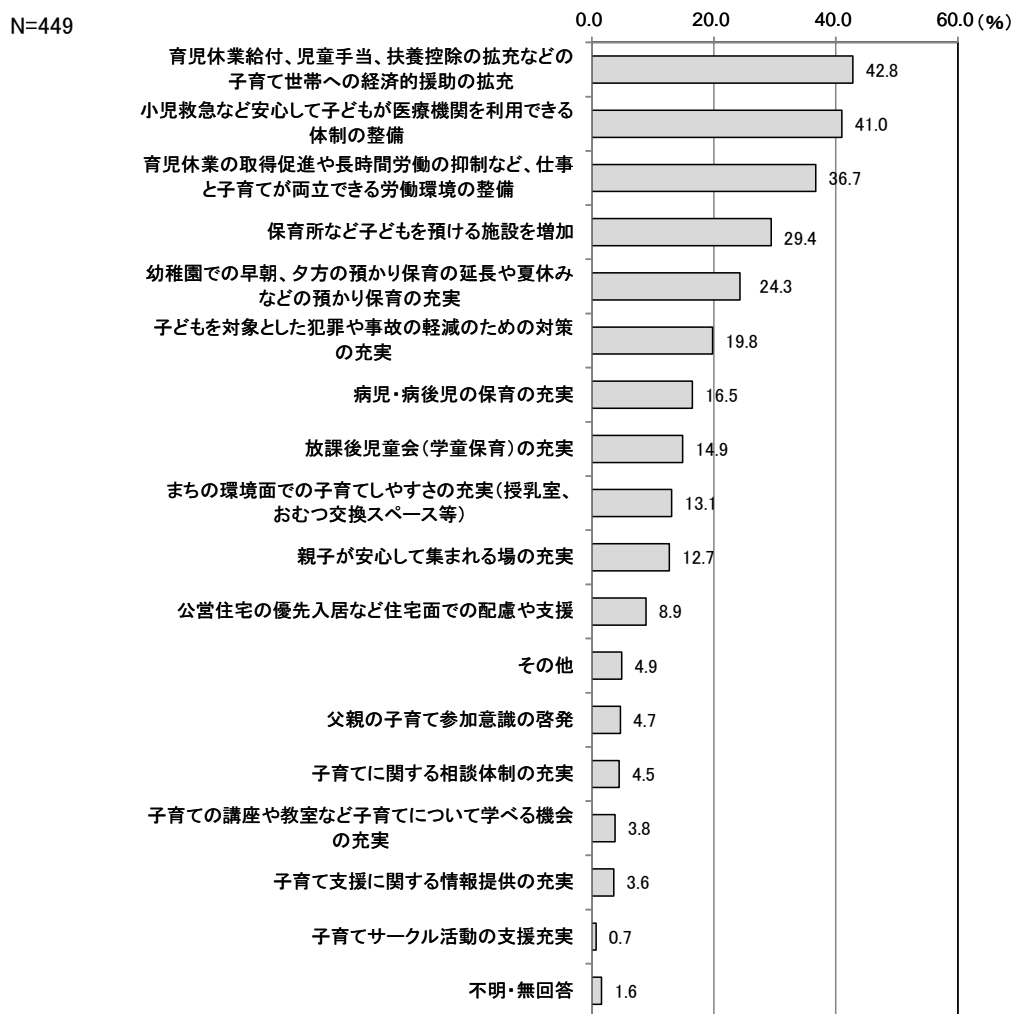
		安定的な雇用の確保(正社員・職員就職のための支援、きめ細やかな相談支援等)	婚活支援の充実(男女の出会いの場の提供)	結婚祝金の給付、住宅取得や家賃に対する助成などの経済的支援	妊娠期から子育て期にわたるまでの一貫した相談支援	産後(出産後概ね1年間)の相談支援、訪問、情報提供等のケアの充実	産婦人科や小児科など安心できる医療体制	その他	不明・無回答
問8 結婚の有無	結婚している(事実婚含む)(N=197)	111 56.3	16 8.1	121 61.4	44 22.3	41 20.8	120 60.9	16 8.1	6 3.0
	結婚したことはない(N=243)	161 66.3	45 18.5	134 55.1	80 32.9	47 19.3	122 50.2	9 3.7	6 2.5
	かつて配偶者(パートナー)がいた(N=9)	4 44.4	4 44.4	6 66.7	0 0.0	1 11.1	3 33.3	0 0.0	1 11.1
問9 子どもの有無	子どもはいない(N=13)	8 61.5	1 7.7	10 76.9	6 46.2	2 15.4	9 69.2	0 0.0	0 0.0
	1人(N=69)	30 43.5	7 10.1	41 59.4	15 21.7	17 24.6	48 69.6	6 8.7	2 2.9
	2人(N=88)	59 67.0	7 8.0	50 56.8	15 17.0	16 18.2	47 53.4	7 8.0	4 4.5
	3人(N=25)	13 52.0	1 4.0	18 72.0	8 32.0	6 24.0	14 56.0	3 12.0	0 0.0
	4人(N=1)	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0
	5人(N=1)	1 100.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数、下段%



**問 16 あなたは河内長野市において、どのような子育て支援の取組みが必要だと思いますか。  
(3つまで)**

必要だと思う子育て支援の取組みについては、「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が42.8%と最も多く、次いで「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制の整備」が41.0%、「育児休業の取得促進や長時間労働の抑制など、仕事と子育てが両立できる労働環境の整備」が36.7%となっています。



問 16 その他回答	
これらの支援の取組みは全て必要	学童保育、夏休みなどの長期休暇中の給食の提供
家族で過ごす大きな公園の拡充	普段学童に行く必要はないが、長期休暇期間に利用できる学童保育
公園を充実させる	若者への市民税優遇
地域が子どもを見守る環境づくり	小・中学校の学習環境の充実
不妊に対する支援(特定不妊治療の助成)	保育園・幼稚園教員の給与の充実
婚姻していない母子家庭救済として婚姻以外の相互扶助関係の推進	公立小・中学校の治安改善
公立幼稚園、保育園の増加	支援内容を伝え、今ある取組みで必要なものだけを強みにする
公立の幼稚園・保育所があればいい	安定的な雇用の確保
交通機関(高速道路等)の拡大	保育園の空き状況に不安があり、二人目の子どもを産むのに心配
子連れでも買い物しやすい商業施設の充実。広い駐車場やベビーカー等	
生活必需品が近くで調達ができる	

男女別については、男性で医療面での支援である「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制の整備」が39.2%、女性で経済的な支援である「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」が47.7%と最も高くなっています。

年齢別については、『16～24歳』で就労面での支援である「育児休業の取得促進や長時間労働の抑制など、仕事と子育てが両立できる労働環境の整備」、「25～29歳」「35～39歳」で経済的な支援である「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」、「30～34歳」で医療面での支援である「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制の整備」が最も多くなっています。

◆性別、年齢別クロス

		保育所など子どもを預ける施設を増加	病児・病後児の保育の充実	幼稚園での早期、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育の充実	放課後児童会(学童保育)の充実	子育てサークル活動の支援充実	子育て支援に関する情報提供の充実	子育てに関する相談体制の充実	子育ての講座や教室など子育てについて学べる機会の充実	父親の子育て参加意識の啓発
性別	男性(N=171)	62 36.3	28 16.4	35 20.5	17 9.9	1 0.6	8 4.7	8 4.7	7 4.1	4 2.3
	女性(N=277)	70 25.3	46 16.6	74 26.7	50 18.1	2 0.7	8 2.9	12 4.3	10 3.6	17 6.1
年齢別	16～19歳(N=54)	16 29.6	9 16.7	6 11.1	2 3.7	0 0.0	3 5.6	1 1.9	2 3.7	4 7.4
	20～24歳(N=63)	17 27.0	8 12.7	9 14.3	5 7.9	1 1.6	1 1.6	6 9.5	4 6.3	4 6.3
	25～29歳(N=71)	22 31.0	11 15.5	25 35.2	5 7.0	0 0.0	2 2.8	0 0.0	5 7.0	2 2.8
	30～34歳(N=125)	38 30.4	24 19.2	35 28.0	24 19.2	2 1.6	6 4.8	8 6.4	1 0.8	3 2.4
	35～39歳(N=126)	36 28.6	21 16.7	31 24.6	28 22.2	0 0.0	4 3.2	5 4.0	5 4.0	8 6.3
	その他(N=9)	2 22.2	1 11.1	3 33.3	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	性別	男性(N=171)	23 13.5	21 12.3	61 35.7	67 39.2	31 18.1	60 35.1	23 13.5	13 7.6
女性(N=277)	34 12.3	38 13.7	104 37.5	117 42.2	58 20.9	132 47.7	17 6.1	9 3.2	4 1.4	
年齢別	16～19歳(N=54)	8 14.8	7 13.0	27 50.0	22 40.7	7 13.0	14 25.9	4 7.4	2 3.7	1 1.9
	20～24歳(N=63)	10 15.9	10 15.9	32 50.8	16 25.4	14 22.2	29 46.0	4 6.3	5 7.9	1 1.6
	25～29歳(N=71)	7 9.9	9 12.7	26 36.6	31 43.7	14 19.7	36 50.7	9 12.7	1 1.4	1 1.4
	30～34歳(N=125)	15 12.0	19 15.2	34 27.2	50 40.0	24 19.2	46 36.8	11 8.8	10 8.0	4 3.2
	35～39歳(N=126)	17 13.5	14 11.1	43 34.1	61 48.4	27 21.4	64 50.8	11 8.7	3 2.4	0 0.0
	その他(N=9)	0 0.0	0 0.0	3 33.3	4 44.4	2 22.2	3 33.3	1 11.1	1 11.1	0 0.0

上段:件数、下段%

結婚の有無別では「結婚している」で「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」、「結婚したことはない」で「育児休業の取得促進や長時間労働の抑制など、仕事と子育てが両立できる労働環境の整備」が最も多くなっています。

子どもの有無別では「子どもはいない」「2人」「3人」で「育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充」、「1人」で「小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制の整備」が最も多くなっています。

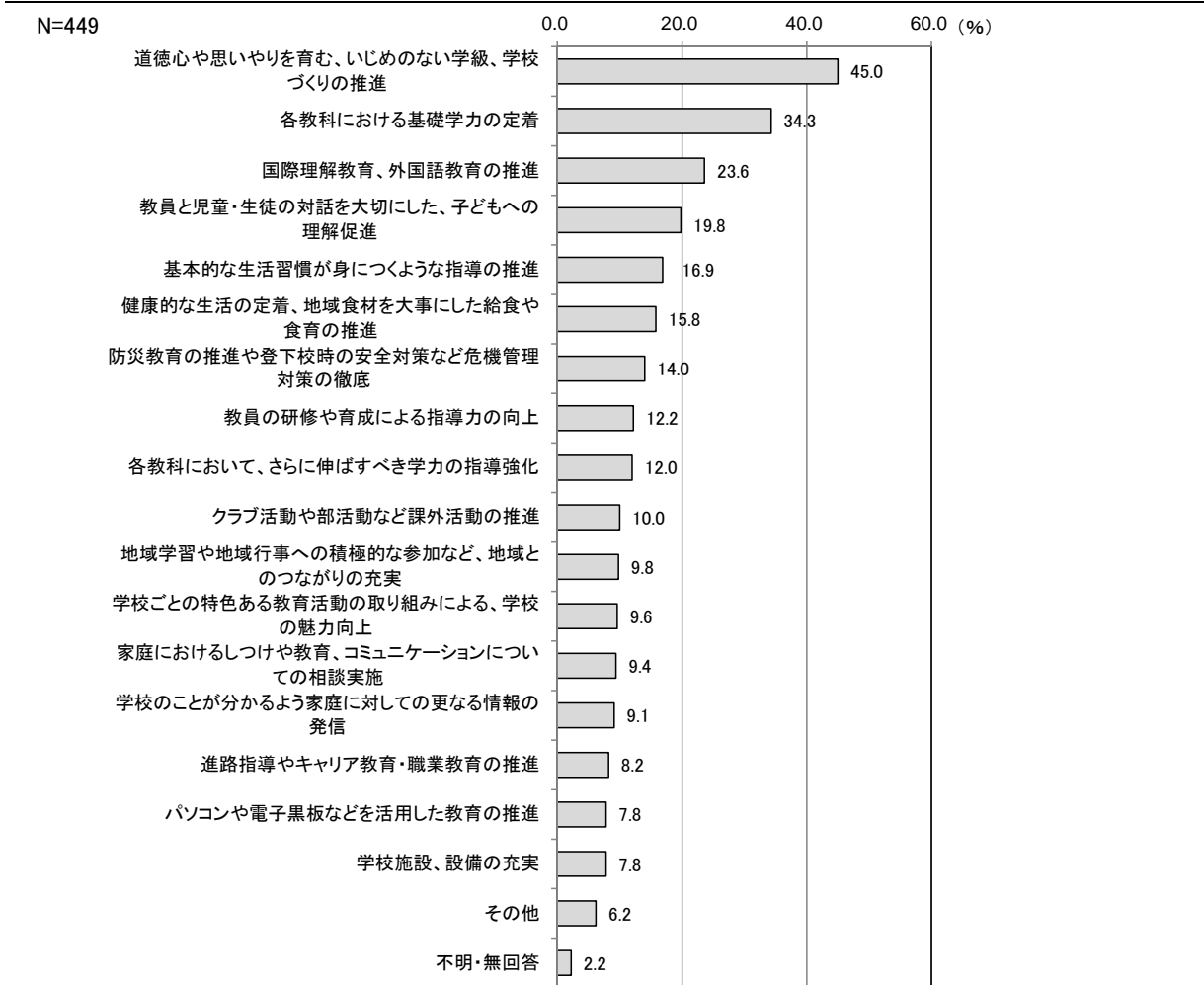
◆問8、問9クロス

		保育所など子どもを預ける施設を増加	病児・病後児の保育の充実	幼稚園での早朝、夕方の預かり保育の延長や夏休みなどの預かり保育の充実	放課後児童会(学童保育)の充実	子育てサークル活動の支援充実	子育て支援に関する情報提供の充実	子育てに関する相談体制の充実	子育ての講座や教室など子育てについて学べる機会の充実	父親の子育て参加意識の啓発
問8 結婚の有無	結婚している(事実婚含む)(N=197)	50 25.4	37 18.8	55 27.9	45 22.8	2 1.0	5 2.5	5 2.5	3 1.5	7 3.6
	結婚したことはない(N=243)	80 32.9	34 14.0	50 20.6	19 7.8	1 0.4	11 4.5	15 6.2	14 5.8	14 5.8
	かつて配偶者(パートナー)がいた(N=9)	2 22.2	3 33.3	4 44.4	3 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	子どもはいない(N=13)	5 38.5	- -	8 61.5	1 7.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
問9 子どもの有無	1人(N=69)	19 27.5	10 14.5	21 30.4	9 13.0	1 1.4	4 5.8	4 5.8	2 2.9	2 2.9
	2人(N=88)	20 22.7	17 19.3	23 26.1	27 30.7	1 1.1	1 1.1	1 1.1	1 1.1	5 5.7
	3人(N=25)	6 24.0	10 40.0	3 12.0	8 32.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	4人(N=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5人(N=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
		親子が安心して集まれる場の充実	まちの環境面での子育てしやすさの充実(授乳室、おむつ交換スペース等)	育児休業の取得促進や長時間労働の抑制など、仕事と子育てが両立できる労働環境の整備	小児救急など安心して子どもが医療機関を利用できる体制の整備	子どもを対象とした犯罪や事故の軽減のための対策の充実	育児休業給付、児童手当、扶養控除の拡充などの子育て世帯への経済的援助の拡充	公営住宅の優先入居など住宅面での配慮や支援	その他	不明・無回答
問8 結婚の有無	結婚している(事実婚含む)(N=197)	27 13.7	25 12.7	56 28.4	90 45.7	41 20.8	106 53.8	9 4.6	10 5.1	2 1.0
	結婚したことはない(N=243)	29 11.9	33 13.6	106 43.6	93 38.3	45 18.5	83 34.2	28 11.5	12 4.9	5 2.1
	かつて配偶者(パートナー)がいた(N=9)	1 11.1	1 11.1	3 33.3	1 11.1	3 33.3	3 33.3	3 33.3	0 0.0	0 0.0
	子どもはいない(N=13)	0 0.0	0 0.0	5 38.5	5 38.5	2 15.4	9 69.2	1 7.7	0 0.0	0 0.0
問9 子どもの有無	1人(N=69)	12 17.4	12 17.4	19 27.5	35 50.7	14 20.3	34 49.3	4 5.8	3 4.3	1 1.4
	2人(N=88)	11 12.5	10 11.4	27 30.7	40 45.5	19 21.6	47 53.4	2 2.3	6 6.8	1 1.1
	3人(N=25)	3 12.0	2 8.0	5 20.0	10 40.0	6 24.0	14 56.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0
	4人(N=1)	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5人(N=1)	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0

上段:件数、下段%

## 問 17 あなたは、河内長野市の学校教育にどのような取組みが必要だと思いますか。(3つまで〇)

必要だと思う学校教育の取組みについては、「道徳心や思いやりを育む、いじめのない学級、学校づくりの推進」が 45.0%と最も多く、次いで「各教科における基礎学力の定着」が 34.3%、「国際理解教育、外国語教育の推進」が 23.6%となっています。



問 17 その他回答	
子どもの頃は基礎を覚えるよう学力の低い子に合わせ、勉強嫌いを減らし、根本的な学力の向上	知らないことがあった場合、後で学ぶことでも用語だけでも教えることで、自分で調べることができる
学校同士の交流の場の充実	地域によって、学力の差がありすぎる
英語学習の取り組み	子どもが好きであることを条件とした教員
大人になって恥をかかない礼儀・礼節、マナー等の教育	子どもも参加できる文化活動の充実
下校時の見守り	学力よりも社会力の充実
公園を整備し、遊べるようにする。親が見本となる	教師に子どもへの教え方を指導する
学校にクーラーは必要	教員の質の向上
就職活動に困らないような教育	障がいの状況に応じた対応の充実
自主的に行動できるような導き	生徒や保護者の教員への不満を教育委員会が受け止め、改善する
障がいやグレーゾーンの子どもの配慮や知識を増やす	愛国心を育てる
教師は、自己主張を持つ。親のモンスターを減らす	
高校教育のレベルアップ	
縦割活動や心を大切する授業・活動内容、親も参加できるセミナーなどの開催。思春期に向かう子ども達の心の土台づくりを学校と家庭が連携してやっていきたい	

男女別については、男女ともに「道徳心や思いやりを育む、いじめのない学級、学校づくりの推進」が男性で45.6%、女性で44.8%と最も高くなっています。

年齢別についても、全ての年齢で「道徳心や思いやりを育む、いじめのない学級、学校づくりの推進」が最も高くなっています。

◆性別、年齢別クロス

		各教科における基礎学力の定着	各教科において、さらに伸ばすべき学力の指導強化	国際理解教育、外国語教育の推進	パソコンや電子黒板などを活用した教育の推進	学校ごとの特色ある教育活動の取り組みによる、学校の魅力向上	クラブ活動や部活動など課外活動の推進	進路指導やキャリア教育・職業教育の推進	教員と児童・生徒の対話を大切にしたい、子どもへの理解促進	道徳心や思いやりを育む、いじめのない学級、学校づくりの推進	健康的な生活の定着、地域食材を大事にした給食や食育の推進
性別	男性(N=171)	57 33.3	22 12.9	35 20.5	19 11.1	18 10.5	27 15.8	16 9.4	30 17.5	78 45.6	19 11.1
	女性(N=277)	97 35.0	32 11.6	71 25.6	16 5.8	25 9.0	18 6.5	21 7.6	59 21.3	124 44.8	52 18.8
年齢別	16～19歳(N=54)	16 29.6	10 18.5	16 29.6	6 11.1	6 11.1	8 14.8	3 5.6	12 22.2	17 31.5	8 14.8
	20～24歳(N=63)	23 36.5	7 11.1	11 17.5	7 11.1	3 4.8	11 17.5	7 11.1	10 15.9	30 47.6	9 14.3
	25～29歳(N=71)	21 29.6	8 11.3	18 25.4	5 7.0	9 12.7	1 1.4	8 11.3	18 25.4	30 42.3	14 19.7
	30～34歳(N=125)	43 34.4	10 8.0	26 20.8	4 3.2	13 10.4	14 11.2	7 5.6	24 19.2	62 49.6	21 16.8
	35～39歳(N=126)	50 39.7	16 12.7	35 27.8	12 9.5	11 8.7	11 8.7	11 8.7	24 19.0	61 48.4	18 14.3
	その他(N=9)	1 11.1	2 22.2	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	1 11.1

		基本的な生活習慣が身につくような指導の推進	家庭におけるしつけや教育、コミュニケーションについての相談実施	学校のことが分かるよう家庭に対しての更なる情報の発信	教員の研修や育成による指導力の向上	地域学習や地域行事への積極的な参加など、地域とのつながりの充実	防災教育の推進や登下校時の安全対策など危機管理対策の徹底	学校施設、設備の充実	その他	不明・無回答
性別	男性(N=171)	32 18.7	12 7.0	14 8.2	13 7.6	12 7.0	17 9.9	13 7.6	13 7.6	3 1.8
	女性(N=277)	44 15.9	30 10.8	27 9.7	42 15.2	32 11.6	46 16.6	22 7.9	15 5.4	6 2.2
年齢別	16～19歳(N=54)	11 20.4	2 3.7	1 1.9	9 16.7	2 3.7	5 9.3	5 9.3	3 5.6	2 3.7
	20～24歳(N=63)	9 14.3	8 12.7	4 6.3	6 9.5	7 11.1	3 4.8	6 9.5	4 6.3	2 3.2
	25～29歳(N=71)	10 14.1	9 12.7	4 5.6	9 12.7	14 19.7	12 16.9	7 9.9	4 5.6	3 4.2
	30～34歳(N=125)	21 16.8	14 11.2	18 14.4	17 13.6	13 10.4	19 15.2	5 4.0	5 4.0	2 1.6
	35～39歳(N=126)	21 16.7	7 5.6	12 9.5	11 8.7	8 6.3	22 17.5	12 9.5	12 9.5	1 0.8
	その他(N=9)	4 44.4	2 22.2	2 22.2	3 33.3	0 0.0	2 22.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段%

結婚の有無別については、「結婚している」「結婚したことはない」ともに「道徳心や思いやりを育む、いじめのない学級、学校づくりの推進」が最も多くなっています。

子どもの有無別についても、「子どもはいない」「1人」「3人」については「道徳心や思いやりを育む、いじめのない学級、学校づくりの推進」、「2人」「3人」は「各教科における基礎学力の定着」が最も多くなっています。

◆問8、問9クロス

	各教科における基礎学力の定着	各教科において、さらに伸ばすべき学力の指導強化	国際理解教育、外国語教育の推進	パソコンや電子黒板などを活用した教育の推進	学校ごとの特色ある教育活動の取り組みによる、学校の魅力向上	クラブ活動や部活動など課外活動の推進	進路指導やキャリア教育・職業教育の推進	教員と児童・生徒の対話を大切にした、子どもへの理解促進	道徳心や思いやりを育む、いじめのない学級、学校づくりの推進	健康的な生活の定着、地域食材を大事にした給食や食育の推進	
問8 結婚の有無	結婚している(事実婚含む)(N=197)	76 38.6	21 10.7	49 24.9	11 5.6	16 8.1	17 8.6	13 6.6	44 22.3	96 48.7	32 16.2
	結婚したことはない(N=243)	76 31.3	31 12.8	54 22.2	22 9.1	27 11.1	27 11.1	24 9.9	44 18.1	101 41.6	38 15.6
	かつて配偶者(パートナー)がいた(N=9)	2 22.2	2 22.2	3 33.3	2 22.2	-	-	1 11.1	-	1 55.6	5 11.1
	子どもはいない(N=13)	5 38.5	-	4 30.8	1 7.7	1 7.7	1 7.7	1 7.7	-	4 30.8	6 46.2
問9 子どもの人数	1人(N=69)	18 26.1	2 2.9	18 26.1	3 4.3	3 4.3	5 7.2	3 4.3	15 21.7	37 53.6	15 21.7
	2人(N=88)	40 45.5	15 17.0	19 21.6	6 6.8	10 11.4	6 6.8	8 9.1	20 22.7	39 44.3	11 12.5
	3人(N=25)	12 48.0	4 16.0	8 32.0	1 4.0	2 8.0	5 20.0	1 4.0	5 20.0	12 48.0	3 12.0
	4人(N=1)	1 100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
	5人(N=1)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1 100.0
	5人(N=1)	-	-	-	-	-	-	1 100.0	-	-	1 100.0

	基本的な生活習慣が身につくような指導の推進	家庭におけるしつけや教育、コミュニケーションについての相談実施	学校のことが分かるよう家庭に対しての更なる情報の発信	教員の研修や育成による指導力の向上	地域学習や地域行事への積極的な参加など、地域とのつながりの充実	防災教育の推進や登下校時の安全対策など危機管理対策の徹底	学校施設、設備の充実	その他	不明・無回答	
問8 結婚の有無	結婚している(事実婚含む)(N=197)	28 14.2	17 8.6	31 15.7	20 10.2	18 9.1	39 19.8	16 8.1	13 6.6	2 1.0
	結婚したことはない(N=243)	44 18.1	25 10.3	10 4.1	32 13.2	26 10.7	23 9.5	17 7.0	15 6.2	8 3.3
	かつて配偶者(パートナー)がいた(N=9)	4 44.4	0 0.0	0 0.0	3 33.3	0 0.0	1 11.1	2 22.2	0 0.0	0 0.0
	子どもはいない(N=13)	2 15.4	1 7.7	0 0.0	1 7.7	3 23.1	3 23.1	0 0.0	1 7.7	0 0.0
問9 子どもの人数	1人(N=69)	14 20.3	11 15.9	10 14.5	7 10.1	6 8.7	16 23.2	6 8.7	4 5.8	0 0.0
	2人(N=88)	10 11.4	5 5.7	19 21.6	9 10.2	7 8.0	16 18.2	9 10.2	7 8.0	2 2.3
	3人(N=25)	2 8.0	-	2 8.0	3 12.0	2 8.0	3 12.0	1 4.0	1 4.0	0 0.0
	4人(N=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5人(N=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	5人(N=1)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段%

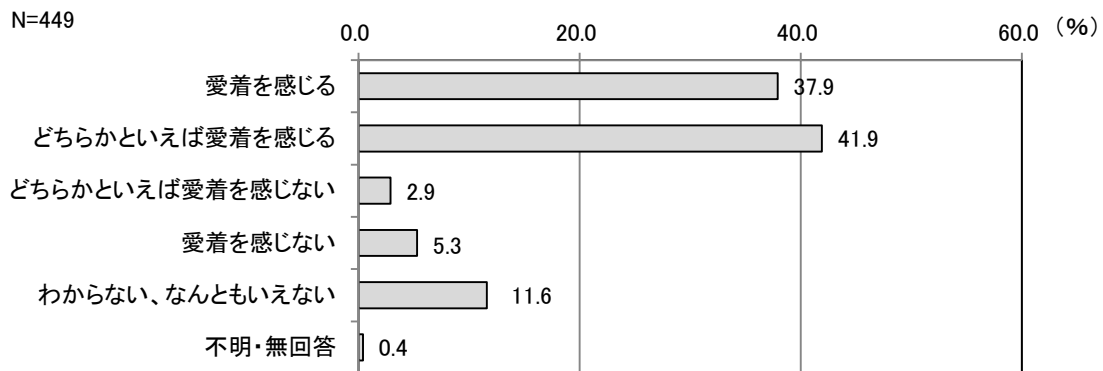
### 3 定住・移住について

#### 問 18(1)河内長野市に愛着を感じていますか。(1つに〇)

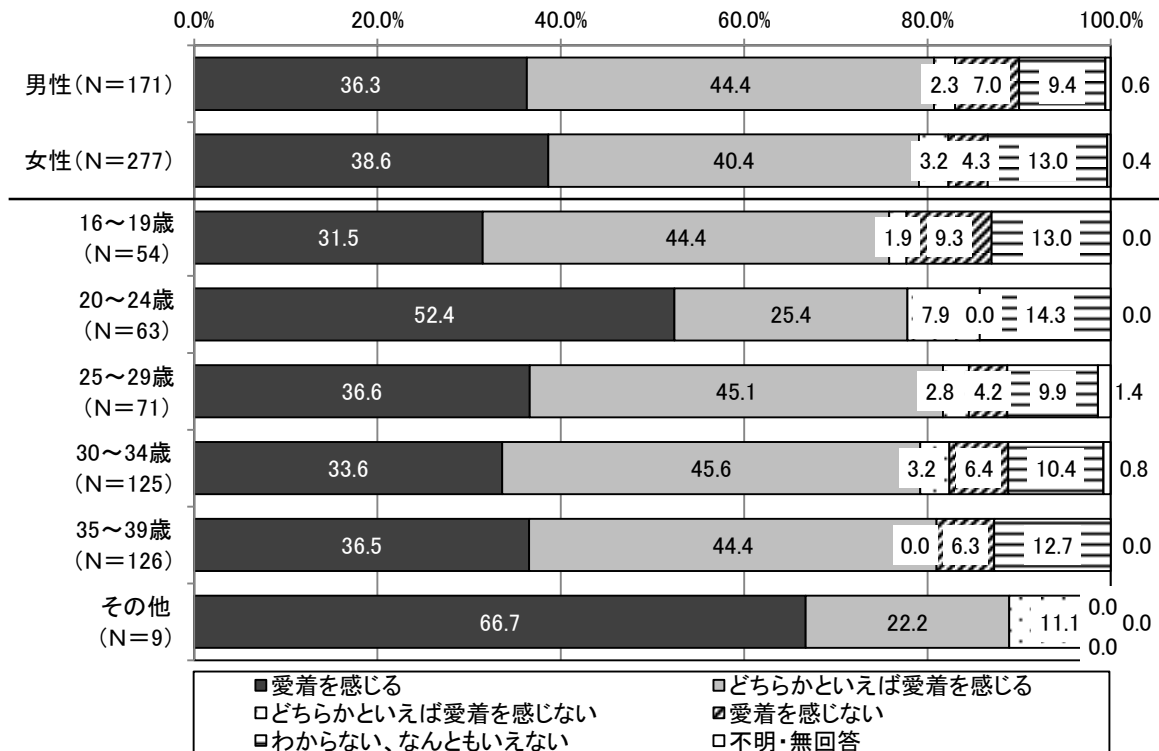
本市に愛着を感じているかについては、『愛着を感じる（「愛着を感じる」と「どちらかといえば愛着を感じる」の合計）』が79.8%、『愛着を感じない（「どちらかといえば愛着を感じない」と「愛着を感じない」の合計）』が8.2%となっています。

性別では『愛着を感じる』が男性で80.7%、女性で79.0%となっています。

年齢別では『愛着を感じる』が「25～29歳」「35～39歳」で8割を超えています。また、「16～19歳」については75.9%にとどまっています。

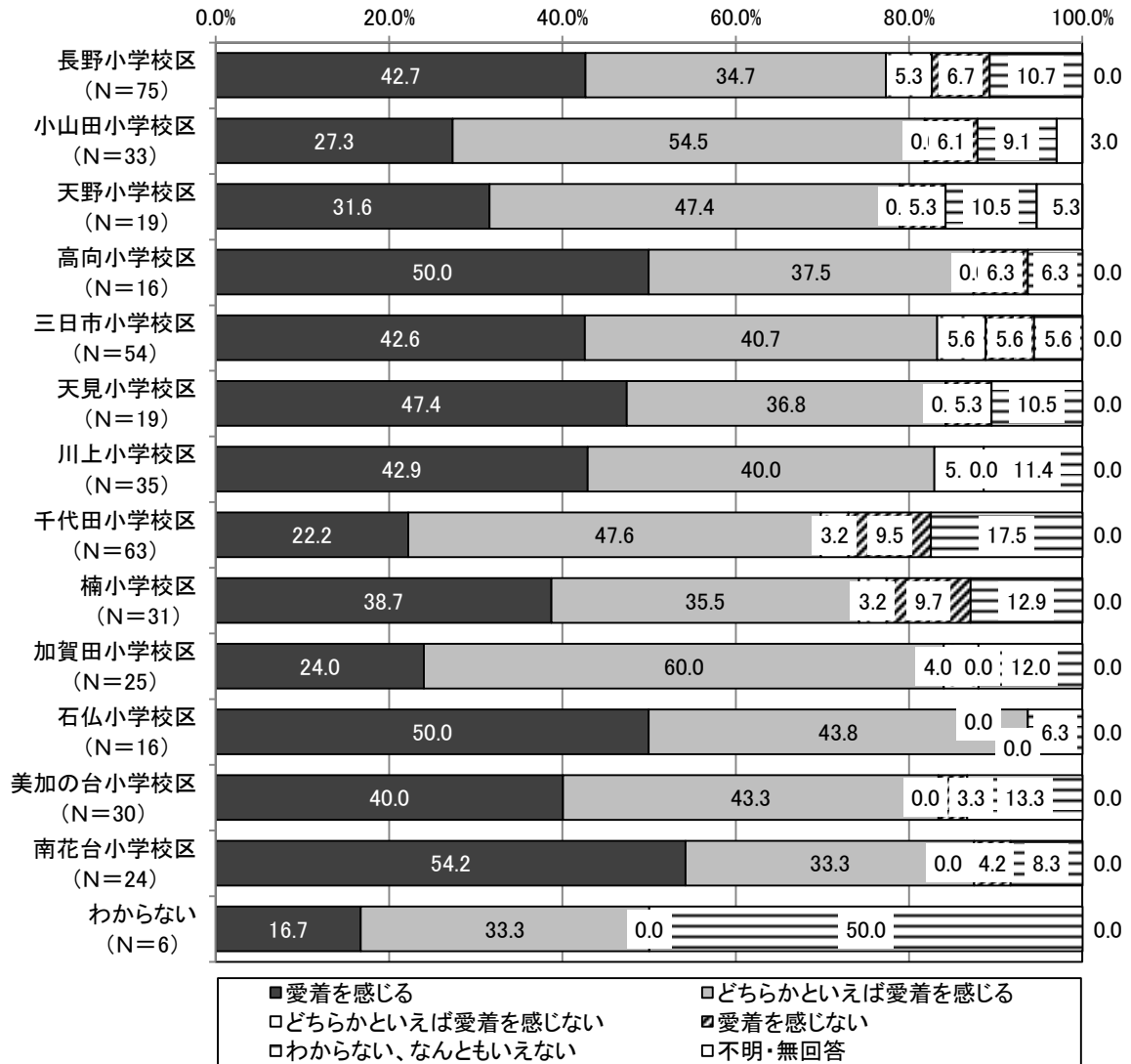


#### ◆性別、年齢別クロス



小学校区別では『愛着を感じる』が「石仏小学校区」で93.8%と高くなっているほか、「高向小学校区」「南花台小学校区」についても87.5%となっています。一方、「千代田小学校区」については69.8%にとどまっています。

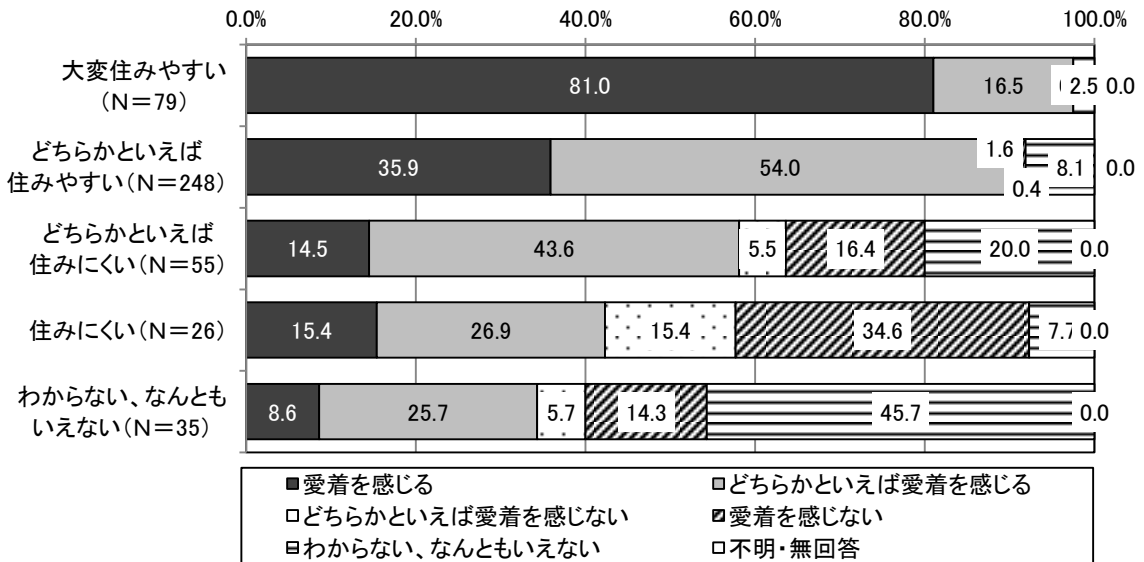
◆小学校区別クロス





住み心地別では、住みやすいと感じている人ほど『愛着を感じる』が多くなる傾向にあり、「大変住みやすい」が97.5%となっているのに対して、「住みにくい」は42.3%にとどまっています。また、「わからない、なんともいえない」は市への愛着についても「わからない、なんともいえない」が45.7%と多くなっています。

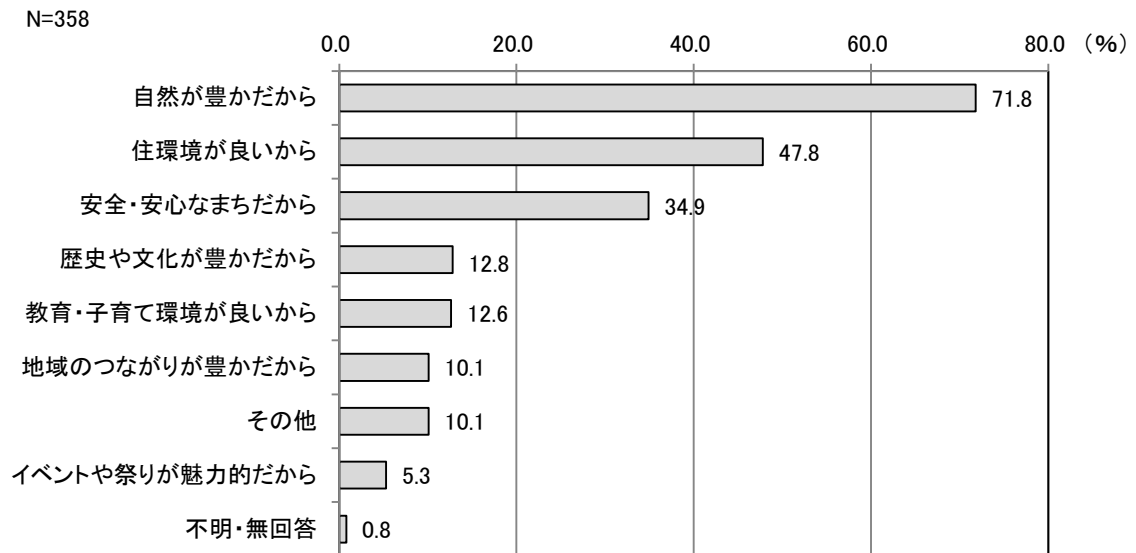
◆問 19 クロス(住み心地別)



問 18(2)問 18(1)で「1. 愛着を感じる」もしくは「2. どちらかといえば愛着を感じる」を選んだ方におうかがいします。

あなたが愛着を感じる理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

愛着を感じる理由については、「自然が豊かだから」が71.8%と最も多く、次いで「住環境が良いから」が47.8%、「安全・安心なまちだから」が34.9%となっています。



問17その他回答	
生まれ育った場所だから(12件)	自然豊かで、あたたかい町
ずっと住んでいるから(5件)	自然豊か
長く住んでいるから(4件)	多くの人にサポートしてもらい感謝している
住みなれている(3件)	住みやすい
実家があるから	住めば都
親が近くに住んでいる	河内長野市から出たことがない
交通の便利性	他を知らないから
事故が少ない	

性別では男女ともに「自然が豊かだから」が最も多く、次いで「住環境がよいから」が多くなっています。

年齢別では16～39歳の全ての年齢で「自然が豊かだから」が最も多く、次いで「16～19歳」「25～29歳」は「安全・安心なまちだから」、「20～24歳」「30歳代」は「住環境が良いから」が多くなっています。

◆性別、年齢別クロス

		自然が豊かだから	歴史や文化が豊かだから	住環境が良いから	安全・安心なまちだから	教育・子育て環境が良いから	イベントや祭りが魅力的だから	地域のつながりが豊かだから	その他	不明・無回答
性別	男性(N=138)	95 68.8	24 17.4	67 48.6	36 26.1	18 13.0	7 5.1	11 8.0	14 10.1	2 1.4
	女性(N=219)	161 73.5	22 10.0	104 47.5	89 40.6	27 12.3	12 5.5	25 11.4	22 10.0	1 0.5
年齢別	16～19歳(N=41)	28 68.3	7 17.1	14 34.1	23 56.1	4 9.8	6 14.6	6 14.6	2 4.9	0 0.0
	20～24歳(N=49)	35 71.4	6 12.2	26 53.1	14 28.6	1 2.0	3 6.1	9 18.4	4 8.2	1 2.0
	25～29歳(N=58)	42 72.4	11 19.0	21 36.2	28 48.3	4 6.9	2 3.4	5 8.6	8 13.8	0 0.0
	30～34歳(N=99)	68 68.7	5 5.1	45 45.5	33 33.3	18 18.2	4 4.0	10 10.1	15 15.2	1 1.0
	35～39歳(N=102)	77 75.5	16 15.7	59 57.8	25 24.5	18 17.6	3 2.9	5 4.9	7 6.9	1 1.0
	その他(N=8)	6 75.0	1 12.5	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0
	その他(N=8)	6 75.0	1 12.5	6 75.0	2 25.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	1 12.5	0 0.0

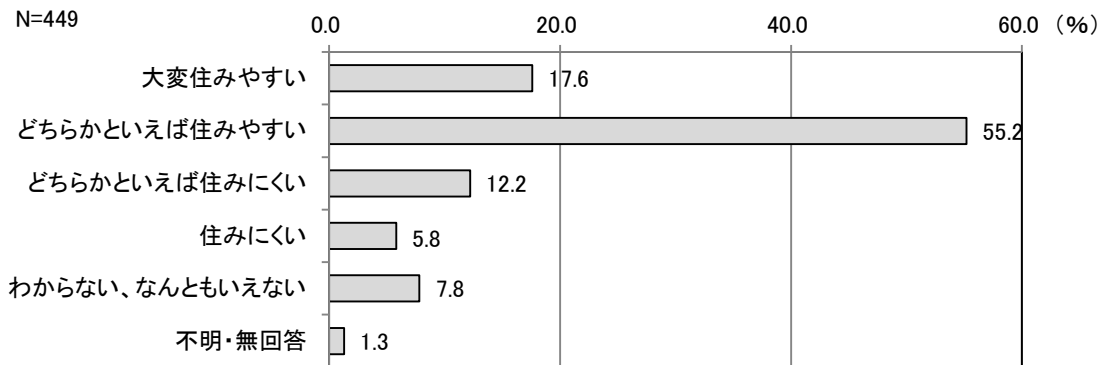
上段：件数、下段%

## 問 19 河内長野市の住み心地についてどのように感じていますか。(1つに○)

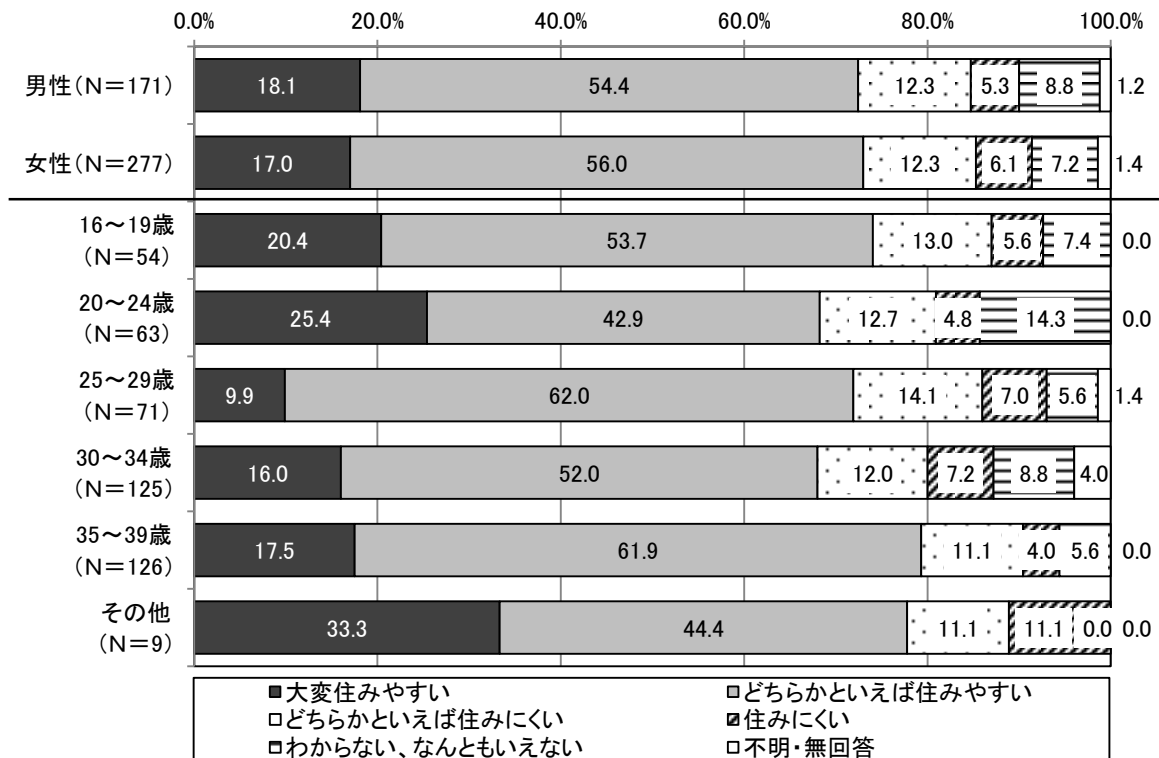
本市の住み心地については、『住みやすい（「大変住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）』が72.8%、『住みにくい（「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」の合計）』が18.0%となっています。

性別では『住みやすい』が男性で72.5%、女性で73.0%となっています。

年齢別では『住みやすい』が「16～19歳」で74.1%、「20～24歳」で68.3%、「25～29歳」で71.9%、「30～34歳」で68.0%、「35～39歳」で79.4%となっています。

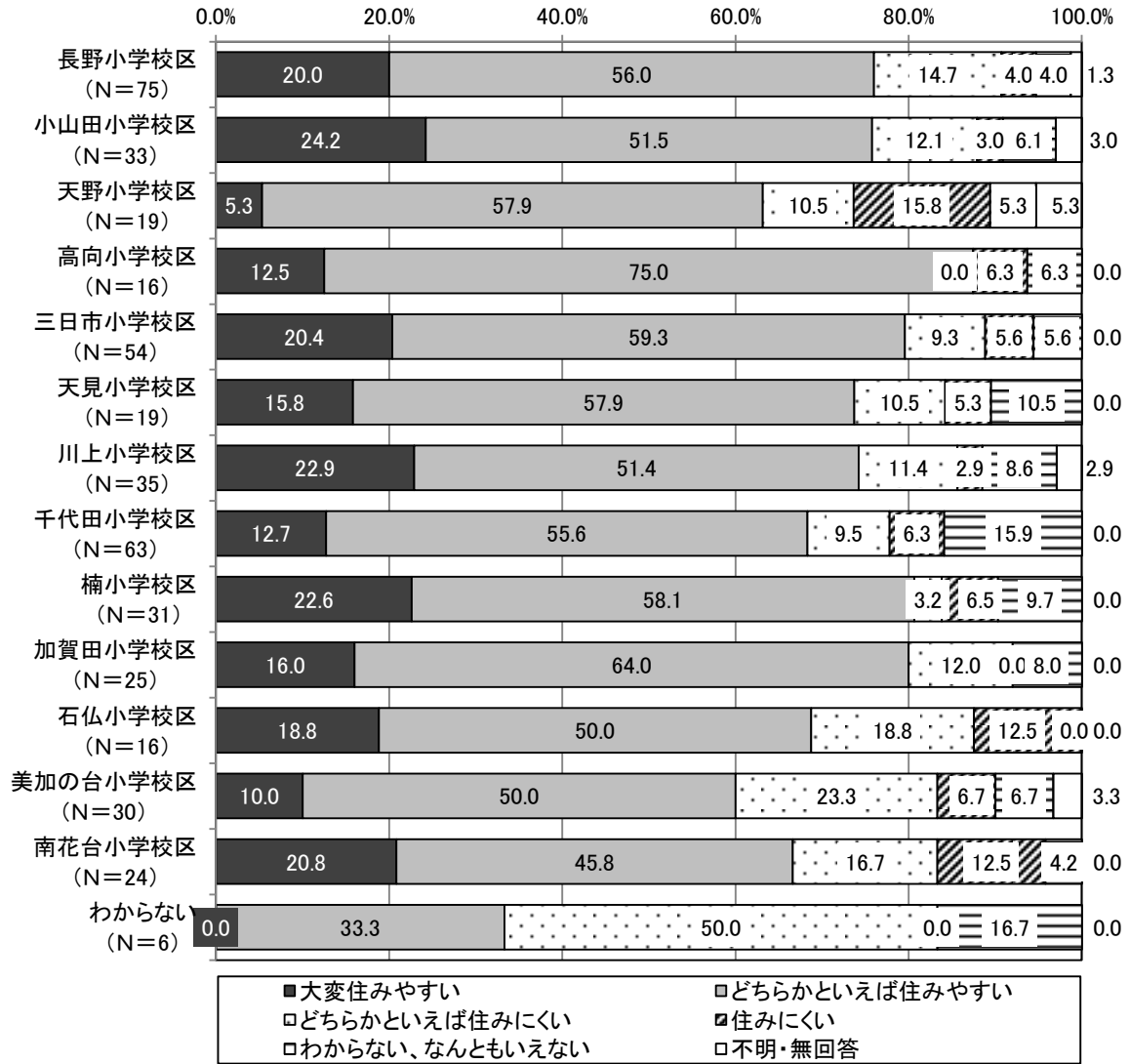


### ◆性別、年齢別クロス



小学校区別では『住みやすい』が「高向小学校区」(87.5%)、「楠小学校区」(80.7%)、「加賀田小学校区」(80.0%)で8割を超えて高くなっているのに対して、「美加の台小学校区」(60.0%)、「天野小学校区」(63.2%)、「南花台小学校区」(66.6%)、「千代田小学校区」(68.3%)、「石仏小学校区」(68.8%)は6割台にとどまっています。

◆小学校区別クロス



**問 20 生活する上で、現在、お困りのことや不安なことはありますか。また、10年後の生活を考えたとき不安なことはありますか。**

**(「現在」「10年後」それぞれ、特にあてはまるもの3つまでに○)**

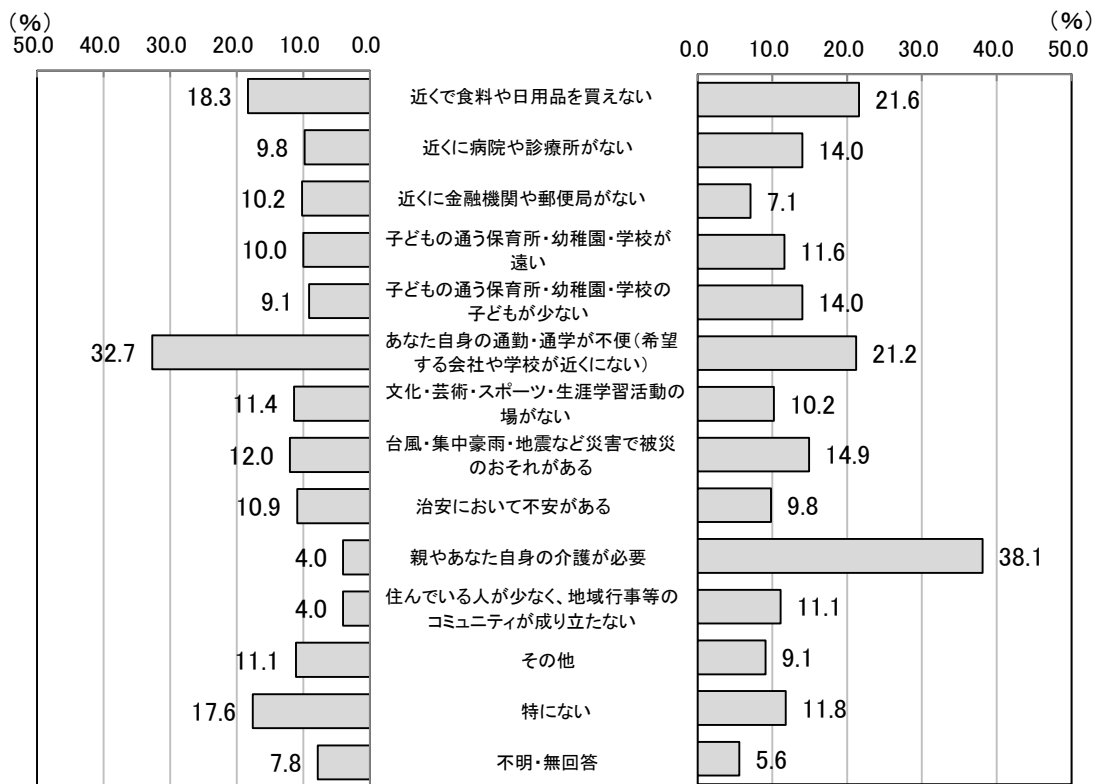
現在の困りごとや不安なことについては、「あなた自身の通勤・通学が不便（希望する会社や学校が近くにない）」が32.7%と最も多く、次いで「近くで食料や日用品を買えない」が18.3%、「特にない」が17.6%となっています。

10年後の困りごとや不安なことについては、「親やあなた自身の介護が必要」が38.1%と最も多く、次いで「近くで食料や日用品を買えない」が21.6%、「あなた自身の通勤・通学が不便」が21.2%となっています。

N=449

現在

10年後



**問20その他回答(現在)**

交通に関すること(11件)	
車以外での移動が不便	
バスや電車の本数が少ない	
買い物(店舗)に関すること(6件)	
大きなショッピングモールや、娯楽施設が少ない	
もっと地域食材を買える環境がほしい	

問20その他回答(現在)	
高速道路に関すること(5件)	
	高速道路が近づくなく、バスもない
	市内までのアクセスが悪い。高速道路のインターがほしい
高齢化に関すること(5件)	
	高齢者が多い
	高齢化によるさまざまな弊害
子どもに関すること(5件)	
	少子化で子どもの活気がない
	子どもだけで習い事に行かせられない
その他	
	近くに遊具がなく、予算がないと言われた
	河内長野の自然が好きなのに、道路工事などで山が消えていること
	坂道が多い
	坂が多く、歩道がない
	空き家が多くなり、防犯上よくない
	翁総合病院がほしい
	良い就職先がない
	市民税や水道代が他市より高い
	高齢者が多すぎる。収入が低いのに、税金などで払うお金が増えすぎる
	アミューズメントが少ない
	大学がない
	所医学生たちが集まれる場所がない
	裏の家がゴミ屋敷。猫に餌付けし、野良猫が多い
	過度の政治に対する活動が不快
	バイクを乗り回すヤンキーがいる。夜中にかなり大きい音を出し、警察も取り締まってくれない

問20その他回答(10年後)	
高齢化が進み、サービスが今より必要	
自治体住民の高齢化、バスの衰退	
バスの本数が少なく不便	
公共交通機関の減少	
空き家が増えてきた	
住んでいる人がまばらになる	
先のことは分からない	

中学校区別でみると、現在の困りごとや不安なことについて「長野中学校区」は「特にない」、「西中学校区」は「近くで食料や日用品を買えない」、「東中学校区」では「近くで食料や日用品を買えない」「あなた自身の通勤・通学が不便（希望する会社や学校が近くにない）」、「千代田中学校区」「加賀田中学校区」「美加の台中学校区」「南花台中学校区」は「あなた自身の通勤・通学が不便」が最も多くなっています。

10年後の困りごとや不安なことについては「西中学校区」で「近くで食料や日用品を買えない」、その他の中学校区では「親やあなた自身の介護が必要」が最も多くなっています。

◆中学校区別クロス

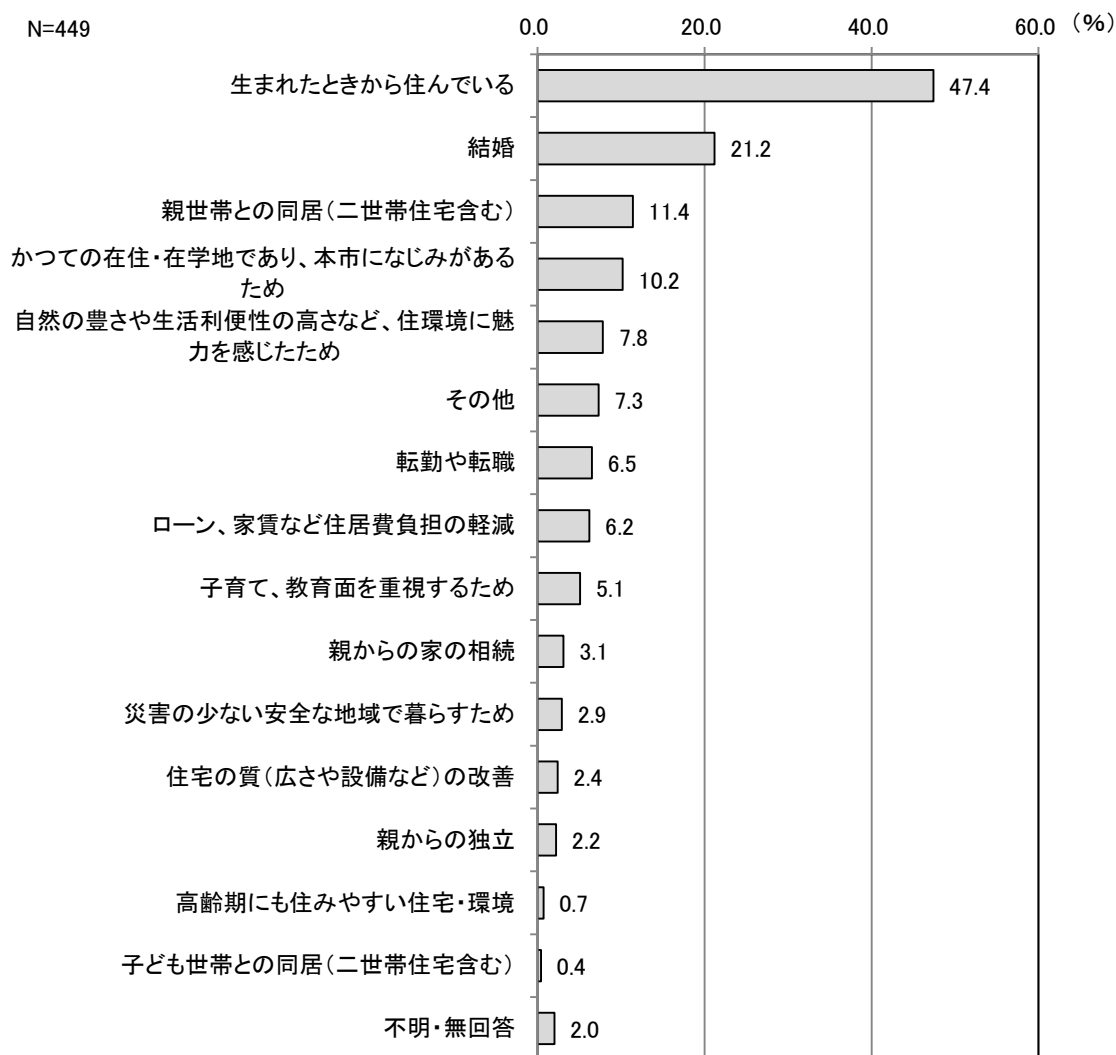
		近くで食料や日用品を買えない	近くに病院や診療所がない	近くに金融機関や郵便局がない	子どもの通う保育所・幼稚園・学校が遠い	子どもの通う保育所・幼稚園・学校の子どもの数が少ない	あなた自身の通勤・通学が不便(希望する会社や学校が近くにない)	文化・芸術・スポーツ・生涯学習活動の場がない	台風・集中豪雨・地震など災害のおそれがある	治安において不安がある	親やあなた自身の介護が必要	住んでいる人が少なく、地域行事等のコミュニティが成り立っていない	その他	特にない	不明・無回答	
中学校区 (現在)	長野中学校区 (N=108)	7 6.5	5 4.6	9 8.3	6 5.6	6 5.6	30 27.8	8 7.4	11 10.2	9 8.3	2 1.9	7 6.5	13 12.0	34 31.5	8 7.4	
	西中学校区 (N=35)	16 45.7	7 20.0	1 2.9	4 11.4	9 25.7	13 37.1	2 5.7	3 8.6	3 8.6	2 5.7	1 2.9	4 11.4	4 11.4	2 5.7	
	東中学校区 (N=108)	31 28.7	22 20.4	17 15.7	18 16.7	12 11.1	31 28.7	14 13.0	24 22.2	6 5.6	6 5.6	1 0.9	8 7.4	14 13.0	5 4.6	
	千代田中学校区 (N=94)	11 11.7	3 3.2	11 11.7	6 6.4	0 0.0	29 30.9	15 16.0	7 7.4	24 25.5	5 5.3	1 1.1	10 10.6	15 16.0	12 12.8	
	加賀田中学校区 (N=41)	12 29.3	2 4.9	5 12.2	7 17.1	5 12.2	16 39.0	3 7.3	7 17.1	2 4.9	1 2.4	3 7.3	4 9.8	6 14.6	1 2.4	
	美加の台中学校区 (N=30)	3 10.0	1 3.3	2 6.7	2 6.7	5 16.7	17 56.7	4 13.3	1 3.3	2 6.7	2 6.7	3 10.0	8 26.7	1 3.3	3 10.0	
	南花台中学校区 (N=24)	1 4.2	4 16.7	0 0.0	2 8.3	4 16.7	11 45.8	5 20.8	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.2	2 8.3	3 12.5	2 8.3	
	わからない (N=6)	1 16.7	0 0.0	1 16.7	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	
	中学校区 (10年後)	長野中学校区 (N=108)	9 8.3	8 7.4	4 3.7	9 8.3	10 9.3	21 19.4	7 6.5	21 19.4	5 4.6	37 34.3	12 11.1	12 11.1	21 19.4	7 6.5
		西中学校区 (N=35)	17 48.6	9 25.7	3 8.6	4 11.4	7 20.0	7 20.0	3 8.6	3 8.6	2 5.7	16 45.7	3 8.6	2 5.7	4 11.4	2 5.7
東中学校区 (N=108)		35 32.4	27 25.0	13 12.0	15 13.9	17 15.7	19 17.6	11 10.2	23 21.3	8 7.4	44 40.7	15 13.9	6 5.6	9 8.3	2 1.9	
千代田中学校区 (N=94)		14 14.9	7 7.4	8 8.5	6 6.4	13 13.8	22 23.4	16 17.0	8 8.5	23 24.5	34 36.2	5 5.3	8 8.5	9 9.6	9 9.6	
加賀田中学校区 (N=41)		10 24.4	3 7.3	2 4.9	10 24.4	6 14.6	10 24.4	0 0.0	7 17.1	1 2.4	16 39.0	6 14.6	3 7.3	5 12.2	2 4.9	
美加の台中学校区 (N=30)		9 30.0	4 13.3	1 3.3	4 13.3	4 13.3	10 33.3	5 16.7	1 3.3	2 6.7	15 50.0	4 13.3	6 20.0	1 3.3	1 3.3	
南花台中学校区 (N=24)		3 12.5	5 20.8	0 0.0	3 12.5	5 20.8	6 25.0	4 16.7	3 12.5	0 0.0	7 29.2	4 16.7	3 12.5	3 12.5	1 4.2	
わからない (N=6)		0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	

上段:件数、下段%



## 問 21(1)河内長野市に居住するきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

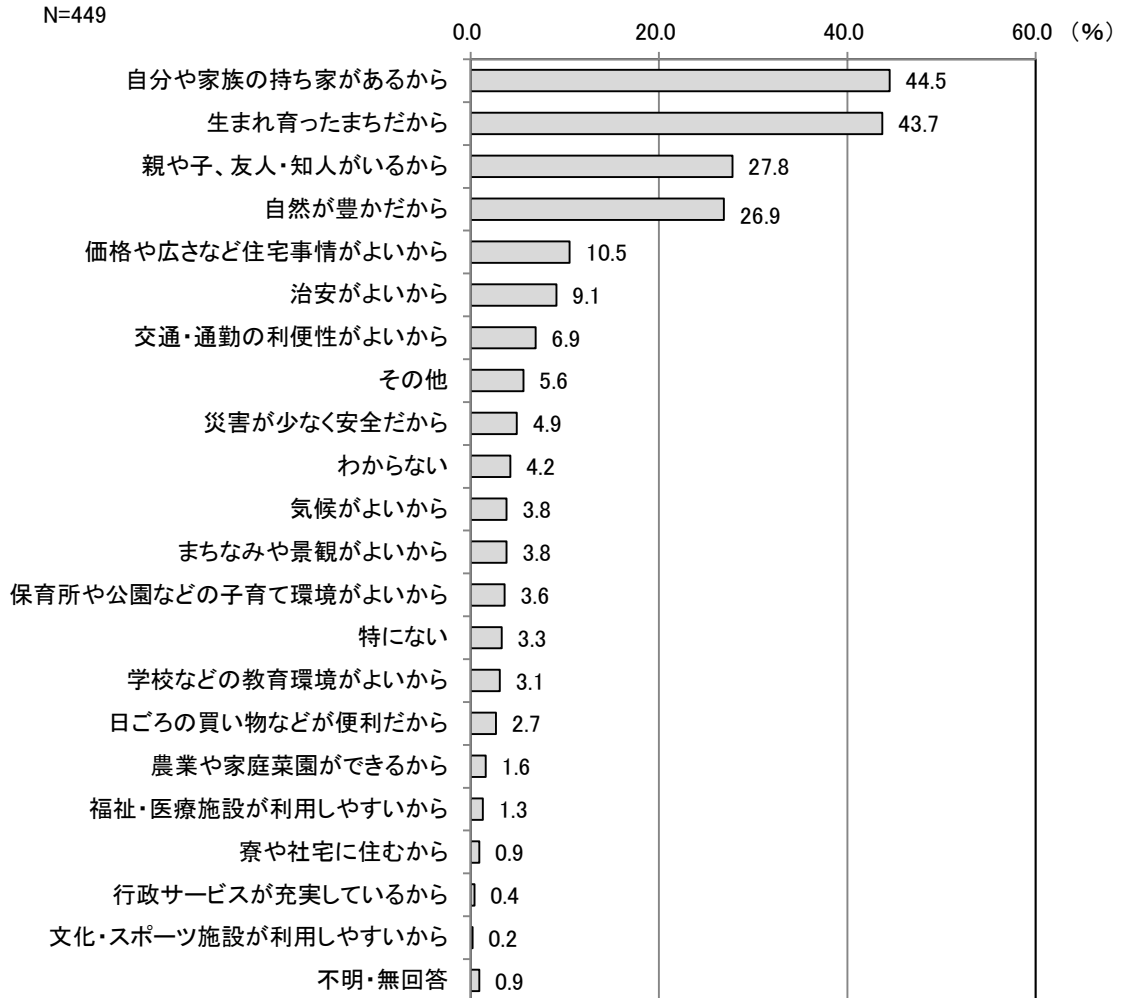
本市に居住するきっかけについては、「生まれたときから住んでいる」が 47.4%と最も多く、次いで「結婚」が 21.2%、「親世帯との同居（二世帯住宅含む）」が 11.4%となっています。



問21(1)その他回答	
実家に関すること(12件)	その他
実家が近い、ある	妻の意向
親の家にずっと住んでいる	阪神淡路大震災で被災したため
引っ越しに関すること(8件)	離婚
親の引っ越し	親の介護支援
大阪に来て、初めて住んだ場所だから	気がいたらここだった
職場に関すること(4件)	家賃の安さ
職場に近い	祖父母の家がある
親の職場に近い	

**問 21(2)河内長野市を居住先として選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

本市を居住先として選んだ理由については、「自分や家族の持ち家があるから」が 44.5%と最も多く、次いで「生まれ育ったまちだから」が 43.7%、「親や子、友人・知人がいるから」が 27.8%となっています。



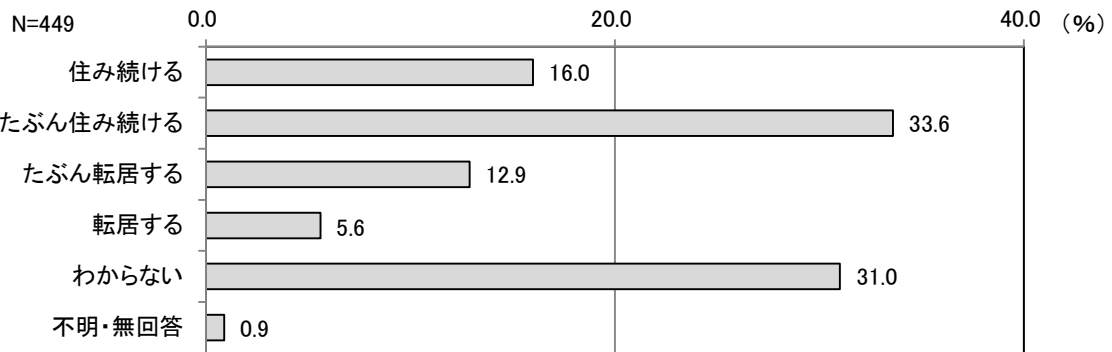
問20その他回答(現在)	
地元や家族に関すること(10件)	
生まれ育ったまちだから	配偶者の実家がある、近い
職場に関すること(5件)	
職場が近い	バイト先が近い
その他	
実家と職場の間	大阪に来て、初めて住んだ場所で慣れている
職場と実家の中間地点	田舎だから
住めば都	空気がきれいで、夜には星が見える
親が選んだ	南海と近鉄が走っているから
新婚補助があるため	家賃が安い

## 問 22(1)あなたは、これからもずっと河内長野市に住み続ける予定ですか。(1つに〇)

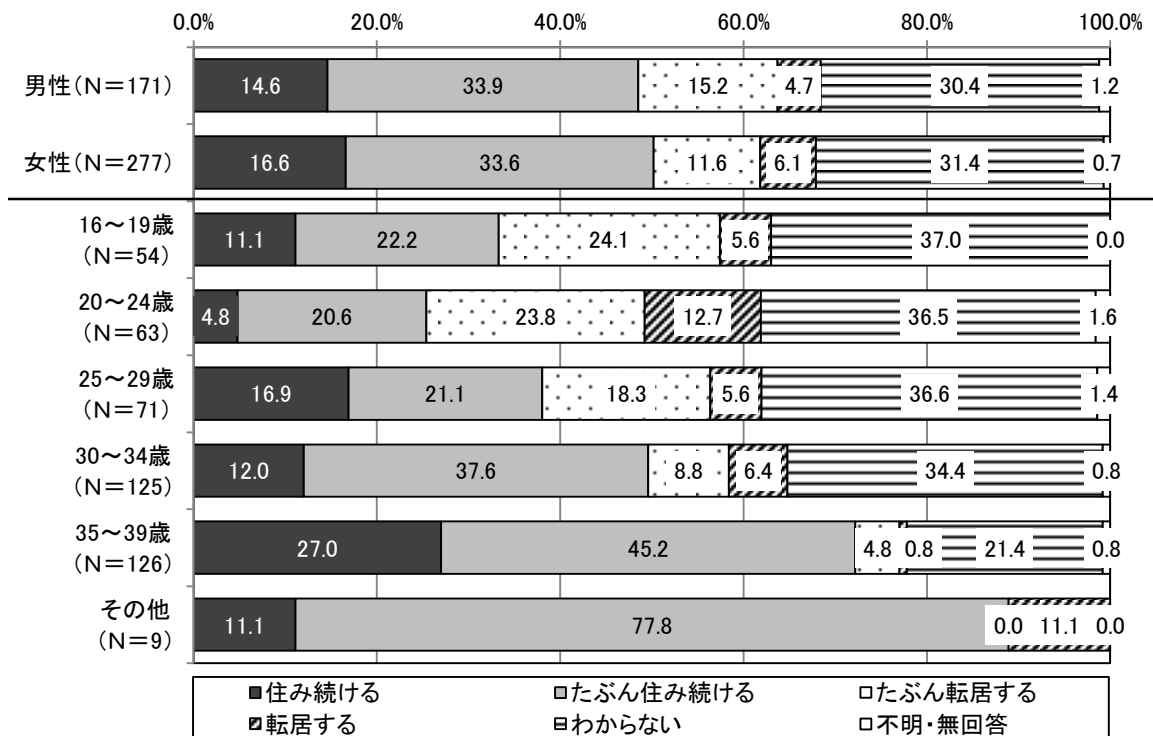
本市への今後の居住意向については、『住み続ける（「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の合計）』が49.6%、『転居する（「たぶん転居する」と「転居する」の合計）』が18.5%、「わからない」が31.0%となっています。

性別では『住み続ける』が男性で48.5%、女性で50.2%と半数程度となっています。

年齢別では「20～24歳」を除く全ての年齢で『住み続ける』が多く、年齢が上がるにつれてその割合も高くなっていますが、「20～24歳」は『転居する』が36.5%で『住み続ける』(25.4%)を11.1ポイント上回っています。



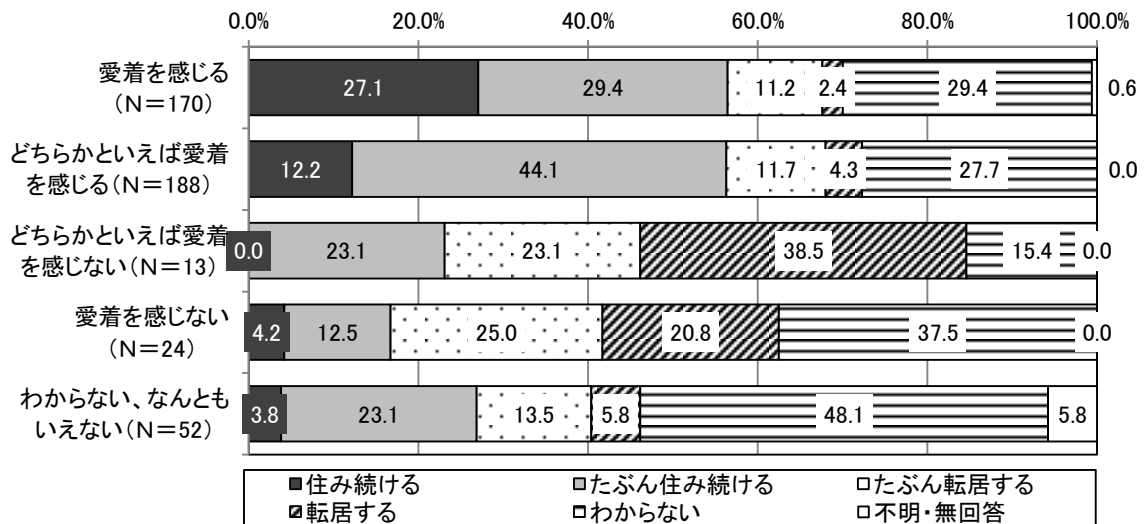
### ◆性別、年齢別クロス



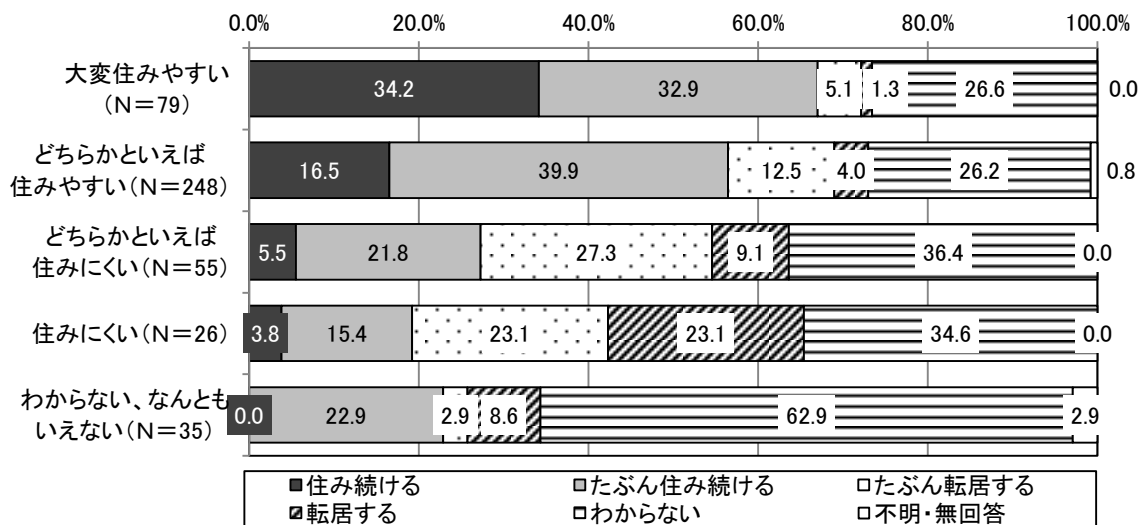
市への愛着度別では愛着度が高いほど『住み続ける』が多くなる傾向にあります。また、「愛着を感じる」「どちらかといえば愛着を感じる」では『住み続ける』が5割を超えて高くなっているのに対して、「どちらかといえば愛着を感じない」「愛着を感じない」では『転居する』の方が多くなっています。「わからない、なんともいえない」は今後の居留意向についても「わからない」が48.1%と多くなっています。

住み心地別では住みやすいと感じている人ほど『住み続ける』が多くなる傾向にあり、「大変住みやすい」が67.1%となっているのに対して、「住みにくい」は19.2%にとどまっています。また、「大変住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」では『住み続ける』が多くなっているのに対して、「どちらかといえば住みにくい」「住みにくい」では『転居する』の方が多くなっています。「わからない、なんともいえない」は今後の居留意向についても「わからない」が62.9%と多くなっています。

◆問 18(1)クロス(市への愛着度別)

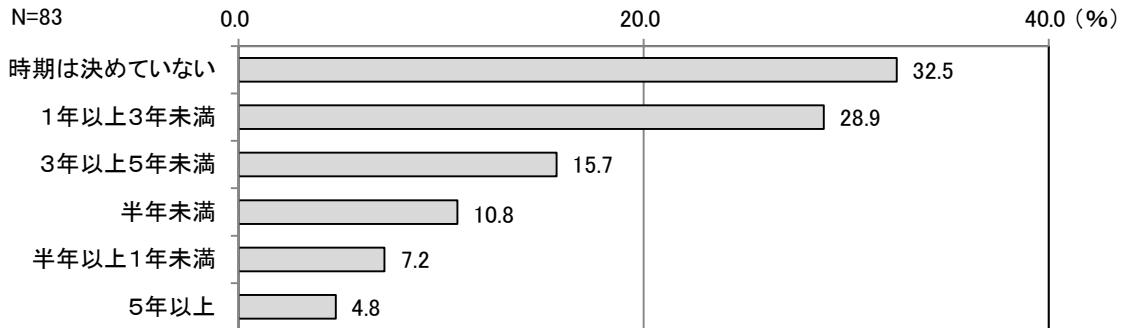


◆問 19 クロス(住み心地別)



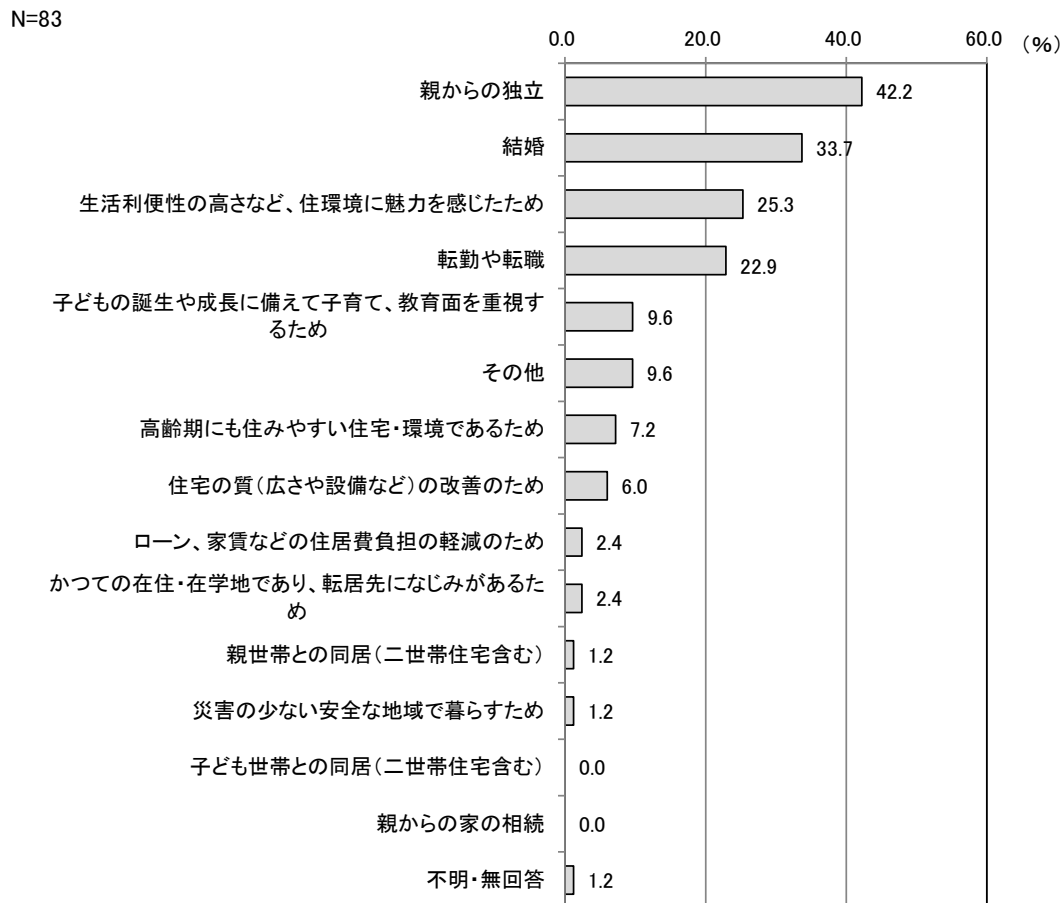
**問 22(2)問 22(1)で「3. たぶん転居する」もしくは「4. 転居する」を選んだ方におうかがいします。  
それは何年後くらいを考えていますか。(1つに○)**

転居の時期については、「時期は決めていない」が 32.5%と最も多く、次いで「1年以上3年未満」が 28.9%、「3年以上5年未満」が 15.7%となっています。



**問 22(3)問 22(1)で「3. たぶん転居する」もしくは「4. 転居する」を選んだ方におうかがいします。  
河内長野市から転居したいと思ったきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)**

転居したいと思ったきっかけについては、「親からの独立」が 42.2%と最も多く、次いで「結婚」が 33.7%、「生活利便性の高さなど、住環境に魅力を感じたため」が 25.3%となっています。



問22(3)その他回答	
就職先が遠く、交通の便が悪い	住環境に魅力を感じない
通勤時間がかかる	大学に近づく
就職	住環境に魅力を感じない
子育て支援が少なすぎる	進学

性別でみると、男性は「親からの独立」が38.2%で最も多く、次いで「転勤や転職」が35.3%となっており、女性は「結婚」が46.9%で最も多く、次いで「親からの独立」が44.9%となっています。

◆性別クロス

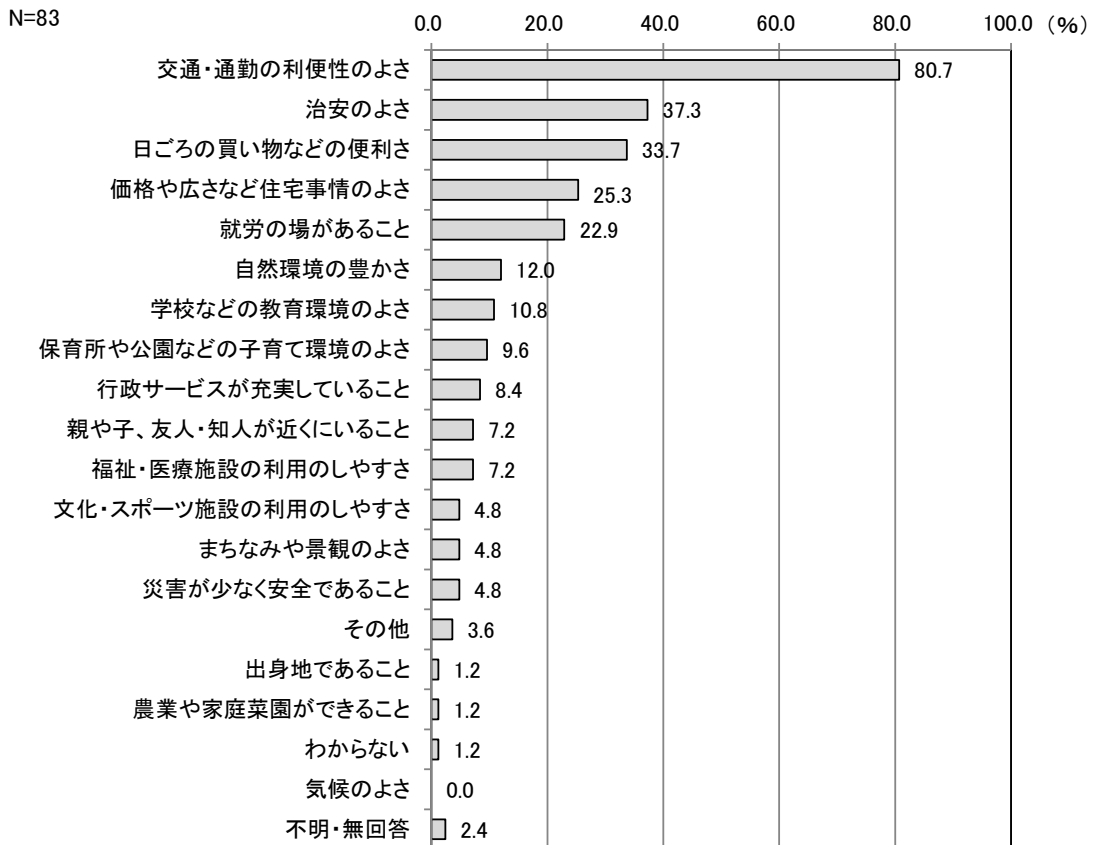
		親からの独立	転勤や転職	結婚	子どもの誕生や成長に備えて子育て、教育面を重視するため	親世帯との同居(二世帯住宅含む)	子ども世帯との同居(二世帯住宅含む)	親からの家の相続	住宅の質(広さや設備など)の改善のため
性別	男性(N=34)	13 38.2	12 35.3	5 14.7	2 5.9	1 2.9	0 0.0	0 0.0	0 0.0
	女性(N=49)	22 44.9	7 14.3	23 46.9	6 12.2	0 0.0	0 0.0	0 0.0	5 10.2

		ローン、家賃などの住居費負担の軽減のため	生活利便性の高さなど、住環境に魅力を感じたため	災害の少ない安全な地域で暮らすため	高齢期にも住みやすい住宅・環境であるため	かつての在住・在学地であり、転居先になじみがあるため	その他	不明・無回答
性別	男性(N=34)	1 2.9	9 26.5	0 0.0	2 5.9	1 2.9	5 14.7	0 0.0
	女性(N=49)	1 2.0	12 24.5	1 2.0	4 8.2	1 2.0	3 6.1	1 2.0

上段:件数、下段%

**問 22(4)問 22(1)で「3. たぶん転居する」もしくは「4. 転居する」を選んだ方におうかがいします。  
 転居する際に住まいや周囲の環境選びで特に重視することは何ですか。(3つまで〇)**

転居する際に住まいや周囲の環境選びで特に重視することについては、「交通・通勤の利便性のよさ」が 80.7%と最も多く、次いで「治安のよさ」が 37.3%、「日ごろの買い物などの便利さ」が 33.7%となっています。



問22(4)その他回答	
職場までの距離	夫の仕事の都合
新婚世帯への経済援助が手厚い	

性別では男女ともに「交通・通勤の利便性のよさ」が8割程度で最も多くなっており、次いで男性は「日ごろの買い物などの便利さ」「治安のよさ」が26.5%、女性は「治安のよさ」が44.9%で多くなっています。また、「治安のよさ」については男性が26.5%であるのに対して、女性は44.9%と18.4ポイント高くなっています。さらに「日ごろの買い物などの便利さ」「価格や広さなど住宅事情のよさ」についても女性が男性を大きく上回っています。

◆性別クロス

		出身地であること	就労の場があること	親や子、友人・知人が近くにいること	価格や広さなど住宅事情のよさ	交通・通勤の利便性のよさ	日ごろの買い物などの便利さ	保育所や公園などの子育て環境のよさ	学校などの教育環境のよさ	文化・スポーツ施設の利用のしやすさ	福祉・医療施設の利用のしやすさ
性別	男性(N=34)	1 2.9	8 23.5	3 8.8	6 17.6	27 79.4	9 26.5	2 5.9	4 11.8	2 5.9	3 8.8
	女性(N=49)	0 0.0	11 22.4	3 6.1	15 30.6	40 81.6	19 38.8	6 12.2	5 10.2	2 4.1	3 6.1
		気候のよさ	自然環境の豊かさ	まちなみや景観のよさ	災害が少なく安全であること	治安のよさ	行政サービスが充実していること	農業や家庭菜園ができること	その他	わからない	不明・無回答
性別	男性(N=34)	0 0.0	6 17.6	2 5.9	0 0.0	9 26.5	2 5.9	1 2.9	1 2.9	1 2.9	1 2.9
	女性(N=49)	0 0.0	4 8.2	2 4.1	4 8.2	22 44.9	5 10.2	0 0.0	2 4.1	0 0.0	1 2.0

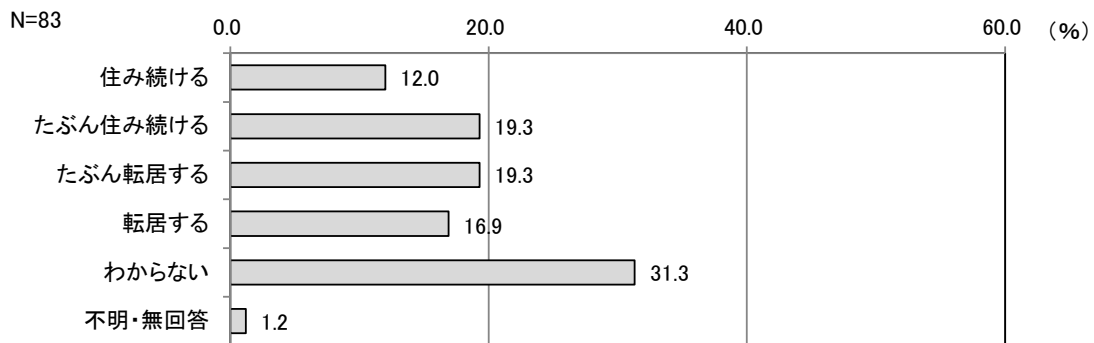
上段：件数、下段%



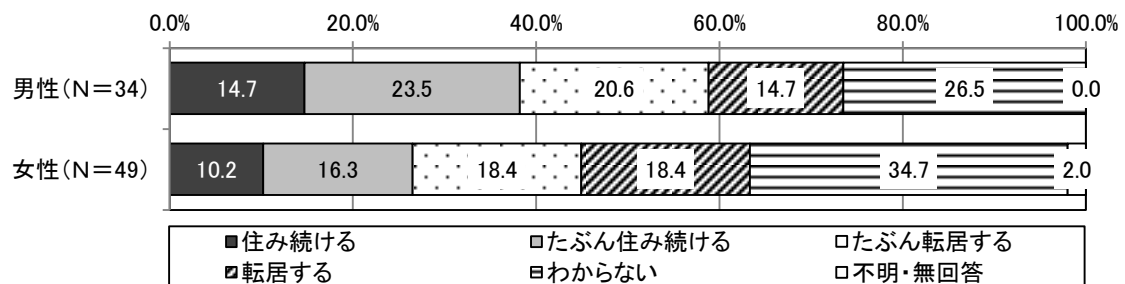
**問 22(5)問 22(1)で「3. たぶん転居する」もしくは「4. 転居する」を選んだ方におうかがいします。  
 (4)で回答いただいたような環境が河内長野市で向上すれば、これからも住み続けたいと思いますか。(1つに〇)**

(4)の環境が向上した場合の居住意向については、『住み続ける(「住み続ける」と「たぶん住み続ける」の合計)』が31.3%、『転居する(「たぶん転居する」と「転居する」の合計)』が36.2%、「わからない」が31.3%となっています。

性別では『住み続ける』について男性は38.2%であるのに対して、女性は26.5%と、男性の方が11.7ポイント高くなっています。女性は「わからない」が34.7%で多くなっています。

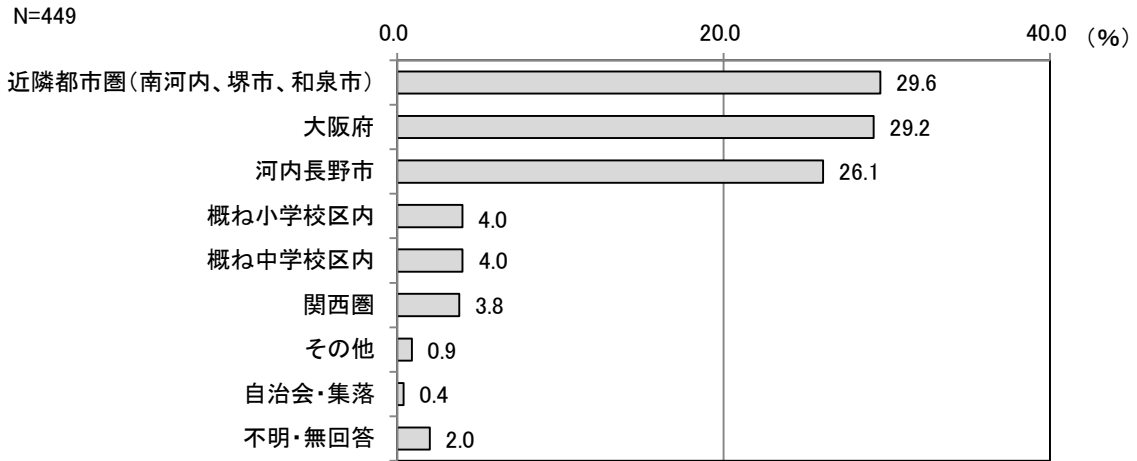


◆性別クロス



**問 23 通勤・通学や買い物、医療等、あなたにとって日常的な生活圏域は最大でどの範囲ですか。  
(1つに〇)**

日常的な生活圏域の最大範囲については、「近隣都市圏（南河内、堺市、和泉市）」が 29.6%と最も多く、次いで「大阪府」が 29.2%、「河内長野市」が 26.1%となっています。



問23その他回答	
近隣都市圏	難波
大阪市、堺市	

性別で見ると、男性は「大阪府」が30.4%、女性は「近隣都市圏（南河内、堺市、和泉市）」が31.4%で最も多くなっています。

年齢別にみると、「16～19歳」「30歳代」は「近隣都市圏（南河内、堺市、和泉市）」、「20歳代」は「大阪府」が最も多くなっています。

中学校区別にみると、「長野中学校区」は「河内長野市」「近隣都市圏（南河内、堺市、和泉市）」、「西中学校区」「加賀田中学校区」「南花台中学校区」は「近隣都市圏（南河内、堺市、和泉市）」、「東中学校区」は「河内長野市」「大阪府」、「千代田中学校区」「美加の台中学校区」は「大阪府」が最も多くなっています。

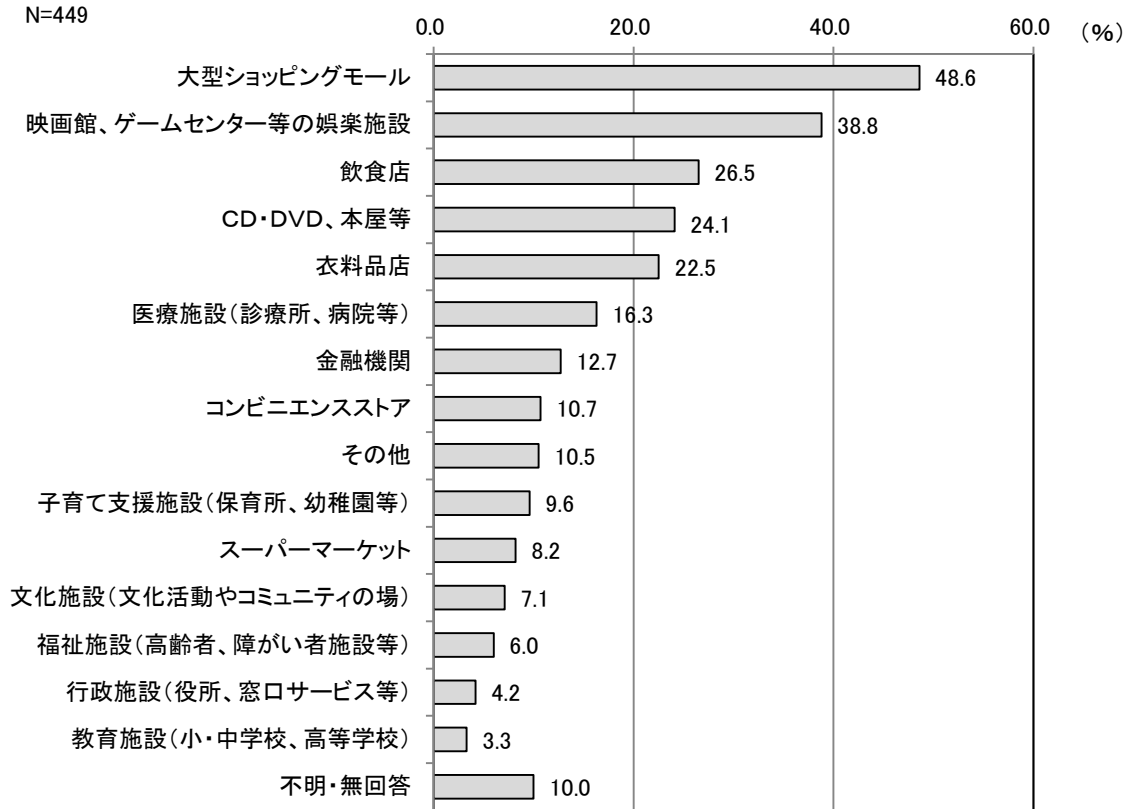
◆性別、年齢別、中学校区別クロス

		自治会・集落	概ね小学校区内	概ね中学校区内	河内長野市	近隣都市圏(南河内、堺市、和泉市)	大阪府	関西圏	その他	不明・無回答
性別	男性(N=171)	2 1.2	6 3.5	6 3.5	45 26.3	46 26.9	52 30.4	7 4.1	3 1.8	4 2.3
	女性(N=277)	0 0.0	12 4.3	12 4.3	72 26.0	87 31.4	78 28.2	10 3.6	1 0.4	5 1.8
年齢別	16～19歳(N=54)	0 0.0	0 0.0	2 3.7	11 20.4	18 33.3	16 29.6	6 11.1	1 1.9	0 0.0
	20～24歳(N=63)	1 1.6	1 1.6	1 1.6	10 15.9	15 23.8	27 42.9	5 7.9	1 1.6	2 3.2
	25～29歳(N=71)	0 0.0	1 1.4	4 5.6	15 21.1	11 15.5	32 45.1	3 4.2	0 0.0	5 7.0
	30～34歳(N=125)	1 0.8	5 4.0	4 3.2	41 32.8	42 33.6	28 22.4	3 2.4	0 0.0	1 0.8
	35～39歳(N=126)	0 0.0	11 8.7	6 4.8	38 30.2	44 34.9	25 19.8	0 0.0	1 0.8	1 0.8
	その他(N=9)	0 0.0	0 0.0	1 11.1	2 22.2	2 22.2	3 33.3	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	中学校区	長野中学校区(N=108)	0 0.0	7 6.5	8 7.4	30 27.8	30 27.8	24 22.2	5 4.6	2 1.9
	西中学校区(N=35)	0 0.0	1 2.9	0 0.0	11 31.4	13 37.1	8 22.9	2 5.7	0 0.0	0 0.0
	東中学校区(N=108)	1 0.9	5 4.6	3 2.8	34 31.5	26 24.1	34 31.5	1 0.9	1 0.9	3 2.8
	千代田中学校区(N=94)	1 1.1	4 4.3	5 5.3	15 16.0	30 31.9	33 35.1	4 4.3	0 0.0	2 2.1
	加賀田中学校区(N=41)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	12 29.3	16 39.0	10 24.4	2 4.9	1 2.4	0 0.0
	美加の台中学校区(N=30)	0 0.0	0 0.0	0 0.0	10 33.3	7 23.3	12 40.0	1 3.3	0 0.0	0 0.0
	南花台中学校区(N=24)	0 0.0	1 4.2	1 4.2	4 16.7	9 37.5	8 33.3	1 4.2	0 0.0	0 0.0
	わからない(N=6)	0 0.0	0 0.0	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段%

**問 24 あなたにとっての日常的な生活圏域の中で足りないと思われる施設・設備は何ですか。  
(あてはまるものすべてに○)**

足りないと思われる施設・設備については、「大型ショッピングモール」が48.6%と最も多く、次いで「映画館、ゲームセンター等の娯楽施設」が38.8%、「飲食店」が26.5%となっています。



問24その他回答	
高速道路(7件)	駅
産婦人科(3件)	地元食材を販売する店
公園(3件)	パン屋
動物園やプール	ポスト
運動施設	結婚式場
ボウリング場	西松屋
公立幼稚園	TSUTSYA がないのは残念
環境のため、下水がほしい	イオン
三日市駅までの道路の整備	レンタルショップ
室内プール	ファーストフード店
ジムなど体を動かせる施設	バッティングセンター
介護用品を実際に見られる施設や、介護についてのケアワーカーとの相談所	市営のジム・サウナ・テニスコート、図書館

性別にみると、男女ともに「大型ショッピングモール」が最も多く、次いで「映画館、ゲームセンター等の娯楽施設」が多くなっています。

年齢別にみると、「16～19歳」「30歳代」は「大型ショッピングモール」、「20～24歳」は「映画館、ゲームセンター等の娯楽施設」「大型ショッピングモール」、「25～29歳」は「映画館、ゲームセンター等の娯楽施設」が最も多くなっています。また、「20～24歳」は「CD・DVD、本屋等」「衣料品店」についても3割を超えて高くなっています。『30歳代』については「医療施設（診療所、病院等）」が2割程度で他の年齢よりも高くなっています。

◆性別、年齢別クロス

		飲食店	衣料品店	CD・DVD、本屋等	映画館、ゲームセンター等の娯楽施設	コンビニエンスストア	スーパーマーケット	大型ショッピングモール	医療施設（診療所、病院等）
性別	男性(N=171)	45 26.3	35 20.5	36 21.1	62 36.3	21 12.3	15 8.8	77 45.0	32 18.7
	女性(N=277)	74 26.7	66 23.8	72 26.0	112 40.4	27 9.7	22 7.9	141 50.9	41 14.8
年齢別	16～19歳(N=54)	9 16.7	15 27.8	11 20.4	27 50.0	4 7.4	3 5.6	33 61.1	2 3.7
	20～24歳(N=63)	13 20.6	20 31.7	21 33.3	30 47.6	11 17.5	3 4.8	30 47.6	7 11.1
	25～29歳(N=71)	21 29.6	14 19.7	15 21.1	37 52.1	8 11.3	5 7.0	33 46.5	10 14.1
	30～34歳(N=125)	40 32.0	23 18.4	34 27.2	37 29.6	15 12.0	12 9.6	54 43.2	26 20.8
	35～39歳(N=126)	32 25.4	26 20.6	26 20.6	41 32.5	7 5.6	12 9.5	62 49.2	24 19.0
	その他(N=9)	4 44.4	2 22.2	1 11.1	1 11.1	3 33.3	2 22.2	5 55.6	4 44.4
			福祉施設（高齢者、障がい者施設等）	子育て支援施設（保育所、幼稚園等）	文化施設（文化活動やコミュニティの場）	教育施設（小・中学校、高等学校）	金融機関	行政施設（役所、窓口サービス等）	その他
性別	男性(N=171)	7 4.1	14 8.2	10 5.8	4 2.3	23 13.5	9 5.3	19 11.1	20 11.7
	女性(N=277)	20 7.2	29 10.5	22 7.9	11 4.0	34 12.3	10 3.6	28 10.1	24 8.7
年齢別	16～19歳(N=54)	3 5.6	2 3.7	3 5.6	3 5.6	2 3.7	1 1.9	5 9.3	2 3.7
	20～24歳(N=63)	3 4.8	4 6.3	4 6.3	1 1.6	6 9.5	6 9.5	11 17.5	7 11.1
	25～29歳(N=71)	4 5.6	6 8.5	3 4.2	2 2.8	9 12.7	1 1.4	4 5.6	8 11.3
	30～34歳(N=125)	7 5.6	16 12.8	12 9.6	3 2.4	19 15.2	5 4.0	16 12.8	13 10.4
	35～39歳(N=126)	7 5.6	14 11.1	10 7.9	5 4.0	18 14.3	5 4.0	11 8.7	14 11.1
	その他(N=9)	3 33.3	1 11.1	0 0.0	1 11.1	3 33.3	1 11.1	0 0.0	1 11.1

上段：件数、下段%

中学校区別にみると、「加賀田中学校区」は「映画館、ゲームセンター等の娯楽施設」、その他の中学校区では「大型ショッピングモール」が最も多くなっています。また、「南花台中学校区」の「飲食店」(37.5%)、「西中学校区」の「コンビニエンスストア」(28.6%)、「子育て支援施設(保育所、幼稚園等)」(20.0%)、「東中学校区」の「医療施設(診療所、病院等)」(28.7%)については全市と比べても10ポイント以上高くなっています。

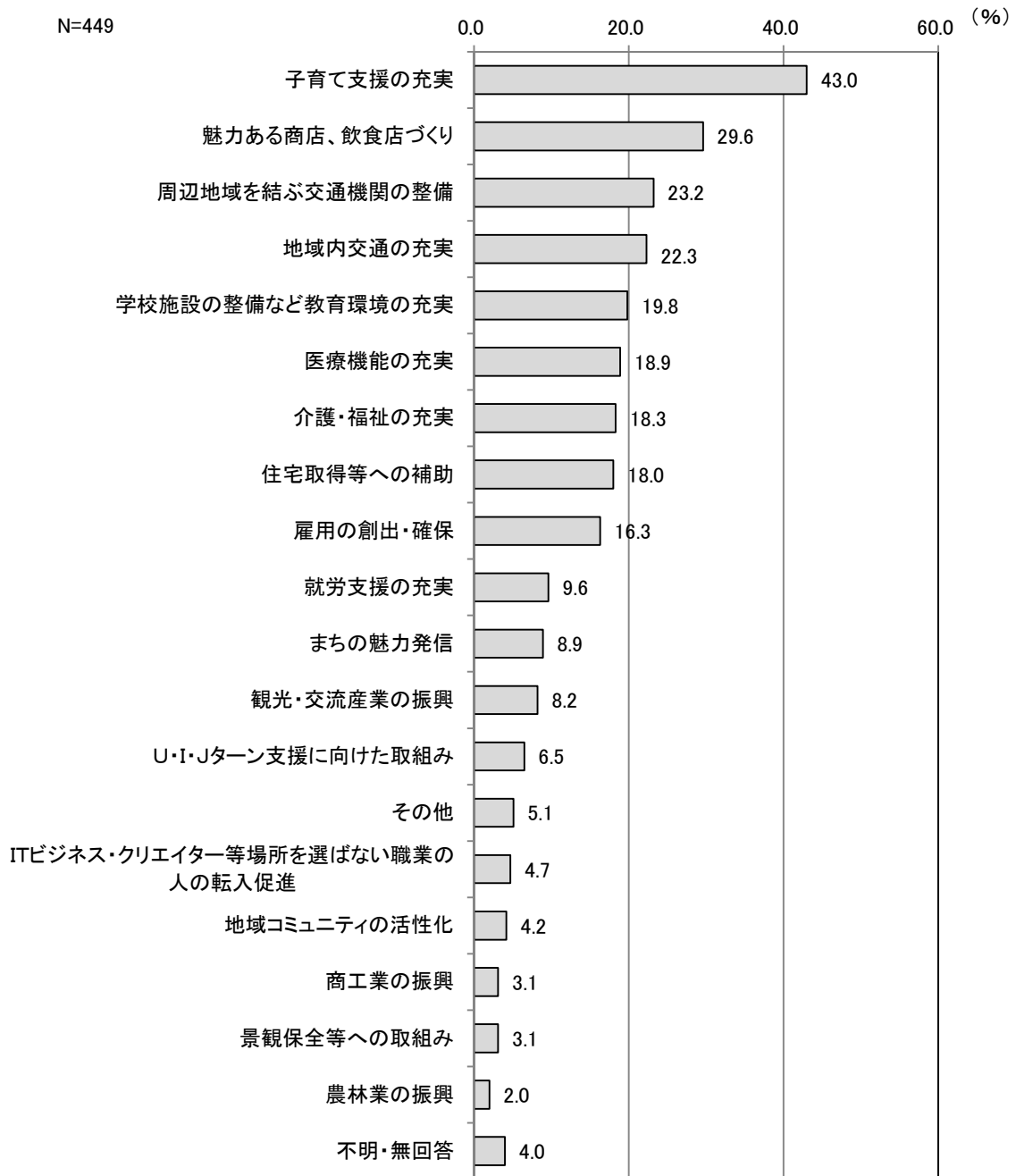
◆中学校区別クロス

		飲食店	衣料品店	CD・DVD、本屋等	映画館、ゲームセンター等の娯楽施設	コンビニエンスストア	スーパーマーケット	大型ショッピングモール	医療施設(診療所、病院等)
中学校区	長野中学校区(N=108)	26 24.1	27 25.0	28 25.9	49 45.4	5 4.6	3 2.8	55 50.9	15 13.9
	西中学校区(N=35)	9 25.7	4 11.4	7 20.0	10 28.6	10 28.6	3 8.6	11 31.4	6 17.1
	東中学校区(N=108)	34 31.5	26 24.1	30 27.8	36 33.3	15 13.9	13 12.0	54 50.0	31 28.7
	千代田中学校区(N=94)	17 18.1	21 22.3	23 24.5	37 39.4	6 6.4	7 7.4	44 46.8	10 10.6
	加賀田中学校区(N=41)	13 31.7	13 31.7	9 22.0	22 53.7	6 14.6	5 12.2	21 51.2	2 4.9
	美加の台中学校区(N=30)	10 33.3	8 26.7	6 20.0	11 36.7	5 16.7	3 10.0	20 66.7	4 13.3
	南花台中学校区(N=24)	9 37.5	1 4.2	4 16.7	7 29.2	0 0.0	3 12.5	10 41.7	5 20.8
	わからない(N=6)	1 16.7	1 16.7	1 16.7	2 33.3	1 16.7	0 0.0	3 50.0	0 0.0
			福祉施設(高齢者、障がい者施設等)	子育て支援施設(保育所、幼稚園等)	文化施設(文化活動やコミュニティの場)	教育施設(小・中学校、高等学校)	金融機関	行政施設(役所、窓口サービス等)	その他
中学校区	長野中学校区(N=108)	5 4.6	11 10.2	4 3.7	4 3.7	12 11.1	4 3.7	11 10.2	10 9.3
	西中学校区(N=35)	3 8.6	7 20.0	0 0.0	1 2.9	3 8.6	1 2.9	4 11.4	3 8.6
	東中学校区(N=108)	8 7.4	12 11.1	11 10.2	6 5.6	22 20.4	7 6.5	11 10.2	7 6.5
	千代田中学校区(N=94)	7 7.4	8 8.5	6 6.4	1 1.1	9 9.6	5 5.3	9 9.6	11 11.7
	加賀田中学校区(N=41)	0 0.0	1 2.4	4 9.8	2 4.9	3 7.3	0 0.0	5 12.2	2 4.9
	美加の台中学校区(N=30)	1 3.3	2 6.7	4 13.3	0 0.0	3 10.0	0 0.0	5 16.7	2 6.7
	南花台中学校区(N=24)	2 8.3	1 4.2	2 8.3	1 4.2	4 16.7	1 4.2	2 8.3	7 29.2
	わからない(N=6)	1 16.7	1 16.7	1 16.7	0 0.0	1 16.7	1 16.7	0 0.0	0 0.0

上段:件数、下段%

**問 25 今後、定住・移住の促進を図る上で効果的だと思う取組みにどのようなものがありますか。  
(3つまで)**

今後、定住・移住の促進を図る上で効果的だと思う取組みについては、「子育て支援の充実」が 43.0%と最も多く、次いで「魅力ある商店、飲食店づくり」が 29.6%、「周辺地域を結ぶ交通機関の整備」が 23.2%となっています。



問25その他回答	
高速道路(4件)	企業や大学の新設受入
中学校完全給食	大企業誘致
英語教育のレベルアップ	大型ショッピングモールの誘致、駅前再々開発
学校にクーラー完備	休日、役所窓口の開設
若者を呼び込む	体外受精の補助
市民税や水道代の値下げ	ブリーダーなど、広い場所を必要とする人達への呼び込み
治安の向上	地域 FM 局、ラジオ局、Web を作る
南海電鉄を中心とした街の整備	大阪以内へのアクセス
耐震や改築補助	
バスが不便	



性別では男女ともに「子育て支援の充実」が男性で36.8%、女性で46.9%と最も高くなっています。

年齢別では全ての年齢で「子育て支援の充実」が最も高くなっています。

世帯別では「ひとり暮らし」と「3世代（親と子と孫）」で「魅力ある商店、飲食店づくり」、「夫婦のみ」と「2世代（親と子）」で「子育て支援の充実」が最も高くなっています。

◆性別、年齢別、世帯別クロス

	子育て支援の充実	学校施設の整備など教育環境の充実	介護・福祉の充実	医療機能の充実	農林業の振興	商工業の振興	観光・交流産業の振興	魅力ある商店、飲食店づくり	雇用の創出・確保	就労支援の充実	
性別	男性(N=171)	63 36.8	34 19.9	27 15.8	26 15.2	5 2.9	7 4.1	15 8.8	55 32.2	33 19.3	15 8.8
	女性(N=277)	130 46.9	54 19.5	55 19.9	59 21.3	4 1.4	7 2.5	22 7.9	78 28.2	40 14.4	28 10.1
年齢別	16～19歳(N=54)	19 35.2	11 20.4	13 24.1	6 11.1	0 0.0	4 7.4	6 11.1	13 24.1	15 27.8	6 11.1
	20～24歳(N=63)	24 38.1	10 15.9	7 11.1	8 12.7	3 4.8	2 3.2	8 12.7	19 30.2	9 14.3	10 15.9
	25～29歳(N=71)	29 40.8	4 5.6	13 18.3	13 18.3	2 2.8	3 4.2	7 9.9	27 38.0	9 12.7	7 9.9
	30～34歳(N=125)	64 51.2	34 27.2	20 16.0	27 21.6	1 0.8	3 2.4	6 4.8	40 32.0	15 12.0	10 8.0
	35～39歳(N=126)	56 44.4	28 22.2	26 20.6	27 21.4	3 2.4	2 1.6	9 7.1	33 26.2	24 19.0	10 7.9
	その他(N=9)	1 11.1	1 11.1	3 33.3	4 44.4	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	1 11.1	0 0.0
	世帯別	ひとり暮らし(N=16)	6 37.5	1 6.3	3 18.8	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0	8 50.0	0 0.0
夫婦のみ(N=30)		17 56.7	4 13.3	5 16.7	6 20.0	2 6.7	0 0.0	3 10.0	10 33.3	2 6.7	1 3.3
2世代(親と子)(N=345)		157 45.5	75 21.7	66 19.1	67 19.4	3 0.9	10 2.9	26 7.5	98 28.4	61 17.7	36 10.4
3世代(親と子と孫)(N=51)		10 19.6	8 15.7	7 13.7	7 13.7	4 7.8	3 5.9	8 15.7	16 31.4	9 17.6	5 9.8
兄弟・姉妹や親戚と同居(N=4)		2 50.0	0 0.0	0 0.0	2 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0
友人や知人と同居(N=0)		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(N=3)		1 33.3	1 33.3	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0

	住宅取得等への補助	地域内交通の充実	周辺地域を結ぶ交通機関の整備	まちの魅力発信	地域コミュニティの活性化	景観保全等への取り組み	ITビジネス・クリエイター等場所を選ばない職業の人の転入促進	U・I・Jターン支援に向けた取り組み	その他	不明・無回答	
性別	男性(N=171)	30 17.5	33 19.3	39 22.8	15 8.8	10 5.8	7 4.1	8 4.7	8 4.7	10 5.8	9 5.3
	女性(N=277)	51 18.4	67 24.2	65 23.5	25 9.0	9 3.2	7 2.5	13 4.7	21 7.6	13 4.7	9 3.2
年齢別	16～19歳(N=54)	6 11.1	8 14.8	9 16.7	4 7.4	2 3.7	1 1.9	0 0.0	4 7.4	1 1.9	2 3.7
	20～24歳(N=63)	4 6.3	14 22.2	15 23.8	11 17.5	3 4.8	3 4.8	8 12.7	5 7.9	0 0.0	3 4.8
	25～29歳(N=71)	17 23.9	18 25.4	19 26.8	5 7.0	1 1.4	4 5.6	3 4.2	4 5.6	2 2.8	5 7.0
	30～34歳(N=125)	26 20.8	31 24.8	35 28.0	10 8.0	5 4.0	1 0.8	4 3.2	5 4.0	8 6.4	4 3.2
	35～39歳(N=126)	27 21.4	23 18.3	22 17.5	10 7.9	7 5.6	5 4.0	6 4.8	11 8.7	11 8.7	4 3.2
	その他(N=9)	1 11.1	6 66.7	3 33.3	0 0.0	1 11.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 11.1	0 0.0
	世帯別	ひとり暮らし(N=16)	5 31.3	4 25.0	7 43.8	1 6.3	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 12.5	0 0.0
夫婦のみ(N=30)		7 23.3	8 26.7	7 23.3	0 0.0	2 6.7	1 3.3	1 3.3	1 3.3	3 10.0	1 3.3
2世代(親と子)(N=345)		58 16.8	72 20.9	75 21.7	33 9.6	14 4.1	9 2.6	13 3.8	23 6.7	17 4.9	14 4.1
3世代(親と子と孫)(N=51)		9 17.6	15 29.4	14 27.5	4 7.8	3 5.9	4 7.8	5 9.8	2 3.9	3 5.9	2 3.9
兄弟・姉妹や親戚と同居(N=4)		1 25.0	0 0.0	1 25.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	1 25.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
友人や知人と同居(N=0)		0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
その他(N=3)		1 33.3	1 33.3	0 0.0	1 33.3	0 0.0	0 0.0	1 33.3	1 33.3	0 0.0	0 0.0

上段：件数、下段%

今後の居住意向別では「住み続ける」「たぶん住み続ける」「わからない」で「子育て支援の充実」、  
「たぶん転居する」で「魅力ある商店、飲食店づくり」、「転居する」で「周辺地域を結ぶ交通機関の  
整備」が最も多くなっています。

◆問 22(1)クロス(今後の居住意向別)

		子育て支援の 充実	学校施設の整 備など教育環 境の充実	介護・福祉の 充実	医療機能の充 実	農林業の振興	商工業の振興	観光・交流産 業の振興	魅力ある商 店、飲食店づ くり	雇用の創出・ 確保	就労支援の充 実
問 2 2 ( 1)	住み続ける(N=72)	31 43.1	16 22.2	10 13.9	18 25.0	-	2 2.8	6 8.3	16 22.2	12 16.7	5 6.9
	たぶん住み続ける (N=151)	73 48.3	38 25.2	34 22.5	30 19.9	2 1.3	3 2.0	9 6.0	41 27.2	30 19.9	18 11.9
	たぶん転居する (N=58)	19 32.8	10 17.2	13 22.4	9 15.5	1 1.7	3 5.2	8 13.8	23 39.7	11 19.0	3 5.2
	転居する(N=25)	8 32.0	4 16.0	1 4.0	5 20.0	1 4.0	-	3 12.0	9 36.0	1 4.0	1 4.0
	わからない(N=139)	62 44.6	21 15.1	24 17.3	23 16.5	5 3.6	6 4.3	11 7.9	44 31.7	19 13.7	16 11.5
		住宅取得等へ の補助	地域内交通の 充実	周辺地域を結 ぶ交通機関の 整備	まちの魅力発 信	地域コミュニ ティの活性化	景観保全等へ の取組み	ITビジネス・ク リエイター等 場所を選ばな い職業の人の 転入促進	U・I・Jターン 支援に向けた 取組み	その他	不明・無回答
問 2 2 ( 1)	住み続ける(N=72)	19 26.4	16 22.2	11 15.3	2 2.8	6 8.3	3 4.2	4 5.6	5 6.9	7 9.7	3 4.2
	たぶん住み続ける (N=151)	24 15.9	32 21.2	35 23.2	13 8.6	4 2.6	2 1.3	6 4.0	12 7.9	10 6.6	4 2.6
	たぶん転居する (N=58)	12 20.7	14 24.1	21 36.2	7 12.1	4 6.9	4 6.9	2 3.4	6 10.3	1 1.7	1 1.7
	転居する(N=25)	3 12.0	8 32.0	10 40.0	1 4.0	-	1 4.0	2 8.0	2 8.0	1 4.0	- -
	わからない(N=139)	23 16.5	30 21.6	27 19.4	17 12.2	5 3.6	4 2.9	7 5.0	4 2.9	4 2.9	6 4.3

上段:件数、下段%

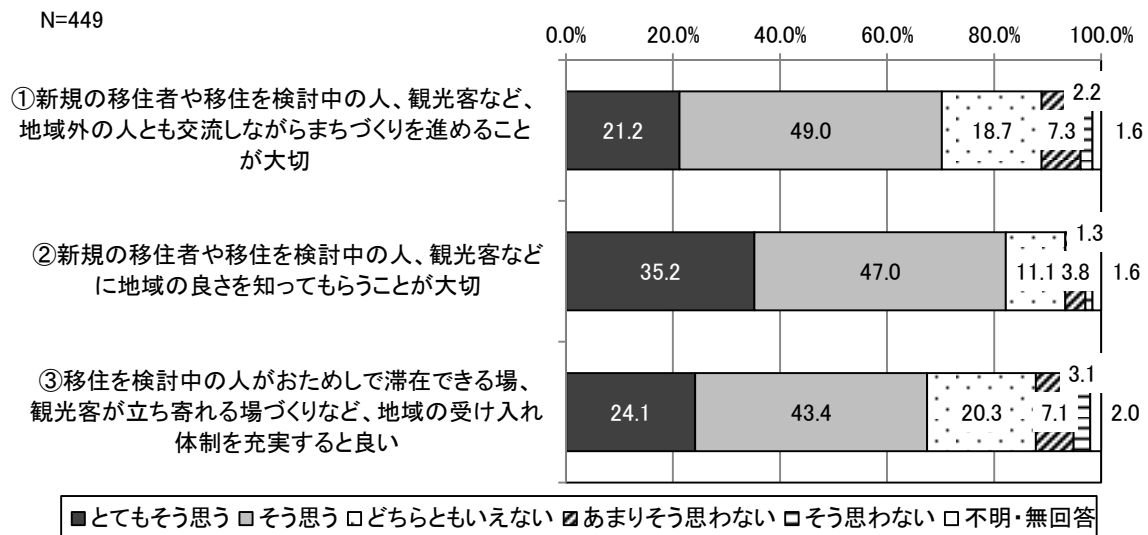
## 4 まちづくりについて

問 26 地域外の人などとの交流や受け入れのあり方についてどう思いますか。①～③のそれぞれの項目ごとにあなたご自身のお考えに最も近いと思うものを選んでください。  
(1つに〇)

地域外の人などとの交流や受け入れのあり方については、〔①新規の移住者や移住を検討中の入、観光客など、地域外の人とも交流しながらまちづくりを進めることが大切〕では『思う（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）』が70.2%、『思わない（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）』が9.5%となっています。

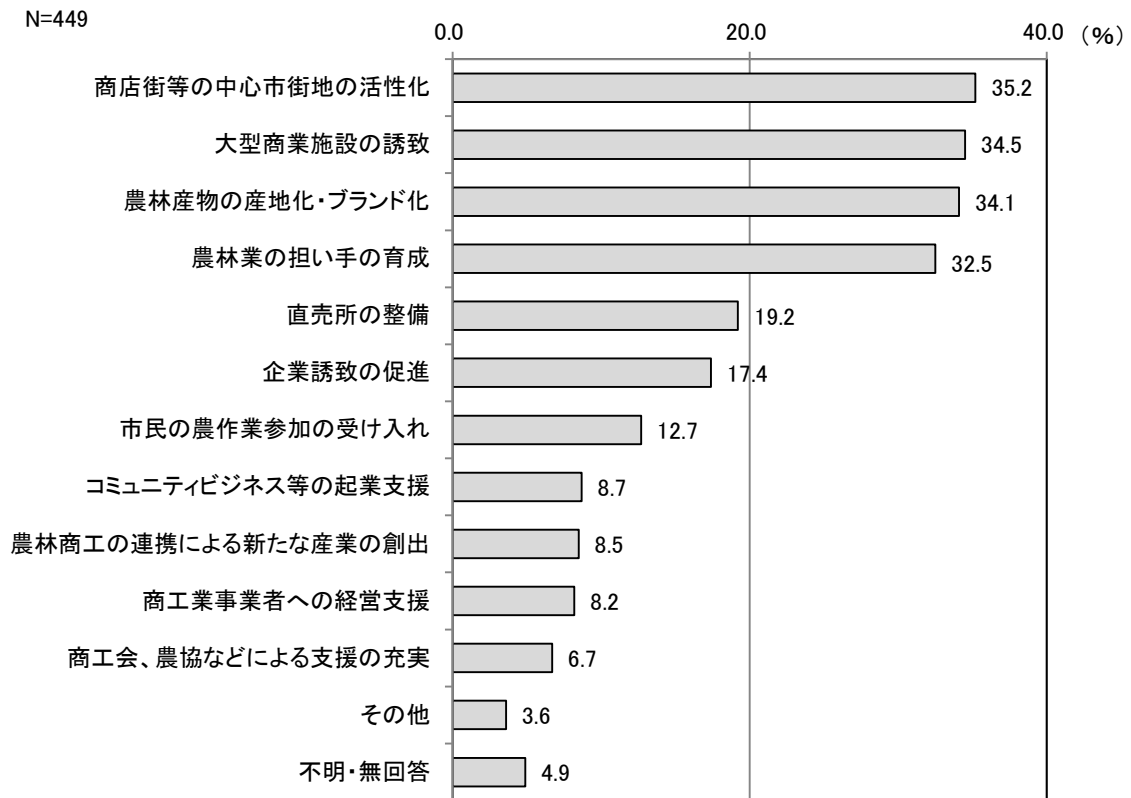
〔②新規の移住者や移住を検討中の入、観光客などに地域の良さを知ってもらうことが大切〕では『思う（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）』が82.2%、『思わない（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）』が5.1%となっています。

〔③移住を検討中の入がおためしで滞在できる場、観光客が立ち寄れる場づくりなど、地域の受け入れ体制を充実すると良い〕では『思う（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）』が67.5%、『思わない（「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計）』が10.2%となっています。



**問 27 産業の活性化を図るためにどのような対策が必要だと思いますか。  
(特にあてはまるもの3つまで○)**

産業の活性化を図るための必要な対策については、「商店街等の中心市街地の活性化」が 35.2%と最も多く、次いで「大型商業施設の誘致」が 34.5%、「農林産物の産地化・ブランド化」が 34.1%となっています。



問27その他回答
若い世代は、大企業以外は潰れてしまうかもというイメージが強いため、農林業の良さ、やりがいの必要性、そして不作時の金銭の支援が必要
工業団地の開発
高速道路の開通
道の駅
民営化の必要
無農薬野菜を作り、アピール
国の産業が活性化しない限り良くならない。税金の優遇
体験などで産業に触れ合う場を増やす
交通の便を良くする
交通の便の向上、310線が混み過ぎ、南北の道路が少ない
宣伝・PR
道路の整備
大阪市内へのアクセス

年齢別では「16～19歳」で「大型商業施設の誘致」、「20～24歳」で「農林産物の産地化・ブランド化」「大型商業施設の誘致」、「25～29歳」で「農林産物の産地化・ブランド化」、『30歳代』で「商店街等の中心市街地の活性化」が最も多くなっています。

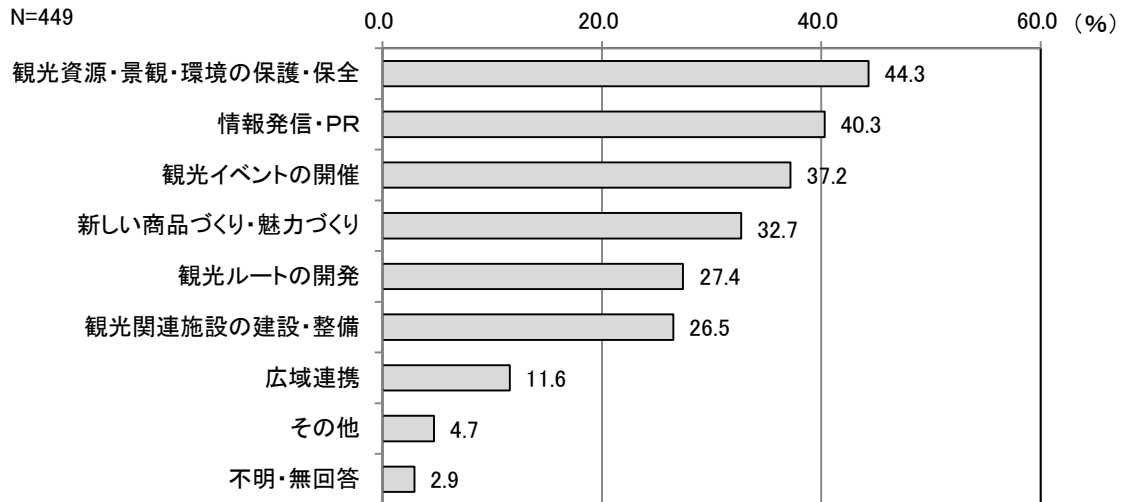
◆年齢別クロス

		農林業 の担い手 の育成	農林産 物の産 地化・ブ ランド化	直売所 の整備	市民の 農作業 参加の 受け入れ	農林商 工の連 携による 新たな産 業の創 出	商工業 事業者 への経 営支援	商店街 等の中 心市街 地の活 性化	大型商 業施設 の誘致	コミュニ ティビジ ネス等 の起業支 援	商工会、 農協など による支 援の充 実	企業誘 致の促 進	その他	不明・ 無回答
年 齢 別	16～19歳(N=54)	18 33.3	15 27.8	10 18.5	5 9.3	4 7.4	11 20.4	17 31.5	19 35.2	5 9.3	4 7.4	8 14.8	3 5.6	0 0.0
	20～24歳(N=63)	21 33.3	22 34.9	13 20.6	7 11.1	13 20.6	5 7.9	12 19.0	22 34.9	6 9.5	6 9.5	12 19.0	1 1.6	4 6.3
	25～29歳(N=71)	23 32.4	29 40.8	15 21.1	13 18.3	4 5.6	8 11.3	26 36.6	22 31.0	5 7.0	6 8.5	9 12.7	3 4.2	2 2.8
	30～34歳(N=125)	44 35.2	49 39.2	24 19.2	13 10.4	8 6.4	4 3.2	50 40.0	45 36.0	10 8.0	7 5.6	21 16.8	3 2.4	7 5.6
	35～39歳(N=126)	39 31.0	38 30.2	23 18.3	19 15.1	8 6.3	9 7.1	51 40.5	42 33.3	10 7.9	7 5.6	25 19.8	5 4.0	7 5.6
	その他(N=9)	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	1 11.1	0 0.0	2 22.2	4 44.4	2 22.2	0 0.0	3 33.3	1 11.1	2 22.2

上段：件数、下段%

**問 28 観光の活性化を図るためにどのような対策が必要だと思いますか。  
(特にあてはまるもの3つまで○)**

観光の活性化を図るための必要な対策については、「観光資源・景観・環境の保護・保全」が44.3%と最も多く、次いで「情報発信・PR」が40.3%、「観光イベントの開催」が37.2%となっています。



問28その他回答
市民全体が良さを分かっていないため、まずは市民に魅力を知ってもらう活動を行う。良さを知れば口コミで広がる
広報活動の充実
モックルのゆるキャラ化
文化の発掘と学会への働きかけ
観光地とっていないので、整備が必要
自然を利用し、ハイキングコースに古い民家の喫茶店などをつくる
サイクリングロードの整備、自然道、散歩コースの充実
弱虫ペダルイベント
特産品のお土産
大阪市、堺市への道路網の充実
車・電車のアクセスの悪さを改善
高速道路の誘致
アクセスの整備
交通の便の改善
道路整備、南海電車料金の引き下げ
交通の便が悪く、宿もなく高い
歴史的裏付けが充分でない話には飛びつかない

年齢別では『16～34歳』で「観光資源・景観・環境の保護・保全」が最も多く、「35～39歳」で「情報発信・PR」が最も多くなっています。

◆年齢別クロス

		観光資源・景観・環境の保護・保全	観光関連施設の建設・整備	新しい商品づくり・魅力づくり	情報発信・PR	観光イベントの開催	観光ルートの開発	広域連携	その他	不明・無回答
年齢別	16～19歳(N=54)	25 46.3	19 35.2	20 37.0	24 44.4	11 20.4	9 16.7	3 5.6	3 5.6	1 1.9
	20～24歳(N=63)	30 47.6	15 23.8	22 34.9	28 44.4	21 33.3	15 23.8	9 14.3	3 4.8	2 3.2
	25～29歳(N=71)	30 42.3	23 32.4	26 36.6	25 35.2	24 33.8	20 28.2	10 14.1	4 5.6	2 2.8
	30～34歳(N=125)	54 43.2	29 23.2	41 32.8	43 34.4	53 42.4	47 37.6	15 12.0	5 4.0	4 3.2
	35～39歳(N=126)	56 44.4	30 23.8	38 30.2	59 46.8	57 45.2	29 23.0	13 10.3	6 4.8	2 1.6
	その他(N=9)	4 44.4	2 22.2	0 0.0	2 22.2	0 0.0	3 33.3	2 22.2	0 0.0	2 22.2

上段：件数、下段%

## 5 進路や就職について

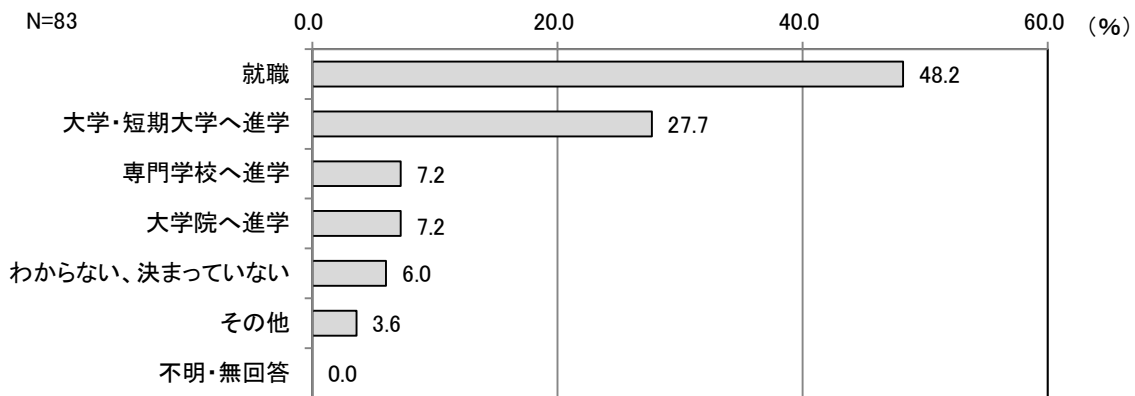
### 問 29 卒業後、どのような進路を希望しますか。(1つに〇)

【学生のみ(問4「6. 学生」)】

卒業後の進路希望については、「就職」が 48.2%と最も多く、次いで「大学・短期大学へ進学」が 27.7%となっています。

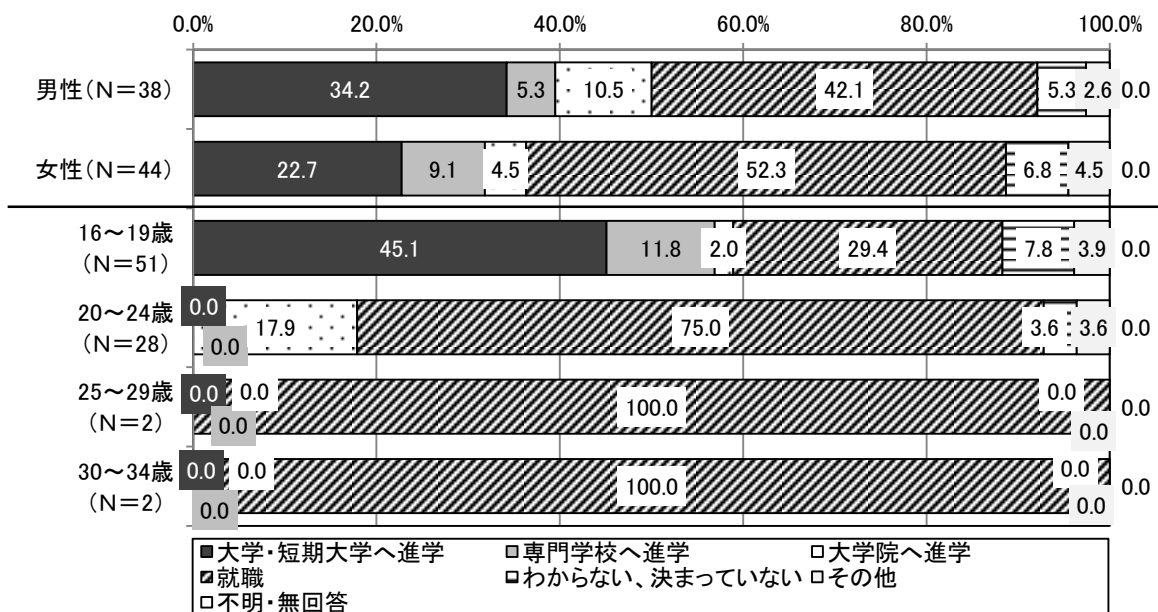
性別では男女ともに「就職」が最も多く、男性で 42.1%、女性で 52.3%となっています。

年齢別では「16～19歳」で「大学・短期大学への進学」(45.1%)、「20～24歳」で「就職」(75.0%)が最も多くなっています。



問29その他回答  
フリーター

#### ◆性別、年齢別クロス



※35歳以上は0件



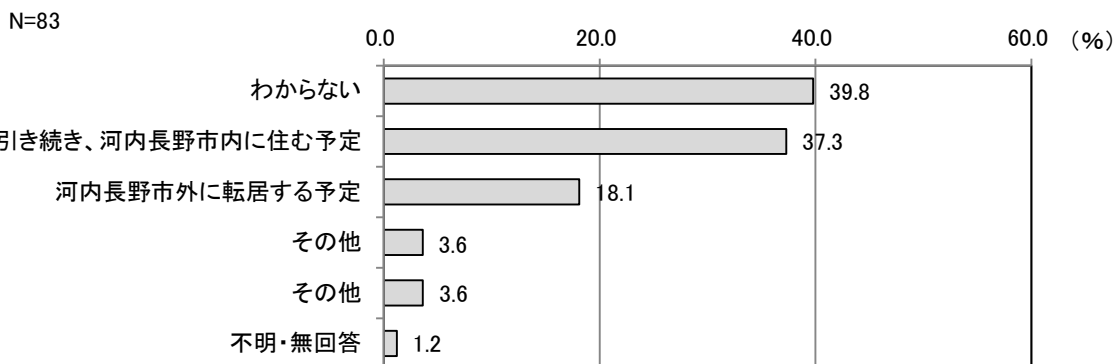
### 問 30 卒業後、どちらにお住まいになる予定ですか。(1つに〇)

【学生のみ(問4「6. 学生」)】

卒業後の居住地については、「わからない」が39.8%と最も多く、次いで「引き続き、河内長野市内に住む予定」が37.3%、「河内長野市外に転居する予定」が18.1%となっています。

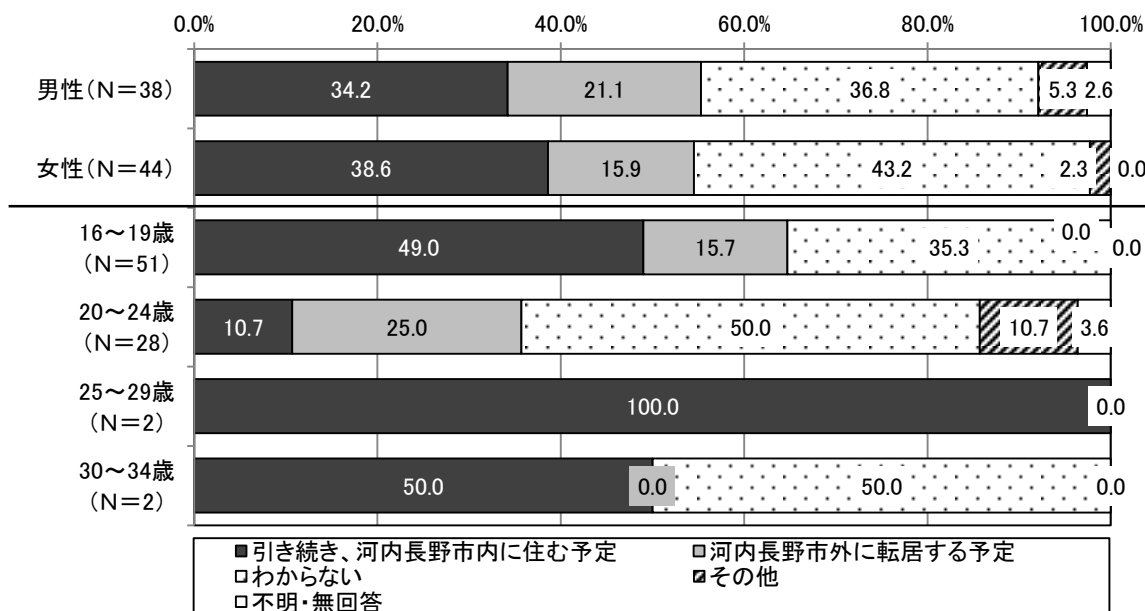
性別では男女ともに「わからない」が最も多く、男性で36.8%、女性で43.2%、次いで「引き続き河内長野市内に住む予定」が男性で34.2%、女性で38.6%となっています。

年齢別では「16～19歳」で「引き続き河内長野市内に住む予定」(49.0%)、「20～24歳」で「わからない」(50.0%)が最も多くなっています。



問30その他回答	
東京(2件)	就職先が河内長野市と限らない

#### ◆性別、年齢別クロス



※35歳以上は0件

※問 31 については、問 29 で「4. 就職」以外を選んだ方は、将来就職することを想定してお答えください。

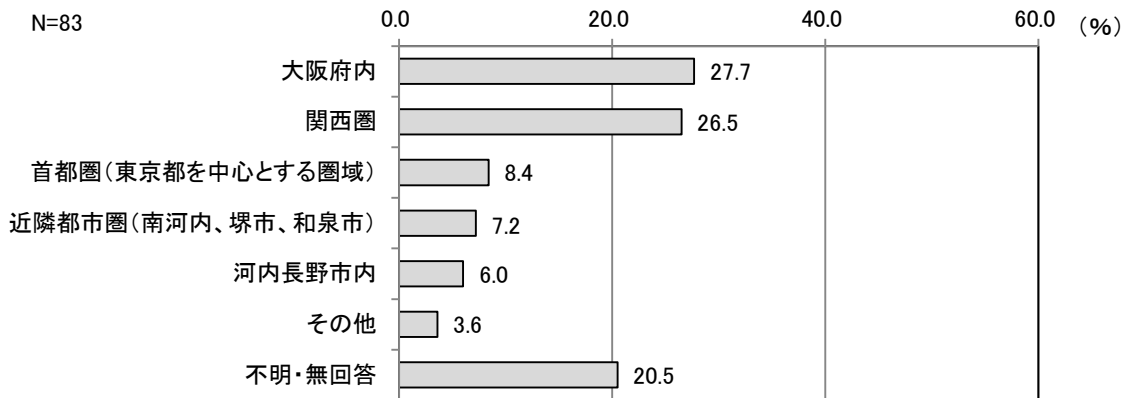
問 31(1)あなたは、どこで就職することを希望しますか。(1つに○)

【学生のみ(問4「6. 学生」)】

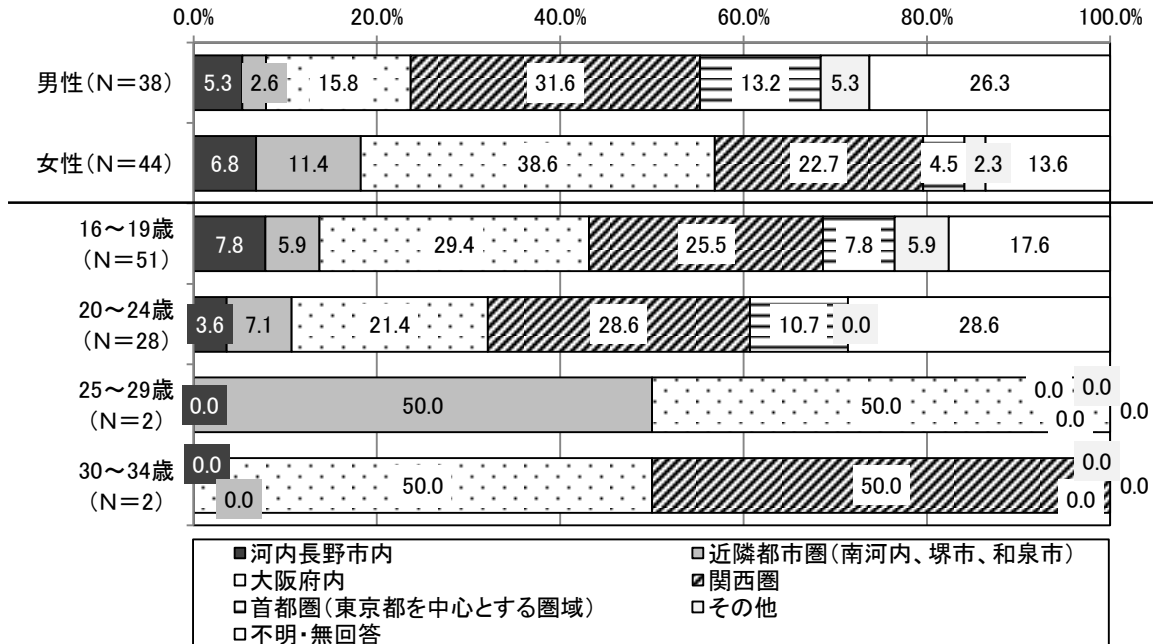
希望する就職の場所については、「大阪府内」が 27.7%と最も多く、次いで「関西圏」が 26.5%と  
なっています。また、「河内長野市内」が 6.0%となっています。

性別にみると、男性は「関西圏」(31.6%)、女性は「大阪府内」(38.6%) が最も多くなっています。

年齢別にみると、「16～19 歳」は「大阪府内」(29.4%)、「20～24 歳」で「関西圏」(28.6%) が最  
も多くなっています。



◆性別、年齢別クロス



※35 歳以上は 0 件

問 31(2)問 31(1)で「1. 河内長野市内」を選んだ方におうかがいします。

河内長野市で就職したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【学生のみ(問4「6. 学生」)】

本市内で就職したい理由については、「自宅(実家)があるから」「自宅(実家)があるから」「通勤などの面で、経済的に楽であるから」「地元での生活に慣れており、精神的に楽であるから」「友人や知人が多いから」が3件ずつとなっています。

N=5

	件数
(自分の意思で)両親や祖父母の近くで生活したいから	3
自宅(実家)があるから	3
通勤などの面で、経済的に楽であるから	3
地元での生活に慣れており、精神的に楽であるから	3
友人や知人が多いから	3
地元の外に出るのが不安だから	2
転勤がなさそうだから	1
河内長野市に貢献したいから	1

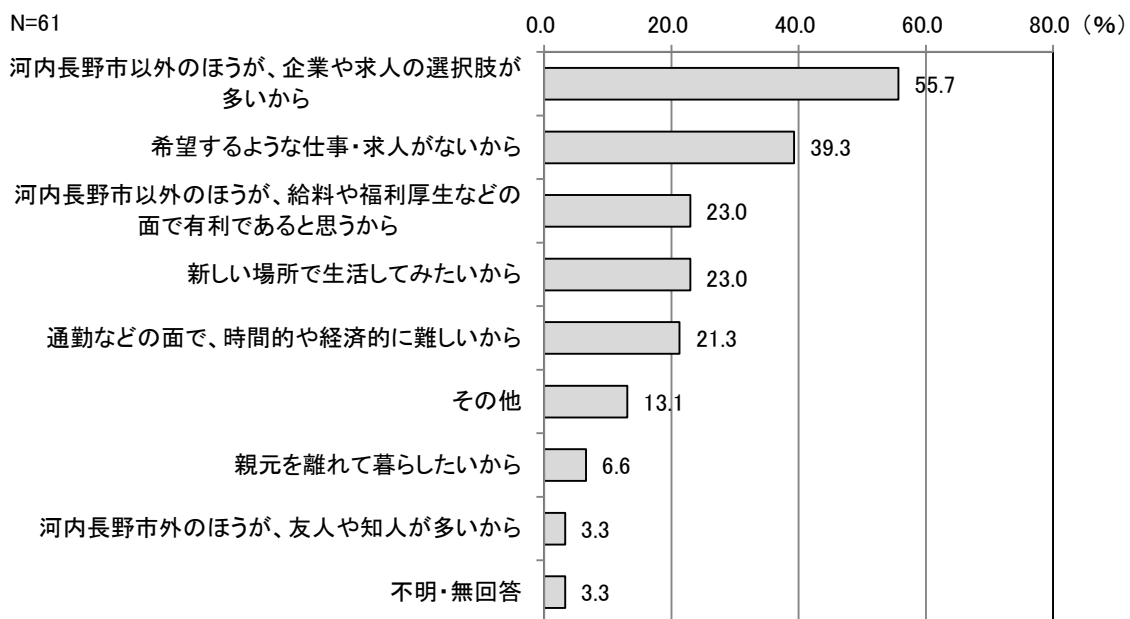
問 31(3)問 31(1)で「1. 河内長野市内」以外を選んだ方におうかがいします。

河内長野市以外で就職したい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

【学生のみ(問4「6. 学生」)】

本市内以外で就職したい理由については、「河内長野市以外のほうが、企業や求人の選択肢が多いから」が 55.7%と最も多く、次いで「希望するような仕事・求人がないから」が 39.3%、「河内長野市以外のほうが、給料や福利厚生などの面で有利であると思うから」が 23.0%となっています。

性別では男女ともに「河内長野市以外のほうが、企業や求人の選択肢が多いから」が最も多く、次いで「希望するような仕事・求人がないから」が多くなっています。また、「河内長野市以外のほうが、給料や福利厚生などの面で有利であると思うから」については、女性が 14.3%であるのに対して、男性は 34.6%と 20.3 ポイント高くなっています。



問 31(3)その他回答	
就職先の近くに住みたい	
河内長野市は田舎過ぎて若者には魅力がない	
河内長野は食住の地	
学校付属の就職先に行くため	

◆性別クロス

		希望する ような仕事・求人 がないから	河内長野 市以外の ほうが、企業 や求人の 選択肢が 多いから	河内長野 市以外の ほうが、給 料や福利 厚生など の面で有 利である と思うから	通勤など の面で、 時間的 や経済 的に難 しいから	河内長野 市外のほ うが、友 人や知 人が多い から	両親や親 戚が勧め るから	親元を離 れて暮ら したいから	新しい場 所で生活 してみたい から	その他	不明・無 回答
性別	男性(N=26)	10 38.5	15 57.7	9 34.6	6 23.1	1 3.8	0 0.0	3 11.5	10 38.5	5 19.2	0 0.0
	女性(N=35)	14 40.0	19 54.3	5 14.3	7 20.0	1 2.9	0 0.0	1 2.9	4 11.4	3 8.6	2 5.7

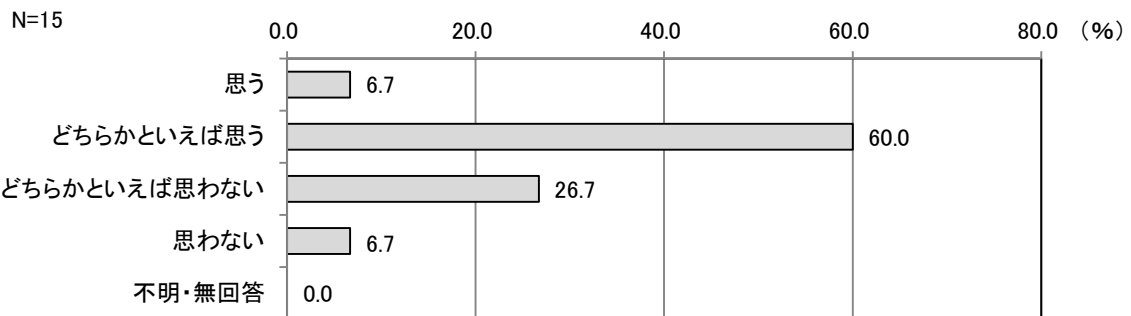
上段: 件数、下段%

**問 31(4)問 30で「2. 市外に転居する予定」を選んだ方におうかがいします。**

**将来、河内長野市に戻ってきたいと思いませんか。(1つに〇)**

【学生のみ(問4「6. 学生」)】

将来、本市に戻ってきたいと思うかについては、『思う(「思う」と「どちらかといえば思う」の合計)』が66.7%、『思わない(「どちらかといえば思わない」と「思わない」の合計)』が36.2%となっています。

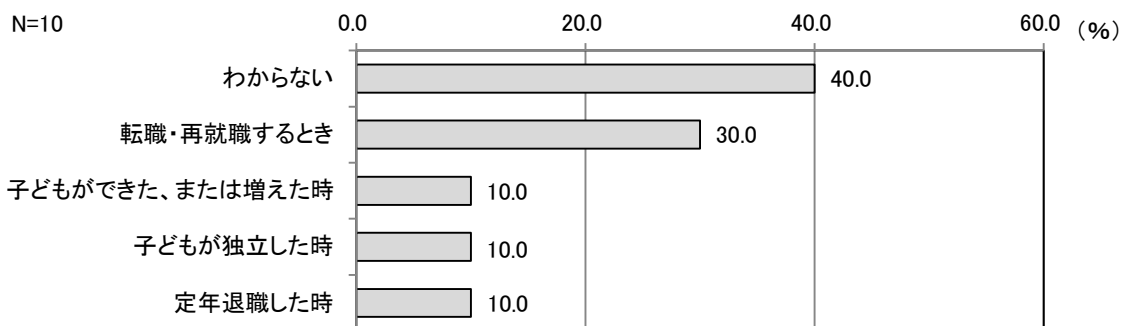


**問 31(5)問 31(4)で「1. 思う」または「2. どちらかといえば思う」を選んだ方におうかがいします。**

**いつごろ、河内長野市に戻ってきたいと思いませんか。(1つに〇)**

【学生のみ(問4「6. 学生」)】

本市内に戻ってきたい時期については、「わからない」が40.0%と最も多く、次いで「転職・再就職するとき」が30.0%となっています。



**問 31(6)問 31(4)で「3. どちらかといえば思わない」または「4. 思わない」を選んだ方におうかがいします。**

**戻ってきたいと思わない理由は何ですか。(1つに〇)**

【学生のみ(問4「6. 学生」)】

本市に戻ってきたいと思わない理由については、「河内長野市は交通が不便だから」が3件となっています。

N=5

	件数
河内長野市は交通が不便だから	3
河内長野市に希望する就職先がないから	1
転出先で住宅を取得(予定含む)しているから	1